

滋賀医科大学外科
同 門 会 誌

2013 年 12 月発行

一般社団法人

滋賀医科大学外科同門会

目 次

■ 巻 頭 言	1
■ 同門会法人化に寄せて	7
■ 法人化ワーキンググループより	15
■ 関連病院だより	21
■ 新年会講演会	31
■ 業 績 (教 室)	35
■ 業 績 (関連病院)	81
■ 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会	123

卷 頭 言

- 滋賀医科大学外科学講座 同門会理事長 小玉 正智
- 滋賀医科大学外科学講座 教授 谷 徹
- 滋賀医科大学外科学講座 教授 浅井 徹
- 友仁山崎病院 院長 山本 明

一般社団法人の発足にあたり

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会
理事長 小玉 正智

同門会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと御慶び申し上げます。

2013年度のニュースは、数年前から検討してきました同門会が、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会として認可されました。設立に当たり、谷徹教授、浅井徹教授、教室の先生および秘書の方々に多大の御尽力を頂いたことを御礼申し上げます。

法人設立の目的は、定款にあります。第一は外科医の人材確保と育成、第二は育成のシステム作り、すなわち関連病院と協調性を持ちながら外科医の知・技の確得と育成を目的とし、若い外科医の大学・関連病院での後期臨床研修での外科専門医の資格取得、第三に同門会員・外科教室、ひいては大学の発展に貢献をすることだと思います。また、今までの同門会の活動を引き継ぎながら、法人として社会への貢献をいかにするかが今後の課題となります。

具体的には、まず外科医の人材獲得には、学生時代の教育・実習を通じて外科の良きところや将来展望を理解してもらい、外科医でなければ救命出来ない多くの疾患があることや、外科医の生き甲斐などを理解してもらうことが原点だと思います。また、2004年の臨床研修制度の開始以来、大学病院での臨床研修希望者は激変して多くの大学附属病院での臨床研修医の定員を満たすのも難しくなっています。特に、全国的に外科医の希望者が激変しており、外科学会はじめ外科関連学会でも外科の希望者をいかに増加できるかシンポジウムなどで議論されています。このような状況の中で、活力と意欲にあふれた医師を外科医に専攻させるにはいくつかのインセンチブが必要でしょう。

外科教室が、充実した卒後研修システム、外科専門医、さらに細分化した専門医、大学院での研究、海外での研修等を提示し、関係病院との協力をえて現在より更なる理想的な外科医の育成体制を推進することが必要であります。

今回同門会が、一般社団法人になり発展するためには、企画と経済力が必要で、今後短期・中期の計画を代議員・会員とともに検討して、一歩ずつ計画を実現して前進して行きたいと思います。

どうか会員皆様の積極的なご参加とご協力をよろしくお願いします。

同門会法人化によせて

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 副理事長
加藤クリニック 院長 加藤 弘文

私の診療所の近くにはしっかりした総合病院として松下記念病院があり、大学病院としては関西医科大学があり、とくに枚方市の枚方病院と守口市の滝井病院があります。

又、車で 20～30 分で大阪大学、大阪市立大学、国立循環器病センター、医学研究所北野病院、大阪市立総合医療センターと高度医療や地域中核病院があります。

診療所ではできる限り、診断を早くして、疑わしい時には患者希望の専門医、良い成績の期待できる診療科の信頼できる医師に紹介しています。

いわゆる地域連携で患者の交通整理をしているような状態です。

今後、医療費の効率的運用のために、在宅医療を増やすように政府は話導していきますが、地域の在宅医療は各家庭で著しい格差があります。

このような状況の中で、日本の医療体制が高度先進医療から確実な治療としての外科医の役割をはたすために、大学の外科講座が学部教育から研修医教育まで基本的な医学教育、考える力のある教育に始まり、より豊富な症例に裏打ちされた臨床修練で外升専門医が養成されることが必要です。

しかし、臨床のみでは明日の医学は切り開かれては行かないので、研究泊アプローチも重要です。このように豊富な臨床と質の高い研究をどのように両立させるのが？この点が問題です。

この問題に積極的に側面的に協力する、援助することなどが、同門会の役割であり、大学と共に同門会諸兄の活躍、発展があると思われれます。

同門会法人化によせて

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事

滋賀医科大学外科学講座

教授 谷 徹

小生にとって現役最後の同門新年会が数ヶ月後に迫ってきた。この最後の会において10年を超えた旧第1外科、第2外科合同の同門会が法人格を持ってその活動を開始する記念すべき会になり感慨深いものがある。小玉正智会長の提案後、足かけ4年にわたる多くの先生方の努力の結果である。

本年夏、大学はミッションの再定義を文部科学省から要求され、本学の医学部設置基準時のミッションに加え、①医療機器、技術の開発と応用、②疫学研究の推進の2つのミッションが新しく加えられ、他の大学との差別化を図ることになった。この動き、背景にあるものは国家予算の決定的な不足による病院のみならず大学の統廃合があるとされている。

ではそのためには「本学は何をなすべきか」、無論単科医科大学の有利な点を伸ばし、他の大学との差別化と独自性を発揮する以外に道はない。今後は法人格を持った団体として積極的に外部資金を調達し、独自の活動をサポート発展させる以外ない。大学でさえもこのような状況にある。

同門会においてもしかりであり、今回、法人格を持ったことにより公的な支援の要請が可能になる。しかし要は「そのお金で何をするか」である。外科医養成のために活動する資金とするのが喫緊の課題と考えられるが、大学をサポートする一団体としての認識も必要である。今後は大学の規模を変えられない分、関連病院との人的、資金的な連携を進める役目を果たすために同門会がさらに大きく発展し、活動することが期待される。今回はこのための法人化をスタートする大会となる。

消化器、一般外科や呼吸器、循環器外科では専門の外科医としてだけでなく、外科系の治療全てに関わってくることが多い。特に大災害の場合においては最終的に働けるのは我々の集団以外に多くは期待できない。そこで“東南海トラフ地震”の発生率が高く予測され、想定される規模や「何が起こり、何をしたらよいか」という命題について、今回、宮本英治講師にご講演頂く。非常事態において単科医科大学が機能的にまとまり、同門会ネットワークを介して「地域住民または自分たちの家族のために如何に団結して働けるか」、というアクションプランは大きな単科医科大学の一つの特徴になる。さらに我々自身の心の準備としても必要なテーマと考え、外部の方々にも開放します。将来はこの備えが無駄に終わることが最も望ましいが、それを祈念して、今回の記念誌の言葉とします。

同門会法人化によせて

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学外科学講座
教授 浅井 徹

同門会の皆様には、いつもご支援を賜りありがとうございます。谷徹教授の主催する消化器・一般外科学教室と、私どもの心臓血管・呼吸器外科教室がともに集い同門会を開催するようになって早 11 年となります。

このたび、数年の準備期間をへて外科同門会を法人化することとなりました。この準備には、小玉理事長のリーダーシップのもと、学内外の準備委員、医局秘書の皆様の入念な準備、多大な労力と時間をいただきました。この場を借りて深く感謝したいと思います。

この法人化の目指すところの第一は、若き外科医の育成です。私たちが今日最高水準の外科治療を目指す、かりそめにもいえるようになった背景には多くの先輩や、師匠、患者様たちのおかげに他なりません。現在、教室を主催する立場となり、多くの研修中の若い医師や、これから医療人となる医学生達に接する機会が増えるにつれ、20 数年前外科を志すことを決心した自分を思い出します。有り余る意欲とエネルギーを確かに受け止め、それぞれの個性と才能が十分に成長してゆくことを支援し、それを見守り応援することは我々同門会の大きな役割と考えます。法人化により同門会はより明確な目的意識と企画力を持つように成長し、より強いつながりを築くことができるでしょう。

滋賀医科大学は、もともと国の政策の一環で作られた一新設国立医科大学でありましたが、我々が今ここに存在する究極の意義は2つしかないと私は考えています。ひとつは、レベル高く信頼される地域医療を提供し、良質の医療人を輩出することです。もう一つは、全国あるいは世界に通用する優れた医学・医療を展開することです。つまり私たち、滋賀医科大学外科のミッションは、地域、全国、世界からその活動を評価を受けながら、有為の人材を輩出することです。我々にはまだまだ達成できていない課題も多いところですが、同門会の皆様とともに歩み、若き才能がそれに加わりより力強い意志を持ってミッションを遂行してゆきたいと考えています。

法人化をひとつの節目として、同門会がさらに力強い発展を遂げられるよう私自身がんばってまいります。皆様の一層のご支援をよろしくお願いいたします。

同門会の監事とは

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 監事
友仁山崎病院 山本 明

大学を離れて、ほぼ 20 年が経とうとしている。その間に大学は、独立行政法人化、診療科の臓器別再編、診療報酬のDPC制度への移行、卒後研修制度の大変革、外来・入院棟の新築・改築と、時代に合わせて、文字通り、目まぐるしく変遷を重ねてきた。もはや私など“老兵”に立ち入る隙はない。

我々のように“大学の外”に居るものにとって一番大きな変化は卒後研修制度の変革であろう。“幅広く・役立つプライマリーケアを研修する”として始まった新臨床研修制度は大学病院や地方中小病院から若手医師を引きはがし、「医局」から医師派遣機能を奪い、地方の医師不足を助長した。そして 5 年の研修年限を終了した医師を輩出している今日、医師不足に乗じた“勤務形態”が目立つようになったと感じる。すなわち「常勤」を拒絶した、いわばフリーター医師(複数の病院でパート医として勤務する。病院当直の義務も種々の院内会議への参加義務もない。収入はますます)が増えてきている。“勤務形態の多様化”、“自らのワーク&ライフ・バランスに相応しい働き方”と言えば聞こえはいいが？ 私に言わせれば、「喉から手が出るほど医師がほしい病院の思いに付け込んだ、医師としての社会的義務感の喪失とモラルの低下だ」

種々の約束ごとや拘束されることからはフリーでありたいと思う風潮の時代に、同門会は何ができるのか？ 過去に在籍した医師たちの懇親の場なのか。それも良いだろう。大学に在籍する若手医師を名実共に支える役目を果たしていくのか。それも良いだろう。あるいは同門会として、事業を立ち上げるのか。それも良いだろう。県内のいくつかの中小病院では、外科医を確保できず、外科手術からの撤退を余儀なくされている。手術症例の集約化という流れからはやむを得ないのかもしれないが、わが同門会員は、撤退する側には居ても、集約する側には居ない。多くの同門会員はどこへ行ってしまったのか。わが同門会は、まず、滋賀の外科を支える同門会であってほしいと願っている。

この度、私は同門会の監事役を受けた。監事の役割とは、“業務執行、財産状況などについて監査する”のが任務だという。えらいことになったぞ。彦根からでは、アンテナを高くした積もりでも、なかなか伺い知れないからなあ！

同門会法人化によせて

- 岡 診療所 院長 岡 藤太郎
- 昂会 日野記念病院 院長 花澤 一芳
- 医療法人仁生会 甲南病院 院長 田中 久富
- 草津総合病院 副院長 平野 正満
- 東近江医療センター 院長 井上 修平

同門会法人化によせて

岡 診療所

院長 岡 藤太郎

病院勤務から離れ、外科医を辞めて20年になりました。この間、競技ゴルフに集中した生活を送り、アマチュアとしては、結構あちこちの試合で活躍？もしました。生活の糧として、田舎の町医者が続けておりますが、何とかやっていると、地域に散らばってお勤めになっている諸先輩、ここ10年では一緒に研修や研究をしてきた同門の後輩の諸先生のいろいろなサポートのおかげというのを感じずにはられません。休日前の救急入院や他の科にまたがる患者の橋渡しとか、通常の病診連携という枠で解決できない無理なお願いを忙しい勤務の中で助けてくださるのは、同門ならばこそと感謝しています。今回の法人化を機に、会員相互のますます活発な交流が進むことを期待しております。

町医者の仕事のつながりの中で、7-8年前から、特別養護老人ホームの配置医をやるようになり、多くの老人を毎年看取っております。ある年、心不全もあり認知症もひどく次第に食事が取れなくなった方で、まあ一週間は持たないだろうということで、そのまま施設で看取ることを家族が希望されたケースがありました。はじめはゼーゼーと心臓喘息というような呼吸であったのが、胃瘻も点滴もないまま一週間を過ぎますと、呼吸も楽そうになり静かにひたすら眠るのが続き、スタッフの努力で週に二回は入浴もし、口を湿らせる程度の水以外は何も飲むこともないにもかかわらず褥創も作らずそれほどやつれる事もなく3週間眠り続けて、安らかに旅立たれました。外科医であった昔、ガン末期の患者に点滴やIVHをしながら、パンパンに腫れた体で亡くなっていた患者たちを見取っていたときと比べ、はるかに楽そうにまた自然に思えました。

その件以来、自分で飲み込むことができなくなった老人についてはできるだけ自然の経過に任せるようになりました。日常の診療でも高齢者においては、癌の早期発見を目的としての検査は、手術をしてでも治療し長生きをしたい方以外には、勧めないようになっています。これから、大量の老人の看取りという大問題が待っています。医療費や介護費用の問題も見過ごせない状況です。認知症の進行した状態は、云うに及ばず様々な理由により意識の低下を伴うような、経口摂取の障害に対し、自分に置き換えて考えれば決して望まないであろう延命の医療を、行わないで済むような何らかの法的なよりどころが欲しいものだと思っています。

同門会法人化にあたり、ご挨拶申し上げます。

昂会 日野記念病院

院長 花澤 一芳

はじめに、法人化にむけ小玉 正智会長、肥後 昌五郎副会長、監事の中根佳宏先生、加藤弘文先生、幹事の先生方および事務局の多大なご尽力に敬意を表します。

代議員 19 名も決定し、来年度より本格的な活動事業が開始されると思います。

さて、私は昭和 57 年より、小玉名誉教授、谷教授、中根佳宏元助教授、柴田純祐元教授はじめ諸先輩の先生方、卒業生の多くの先生方に消化器・一般・内分泌・乳腺・甲状腺・移植・小児外科手術手技をご指導いただきました。

時は移り、来年で関連病院勤務も節目の 10 年目となります。地域医療の最前線で国の医療計画(医療政策の)見直しに多大な影響を受け、病院の機能分化や運営手法の転換に戸惑いながらも、滋賀医大の各医局の多大な応援(医局員の派遣)をいただき(小生の管理・運営能力に自分自身疑問を投げつつも。。。)その重責に耐えております。各医局の協力を得られているのも、当同門会の先生方の創りあげてこられた偉大な歴史・伝統・業績による信頼の賜物だと思っております。浅井徹教授にも多方面に渡り応援していただき、紙面上より心から感謝申し上げます。

近年の専門医制度により専門医育成の課題が重く申し掛かり、中小病院では診療科目の特化やセンター化がその対策の一手法として考えられますが、何よりも肝心要は外科学講座の発展は勿論、大学における専門医の育成でありましょう。その為には、基礎・臨床研究も重要であります。

次世代に向けた人員確保、外科医の育成に当同門会の一員として、更に研鑽を積んで、私なりに皆様にしっかり”恩返し”致したいと考えております。

古き良き時代に外科教育受けた小生ですが、新しい外科(学)の技術革新に何の躊躇もなく、新しい世代の先生方と必死で一緒に学んで(生)きたいと思っております。

末筆ではありますが、外科学講座の未来ある発展を蒲生の日野町(四季折々の花鳥風月を楽しみに皆様お尋ね下さい)より心より祈り願っております。

同門会法人化によせて

医療法人社団仁生会 甲南病院
院長 田中 久富

このタイトルにての執筆を依頼された時、正直言って非常に当惑した。と言うのも、私は滋賀医大を卒業して約2年弱の研修医生活を大学外科にて過ごして以来、その後は滋賀県内の一般病院に勤務し、大学外科の同門会活動にもほとんど関与してこなかったからである。さらに今回の同門会の法人化の話も、同門会総会にてその様な話があったなと言う程度の認識しかなかった。しかも、恥ずかしいことに自分が医療法人の院長と言う立場でありながら、法人が何かであるかをきちんと理解していなかったからである。ちなみに辞書によると、法人とは「法律上の権利や義務をもつ主体としての資格を与えられ、一人格としてのあつかいを受ける組織体」と規定されているようである。したがって、同門会法人化は、同門会活動がよりオープンに多岐に亘って活動出来る事を意味しているのではないかと考える。

今回の同門会の法人化の話には、2011年の同門会誌に小玉会長が書かれておられる、外科医の減少に対する危機感があるのではないかと考える。私が滋賀医科大学を卒業した昭和57年頃は、外科入局者は10人から15人であった。当時は、臨床の花形と考えられていた内科や外科等の基幹となる科への入局者は多く、入局後も忙しく仕事はしたものの充実した日々を送っていたものであった。しかるに、最近では他大学同様、滋賀医大外科入局者は数えるほどの減少となっているようである。確かに、私も入局以来、土日出勤も当たり前と思いながら30年以上が過ぎてしまった。しかし、このような考えは現在では通用しないのも時代の流れではあるが、改善しなければならないのも事実である。このような、他科にはない過酷さとそれに見合うだけの評価がされていない事が外科入局者の減少直結しているのではないだろうか。それでは、同門会の法人化はこれらの問題に対して、どのような解決策を見出してくれるのだろうか。現在、一般の市中病院には外科医が1人や2人と言う状況の病院が数多くある。このような病院では、毎日の業務に追われ、休日にゆっくりするとか、ましてや何日かかけて学会に出張する事など、ほとんど不可能に近い状況におかれている。外科を含め、日進月歩の医療においては、学会への出席にて最新の知識や技術を身につける必要があることは言うまでもない。さらに大学の研究や臨床に積極的に関与し、スキルアップする事も1つの方法である。このような状況において、大学を含め広いネットワークで人のやり繰りをお願いしたいと思う。一方、関連病院からは大学の研究においては財政面でのサポートをさせてもらったりすることで、お互いに組織同士での助け合う仕組みも可能と考える。その意味においても、大学の同門会を法人化し、滋賀医大外科

およびその関連病院外科のレベルアップやそこに勤務する外科医の待遇改善を図ることが重要であり、これらの事がひいては医学生が外科を目指すきっかけになると考える。

同門会法人化によせて

草津総合病院

副院長 平野正満

このたびは滋賀医科大学外科学講座が法人化され、新たな第一歩を踏み出されたことを心からお慶び申し上げます。外科学教室の更なる発展を願うとともに、地域医療への確かな貢献と充実を希望いたします。また、法人設立にご尽力された外科学教室の先生および関係諸氏の方々に深く敬意を表したいと存じます。今回、法人化に伴い同門会誌に寄稿を依頼されましたが、法人化に対する知識や経験もありませんので大学での思い出や日頃感じていることを記させていただきます。

私は20年以上お世話になった大学を離れてから、今年で11年が過ぎようとしています。現在勤務する草津総合病院では外科病棟が7階に位置しており、晴れた日には遠くに滋賀医大の建物や病院を望むことができます。私が昭和55年に入局のため初めて滋賀医大を訪れた際、不安と希望を抱きながら付属病院の大きな建物を見上げていたことを思い出します。

私の医師としての経歴は滋賀医大の研修医時代からスタートし、その多くが滋賀医大第二外科で培われました。今日、私が外科医として少なからず活躍できているのは多くの先生方のご指導の賜物であることはいまでもありません。その先生方の中には私が心から尊敬できる“技の師”、“育の師”、さらに“心の師”がおられました。私が最も影響を受けた“心の師”の一人が、入局当時に第二外科教授であった岡田慶夫先生です。研修医時代には第二外科の外来の白板に岡田先生が書かれた“外科医の心得”なる1枚のB4の張り紙が貼ってありました。今から読めば、その内容は経験ある外科医にとっては当たり前のことでしょう。しかし、当時、医師としての自覚や技術もなく、さらに人格も備わっていない私にとって、新鮮な感動を覚える内容でした。これから外科医として生きていくための心構えにしよう、これこそ自分に必要なバイブルと決め込んだ瞬間でもありました。その場でコピーさせていただき、以後ポケットに入れ、またノートに挿み今日に至っています。今も私の部屋の壁には数回のコピーを経て折れ目の入った“外科医の心得”が貼ってあり、私の日々の診療の励みと戒めとさせていただいています。

私が持っている最も初期のもの(昭和55年当時)を提示させていただきます。岡田先生直筆のもので、見覚えのある方もおられるのではないのでしょうか。若き外科医のみならず現在診療されているすべての先生に読んでいただきたいと思います。

外科医の心得

—— 臨床実習生のために ——

1. 病める人に対する同情と愛情とを併て。
身内と同じように扱え。
患者を見下すようなことはするな。
2. 謙虚であれ。本来は“先生”と呼ばれたようにせよ。
“先生”とは医師に対する呼称である。本来の心から
“先生”と呼ばれたようにふるまう努力せよ。
3. 治療は一人で行うのではない。協同作業である。
人の親を大切に。
時間を弁け。
カルテの記載を正確、明瞭に。
紹介医との連絡を密に。
4. 常によりよい医療を求めて思索せよ。
習慣を踏襲するだけでは進歩はない。
常に“何故”という疑問を併て。
5. 手術は神聖な行事である。
手術法のみならず、患者の気持を考へよ。
外科医のまじらぬこの神聖な機会を十分意識する
ことをせよ。
準備（予習）と術後処理、検診を細心の行せよ。

外科の仕事は激務であり、外科医そのものが絶滅危惧種とさえいわれてきました。平成 24 年度の日本外科学会の労働環境に関するアンケート調査では外科医の週の平均労働時間は 78 時間と紹介されています。一般労働者からすると想像を絶する仕事量です。一方、中央社会保険医療協議会の最近の医療経済実態調査では医師の平均給与は 1491~1590 万円(病院長や一般診療所の医師は除く)と発表されました。この金額の評価は分かれると思いますが、社会常識からすると恵まれていると言われても仕方がありません。ただ、外科医をはじめ多くの医師は給与とは仕事や社会貢献の対価であって目的ではないことも認識しています。今日の外科医は過重な仕事量に対しても、病める人に対する思い、仕事に対する誇りと責任、スキルアップへの向上心から黙々と診療に携わっています。一部に医者の高給取りとの社会的批判も見られますが、命を救う、病気を治すという生命の根幹にかかわる高邁な仕事であることを考えれば、金銭の話題とは異なる次元の職種であると胸を張って主張したいものです。

同門会の事業内容の一つに外科を志す外科医の確保、支援があります。医師としての数ある仕事の中で、外科医は神聖な行事である手術を行うことができ、また求められています。たとえ小さな手術であれ、病変を完全に切除し完治せしめたその瞬間、外科医の手は神の手となります。若き医師にはこの感動と充実感、さらにその責任の重さを知っていただきたいと思います。私も次世代につながる外科医の育成と今一度あるべき医師の原点となる“外科医の心得”の実践に取り組んでいきたいと考えています。

滋賀医科大学外科同門会法人化によせて 「法人化して何ができるか？何をすべきか！！」

東近江総合医療センター
院長 井上 修平

法人という言葉調べてみると、法人とは自然人以外で、法律によって「人」とされているものをいい、「人」とは、法律的には、権利義務の主体たる資格(権利能力)を認められた存在とされています。つまり法人は、自然人以外で、権利能力を認められた存在ということになり、簡単に説明すると、人間ではないけれども、人間と同じように権利を行使したり、義務を負ったりする法律上の人間のようなものといえます。したがって、全ての法人は根拠となる法律のもと設立されます。また、人間と異なり、法律で定められた一定の範囲内では人間のように権利、義務を負うことはできません。また今回設立した「一般社団法人」とは平成20年12月1日から施行された「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」で定められた非営利法人であり、非営利法人とは、法人が経済活動により得た利益を構成員へ分配できない法人のことをいいます。なお、非営利法人であっても経済活動を行なって利益を得ること自体は可能です。

さて滋賀医科大学外科学講座が法人化して何ができるか？何をすべきか！！ということですが、平成25年8月31日現在の正会員数は251名となっています。法人化して年会費を100%の徴収率にして外科学講座発展のための事業をしていただきたいと思っています。私は3期生であり、その当時は第1外科、第2外科それぞれに10人ほどの入局者がありました。その後、大講座制となり外科学講座に統合されましたが、年々入局者は減少し、特に新臨床研修制度の導入後は大学自体に研修医が残らず、ますます外科医希望者が減っています。この法人化によって行っていただきたいミッションは、

1. 外科学講座への入局者の増加: 学生や他大学からの入局勧誘に会費を利用していいと思います。

2. 関連病院の把握、人事の透明化: 関連病院の幹部ポストを外科学講座としてコントロールし会員には、人事の透明化を示して欲しいと思っています。また特に滋賀県内主要病院の幹部ポストの獲得も重要で、そうすれば入局者も増加すると思います。

3. 大学人事の透明化、研究の推進: 大学院の研究等にも経済的な面を含めて(関連病院での非常勤勤務)バックアップが必要です。

要は外科学講座が法人化したら、事業の目的をしっかりと立てて、会員が内容を自覚し、協力して、将来にわたる人材育成・教育等の役目をして欲しいと思っています。

法人化ワーキンググループより

- 滋賀医科大学 外科学講座 山本 寛
- 滋賀医科大学 医療安全管理部
外科学講座 手塚 則明
久保田 良浩
- 滋賀医科大学 外科学講座 村田 聡
- 滋賀医科大学 外科学講座 仲 成幸
花岡 淳

同門会設立ワーキングより(総務統括)

滋賀医科大学外科学講座
講師 山本 寛

平成 25 年 3 月 1 日、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会が法人として設立されましたので、その準備に当たりました一般社団法人滋賀医科大学外科同門会・準備事務局総務担当の立場から、その経緯と目的をご説明させていただきます。

そもそも、本社団法人は、平成 16 年度から始まった卒後研修制度に伴い、大学での医師確保並びに関連病院への医師の供給が困難となり、全国的に外科医の減少が社会問題化する中で、将来の外科医療に危機感を抱き始めた滋賀医科大学外科同門会の先生方からの思いに応えるべく、滋賀医科大学外科同門会会長の小玉正智先生から提案されました。平成 22 年 12 月 2 日、滋賀医科大学外科学講座教授谷徹先生・浅井徹先生を含めた 10 名からなる臨時幹事会で検討した後、翌平成 23 年の滋賀医科大学同門会幹事会で法人化ワーキンググループの立ち上げと定款の作成を進めていくことが承認されました。そして、数回の法人化準備会議を経て、法人化設立の準備状況と定款および細則(案)を同門会正会員へ送付し、正会員へのご意見をお聞きした後、平成 25 年滋賀医科大学同門会幹事会で、小玉正智理事長、谷徹理事、浅井徹理事、加藤弘文監事(現副理事長)、中根佳宏監事、その後、山本明監事が承認され、平成 25 年 3 月 1 日に登記が終了し、正式に設立されました。

本社団法人の目的は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実であります。その目的の達成のため、現在、小玉理事長のもと、滋賀医科大学外科学講座のスタッフ数名からなるワーキンググループの先生方による各種部会(選挙管理、企画、後方、会計、総務)の活動、代議員の選出を粛々に行っております。今後代議員選挙で 18 名の代議員を選出し、いよいよこれから本格的に事業を始動することになります。滋賀医科大学外科を愛する会員の一人として、本会の当初の理念と目的が達成・発展することと、会員の皆様のみまますのご活躍とご健勝を祈念しております。

同門会設立ワーキングより(選挙管理)

滋賀医科大学 医療安全管理部
准教授 手塚 則明
外科学講座 講師 久保田 良浩

この度、同門会の法人化に伴い代議員を選出することになりましたが、これは法人化に必須の要件の一つでした。法人化は同門会の運営を透明化することによって、同門会を今よりも大きな仕事ができる組織にする、新しい一歩だと考えております。選挙はその透明化を担保する大切な手続きであり、法人としての最初のミッションでした。

初めての経験でもあり、代議員数の設定から、選挙方法まで手探りの状態で、公示後にもいくつかの不備があり、大変ご迷惑をおかけしました。当初は代議員候補が少ないのではないかと危惧をしておりましたが、同門会に対する皆様の熱い思いを反映し、沢山の推薦・立候補をして頂き誠にありがとうございました。また、選挙の際には沢山の投票をして頂き、重ねて御礼申し上げます。選出された代議員のご活躍を祈念すると共に、今回は選出されなかった会員の皆様の、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

今回の選挙を見直し、次回の選挙時にはスムーズな運営ができるように致します。最後になりますが、青木様、坂口様には大変お忙しい中、選挙事務でご無理をお願いしました。本当にありがとうございました。

同門会設立ワーキングより(学術企画)

滋賀医科大学 外科学講座

村田 聡

滋賀医科大学外科同門会の社団法人化にあたり、最も大切なことは、「新しい同門会で何を活動し実行するか」だと思われま

す。同門会設立ワーキングとして、以下のことを提案し、理事会の承認を得た上で、計画を実行できるように準備を進めております。

優先する事業内容として、

1)同門会員が生涯にわたって学べる機会を提供する「生涯教育支援事業」、2)同門会員が外科医としての能力を高めていくことを支援する「能力開発推進支援事業」、さらに、3)若手外科医を誕生させ育てるための「若手外科医育成支援事業」の3つをあげ、活動の柱としました。

具体的な内容を簡潔に示します。

1)生涯教育支援事業(全同門会員対象)

講演会の開催

学術集会の開催

2)能力開発推進事業(全同門会員対象)

学術研究支援

同門会賞(臨床論文業績)

同門会長賞(論文業績)

英語論文発表支援

国際学会発表支援

社会貢献推進支援

同門会奨励賞(社会的業績)

外科技能研修支援

国内技能研修支援

国外技能研修支援

留学支援

3)若手外科医育成支援事業(学生、研修医、若手同門会員対象)

医局説明会開催

学内学生・研修医対象

学外研修医対象

外科医局合同説明会開催

医学生、研修医との学術交流

ハンズオンセミナー開催

学術フォーラム開催

医学生、研修医の学会発表支援

学生臨床実習への講師派遣支援

各事業において、明確な目標のもと、実行可能な計画と活動資金確保を行いながら、事業が遂行できるよう準備を進めて参ります。

同門会設立ワーキングより(広報委員)

滋賀医科大学外科学講座
准教授 仲 成幸
講師 花岡 淳

私共、同門会法人化ワーキンググループ広報委員は同門会からの情報の発信および会員相互の円滑な情報共有を目的として、以下の項目について計画をすすめております。

1)同門会誌の発行、2)会員名簿の発行、3)同門会 facebook グループページの開設、4)同門会ホームページの開設。

「同門会誌」についてはこれまで通り、年1回の発行を予定しており、会員からのメッセージ、各病院・施設の紹介、会員の業績について掲載を予定しております。「会員名簿」については今回の法人化移行の際に頂戴した会員情報の一部を掲載させていただきたいと存じます。「同門会 facebook グループページ」はすでに開設しており、気軽に会員相互の情報交換の場として活用していただければ幸いに存じます。Facebookのアドレスは <https://www.facebook.com/sums.gekadoumonkai> となっておりますので、ご登録をお願い申し上げます。「同門会ホームページ」は滋賀医科大学外科同門会の正式な情報発信の場として現在開設準備中です。滋賀医科大学外科同門会のリアルタイムな情報発信を行うとともに、同門会の定款などの情報等について掲載を予定しております。

以上、広報委員より同門会法人化にあたり広報活動についてご報告申し上げます。

今後とも滋賀医科大学外科同門会員相互の情報共有と同門会の発展のための広報活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関連病院だより

- 近江草津徳洲会病院 小池 雅人
- 近江八幡市立総合医療センター 松林 景二
- 京都第一赤十字病院 植木 智之
- 公立甲賀病院 藤田 琢也
- 国立病院機構 東近江総合医療センター 岡内 博
尾崎 良智
- 長浜赤十字病院 川口 晃
- 社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 阿部 元

近江草津徳洲会病院

〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-34-52

電話：077-567-3610

小池 雅人（平成 11 年卒）

4 年ぶりの病院紹介です。以前にもご報告いたしましたが、近江草津徳洲会病院は、平成 15 年 9 月に同門会会長の小玉正智先生を初代院長に迎えて開院し本年平成 25 年に開設 10 年を迎えた若い病院です。開院時より小玉院長、青嶋副院長の心臓血管外科開設に対する御熱心な努力と、更に滋賀医科大学浅井教授の御協力を得て、平成 18 年 6 月に心臓血管外科の本格的開設となる第一例の開心術(AVR)を浅井教授御執刀で行いました。平成 19 年 4 月から滋賀医科大学より白石先生(S60 卒)が心臓血管外科部長として赴任、私小池(H11 卒)も常勤医として赴任となり手術件数も徐々に増加してきております。平成 21 年 9 月には心臓血管外科開設後の開心術数が 100 例(OPCAB 53 例、弁膜症、胸部大血管 48 例)を超え、平成 25 年 9 月には OPCAB 115 例、弁膜症、胸部大血管 153 例、腹部大動脈瘤 87 例、その他末梢血管、下肢静脈瘤 223 例とその他の手術を含めて総手術件数が 600 例を超え、順調に症例数を積み重ねていくことができました。滋賀医科大学同様に超高齢者の連合弁膜症や低左心機能、透析病患者等のハイリスクな症例も珍しくありませんでしたが、周術期死亡 1 例、更に開心術、開腹術後の約 90%以上が、術後 24 時間以内に離床と食事を行えたという良好な成績を残せております。以前にもご報告いたしましたが、残念ながら心臓血管外科開設以来、当院に ICU はなく、心臓麻酔をかける常勤麻酔科医がない、常勤の循環器内科医がないという厳しい環境に改善はありません。しかしながら周術期管理に熱意をもって医療従事してくれる看護師、医療工学技士や理学療法士らのおかげで、当院に入院していただいた患者様には大学にひけを取らない医療提供をさせていただいております。今後も現在安定した手術成績を残すため、施設のハード面ソフト面の更なる充実もさることながら、院内外を問わず多くの同門諸先生の御指導、御協力をいただき、全症例を大切に診療させていただくことが重要と考えております。今後とも宜しくお願い申し上げます。(文責：小池 雅人)

近江八幡市立総合医療センター

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379

電話：0748-33-3151

松林 景二（平成4年卒）

近江八幡市立総合医療センターの心臓血管外科は平成25年4月に新規開設され、滋賀医大心臓血管外科浅井教室よりスタッフが派遣され、立ち上げの準備が始まりました。また、立ち上げ以前より、当院循環器病棟、ICU、手術室の看護スタッフや臨床工学技士が、滋賀医大の各部署に研修および見学に出向いてくれており、5月には腹部大動脈瘤の手術を無事に行うことができました。

7月より松林が赴任し、スタッフ3名が揃い、5日には第1例目の開心術を行う事ができ、スムーズな滑り出しで軌道にのることができました。定期的に週1~2例の開心術と腹部大動脈瘤や末梢血管手術をそれぞれ順調にこなしています。9月には重症かつ複雑な症例に対して、浅井教授をお招きして、手術をして頂きました。

現在、手術症例の大半が院内紹介によるものですが、当院は年間約1500件のカテーテル検査と600件ものPCIを行っている施設であり、数多くの循環器疾患の患者さんが受診されます。個々の症例に対して、循環器内科やコメディカルと密接な連携をとって、治療方針を決定する、いわゆる“ハートチーム”による診療を行っています。その結果、5ヵ月で30例の心臓大血管手術を、腹部大動脈・末梢血管手術含めると70例もの手術症例を経験することができました。その内、5例が緊急症例でしたが、まだまだ未熟な環境の中で、手術室やICU等コメディカルの協力があつて、緊急手術をこなすことができました。さらに、11月からは施設認定を受け、腹部大動脈瘤に対して、ステントグラフト内挿術による治療も開始することができました。今後、緊急・予定を問わず、他院からの紹介患者さんも受け入れていきたいと思っています。

近江八幡は田舎という土地柄もあり高齢者が多く、開心術症例の1/3が80歳以上の超高齢者という特色があります。80歳を超えると、手術自体のriskも高くなってきますし、予期せぬ術後合併症も増えてきます。高齢、若齢に関係なく、全ての患者さんが元気に退院して頂けるように、今までの経験を生かして、さらに高度で注意深い診療が必要と考えています。

12月より早川と松林のスタッフ2名となりましたが、浅井教室の看板を背負って、その名に恥じないよう、“高水準、安心と信頼の心臓手術”をモットーに、近江八幡のみならず東近江地域のお役にたてるよう努力してまいります。

（平成25年12月5日 文責 松林 景二）

京都第一赤十字病院

〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749

電話：075-561-1121

植木 智之 (平成 13 年卒)

同門会の皆さま、こんにちは。平成 13 年卒の植木智之と申します。
私が勤務しております京都第一赤十字病院についてご紹介申し上げます。

京都第一赤十字病院は、京都市東山にある病床数 668 床の総合病院です。
当院の歴史は古く昭和 9 年より日本赤十字社京都支部病院として診療を開始し、
先の大戦の折には京都陸軍病院として傷病兵の収容を行ってまいりました。近年は
施設の老朽化に伴い、改築・増築を行っておりますが、平成 23 年より第二次改
築整備工事が起工し、平成 24 年 9 月には新病棟(C 病棟)が竣工しました。
施設の承認認定は多岐にわたっており、主なものに地域がん診療連携拠点病院、
京都府基幹災害医療センター、総合周産期母子医療センターなどがあります。ま
た、平成 24 年度からの急性期病院の分類においては、大学病院本院群に次ぐ施
設として京都・滋賀では唯一、高診療密度病院群(DPC 医療機関群 II 群、全国 90
施設)に分類されております。

当院では、主に京都府立医大より派遣された多くの医師が在籍しており、平成
24 年度は救急車搬入件数 6778 件、手術数 8713 件、上部内視鏡 10178 件、下部
内視鏡 2862 件、心臓カテーテル 1076 件など、高いアクティビティを誇ってお
ります。

消化器外科は、塩飽部長をはじめ、スタッフ 6 名、レジデント 4 名にて診療に当
たっております。平成 24 年度の手術件数は 731 件で、近年は腹腔鏡手術も積極
的に導入しております。同門会からは、平成 24 年 4 月より生田大二先生が赴任
し、翌 25 年 4 月からは私、植木智之が赴任させていただいております。私は、
平成 15 年 4 月より 2 年間レジデントとして当院に勤務しておりましたが、この
たびスタッフとして再び赴任させていただくこととなり、新たな気持ちで診療に
臨んでおります。後進の指導のみならず、自分自身も外科医としてさらに研鑽を
積んで参りたいと思っております。

当院は臨濟宗大本山である東福寺の向かいにあり、紅葉の季節の通天橋からの
眺めは格別です。京都にお立ち寄りの際には、是非当院にも足をお運びいただき
たく存じます。

公立甲賀病院

〒528-0014 甲賀市水口町鹿深 3-39

電話：0748-62-0234

藤田琢也（平成9年

卒）

平成25年4月より甲賀病院、呼吸器外科に赴任いたしました。

当院は私の着任と同時に新築移転いたしました。以前の病院をご存じの方からしたら当然ながら見違えるように美しく機能的になっていると思われます。病棟の患者さんの居室空間は広く、とてもきれいであり、3.0TのMRI画像装置の新規導入など検査機器の充実とともに放射線治療機器も更新され、がん診療拠点病院として、また高度先進医療に対応できる病院としての体制も整いました。さらにICU病棟の新設や、手術室と救急医療室の拡充など、救急・急性期医療に対する万全な備えとともに、緩和ケア病棟や回復期リハビリ病棟を新たに開設し総合的医療を提供できる体制も整っていると感じます。

実際に仕事しながら感じる点としては、ハード面の充実もさることながら、当院は滋賀医大出身者が多く、また近隣にも今まで大変お世話のなつた先生方が多く、非常に心強く思つております。特に私は肺癌診療を中心に行つておりますが、胸腔鏡を用いた痛みの少ない肺がん手術を積極的に行つております。また当院では手術以外でも、化学療法、放射線治療、緩和ケア医療と、すべての治療が可能であり肺癌患者さんに総合的医療を提供しております。

国立病院機構 東近江総合医療センター

〒527-8505 滋賀県東近江市五智町 255

電話：0748-22-3030

岡内 博 (平成 8 年卒)

平成 22 年 1 月に策定された滋賀県地域医療再生計画(東近江医療圏)及び平成 22 年 6 月に策定された東近江市病院等整備計画により、当滋賀病院は東近江市立 2 病院との集約化と再編を図り、新たに独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センターとして、地域の中核病院の役割を担うべく、平成 25 年 4 月に 220 床から 320 床に増床し生まれ変わりました。新たに建設された新病棟は 7 階建てで、1 階が放射線・内視鏡検査部門、2 階は 5 つの手術室と 200 人収容規模の大会議室で災害時の対応可能な設備を備える設計となっています。3 階から 7 階までは病棟で 7 階には結核病棟があり全て陰圧・個室となります。結核病棟以外にも感染症対策として各階に 2 床の陰圧・陽圧切り替え可能な個室も設置します。平成 25 年 10 月現在、東近江市 1 番の高層ビルとなっており、名神高速道路八日市 IC を通過の際には安全運転の上、是非ご覧になってください。

これに先んじて、平成 23 年 4 月には地域医療再生に向けた取り組みの第一歩として、滋賀医科大学の寄附講座の医師を含め医師 14 名の体制から 25 名の体制となりました。この体制により、平成 12 年以来となる産婦人科を再開設しております。また、平成 22 年 4 月からは救急科を新たに設置するとともに、内科系・外科系の医師 2 名による 24 時間体制で救急患者の対応を行っております。

当院は滋賀医大の第二附属病院としての役割もあり、平成 24 年 4 月からはポリクリ(学生実習)および、研修医の受け入れをおこなっております。大学から派遣された寄附講座のメンバーと力を合わせて、各科縦割りの実習・研修ではなく、横断的、総合的に良質の医師を育てていきたいと思っています。

また広域地域医療センターについても今回の整備で当院の敷地内に設置され、休日急患診療所、三方よし、三師会等、いろんな職種が有機的に集まって、急性期から慢性期、在宅介護まで、この地でしっかりと行えるよう日々精進しております。

国立病院機構 東近江総合医療センター

〒527-8505 滋賀県東近江市五智町 255

電話：0748-22-3030

尾崎 良智（平成7年卒）

名神高速道路を瀬田方面から名古屋方面へ黒丸 PA 付近の小高い丘を越えると長閑な田園地帯の遙か前方に突如一際大きな建物が目につきます。これが平成 25 年 4 月 1 日、生まれ変わった国立病院機構東近江総合医療センターの 7 階建ての新病棟（南病棟）です。高い建物があまりない東近江市にあっては、名神八日市 IC に隣接するこの病棟は今やまさに同市のランドマークとなっています。昨年度の本誌では地域医療再生計画真っ只中の国立病院機構滋賀病院として病院のあゆみをご紹介いたしました。今年は昨年を引き続き、新たなスタートを切った当院の現況についてご紹介したいと思います。

滋賀病院時代の 220 床から 320 床に増床した当院は、ご存じのとおり滋賀医大にとっては第 2 教育病院としての位置づけがなされ、勤務医師のほとんどが滋賀医大出身者で占められております。外科系診療科においては平成 25 年 9 月現在、常勤医は呼吸器外科が井上院長以下 4 名、外科が来見副院長以下 6 名、そのほか整形外科 2 名、産婦人科 2 名、皮膚科 2 名、眼科 1 名、歯科口腔外科 2 名の体制となっています。内科系診療科医師もみな多くが先輩・後輩であったり顔見知りなのに加え、大学と違って小所帯でもあるので、横のコミュニケーションが非常にとりやすいのが特色です。

4 月にオープンした新病棟は 1 階が放射線・内視鏡部門、2 階が手術室・大ホール、3～7 階が病棟となっています。特に手術室は各部屋いづれもゆったりとした設計になっており、フル HD の画像記録システムなど大学にもひけをとらない充実した設備ですが、惜しむらくはマンパワーの不足で常勤の麻酔医が 1 名のみであり、非常勤の麻酔医の手助けで何とかこなしている状況です。ちなみに 25 年 4 月～8 月の 5 か月間の全手術件数は 450 件で、昨年同時期に比べ 33.5%増えており、麻酔医の増員が喫緊の課題となっております。

10 月からは電子カルテが全面導入されて業務環境は大きく改善され、12 月には外来棟改装工事も完了し、病院再開発はいよいよ最終段階にはいってきました。数年前の滋賀病院とは全く別の病院となったようです。当院は全国の地域医療再生のモデルケースとしても注目され、地域の中核病院として一層期待されていることを自覚し、その責務を全うしたいと思います。

長浜赤十字病院

〒526-8585 長浜市宮前町 14-7

電話：0749-63-2111

川口 晃（昭和 60 年卒）

滋賀県以北の長浜赤十字病院へ赴任し、はや1年を迎えることとなりました。私の祖母の出身が長浜市国友村であることを知ったのは、小学生の時の宿題、”ルーツを探れ”でのことでした。国友村は戦国時代、種子島より伝来した火縄銃の生産地として栄えた鉄砲鍛冶屋の村でした。江戸時代に入り、国政の安定化とともに武器としての鉄砲から装飾品としての付加価値が重要視されるようになり、機能美的に洗練されたものとなってきています。その技術は国友一貫齋に代表される空気銃や望遠鏡などの発明や花火製造に受け継がれていき、今日ではその技術は長浜八幡宮の曳山(山車)や長浜仏壇の金具に垣間見ることができます。

さて、長浜市の中央に位置する長浜赤十字病院は、精神科 70 床を含む計 504 床の中堅病院で、湖北地区における地域連携の重要な拠点病院であるばかりでなく、3次救急指定病院、災害拠点病院といった側面も持ち合わせた湖北地区の中核的な病院として機能しています。救急車搬入件数は年間約 4000 件で、そのうち外傷や交通事故等の外科系救急は約 20%程度を占めています。残念ながら当院には救急専任医師が存在せず滋賀医科大学から 2 名の救急医の助けを借りながら、日中、夜間の救急を常勤医で担わなければならないのが現状であります。

現在、常勤医師は総数 42 名で、主に京都大学、滋賀医科大学、福井医科大学からの派遣によりまかなわれています。育ちも流派も違う医師の混在した病院ではありますが、医局は広いホールとなっており、壁がなく、医師間の風通しが極めて良い環境となっています。外科は福井医大旧第 2 外科出身者 3 名、滋賀医大から 3 名、産業医大出身 1 名の計 7 名で構成され、年間手術症例 780 件(うち全身麻酔 480 件)をこなしています。3次救急としての緊急手術症例をこなす傍らで、年間、胃癌約 70 例(腹腔鏡手術は 30 例)、大腸癌 65 件(腹腔鏡手術は 6 割)、胆摘 93 例(当院では牽引法による単孔式腹腔鏡手術を積極的に導入しています)、肝切除 7 例、膵頭十二指腸切除 6 例、乳癌 32 件、鼠径ヘルニア 110 例と比較的恵まれた手術症例が確保されています。腹腔鏡下の手術にも積極的に取り組んでいる一方で、血管外科の技術も持ち合わせ、遊離空腸再建や門脈再建も自科で完遂しうるチームとなっています。各自が食道から肛門、肝胆膵領域に至る幅広い手術手技を持ち合わせており、手術手技も比較的高度なレベルを維持していることも当

院の特色といえるかもしれません。近年では腹腔鏡下の手術に積極的に取り組むことにより、拡大視効果による膜構造のより詳細な認識といった面からの精度の高い郭清手技向上に取り組んでいます。また災害拠点病院として、JATEC や DMAT にも積極的に参入することで、消化器外科の範疇を超えた人脈作りにも励んでいる毎日です。

我々の日課は、朝は回診からはじまり、透析穿刺・回診組と午前・午後の外来、センター(当院では救急室をセンターと称しています)組に別れ、常時手術室に入る人数が十分確保可能な状況とはいえない状況にあります。

若手医師の活躍の場として、また滋賀県湖北地区の医療体制を維持するためにも、同門会がより積極的に当病院への関与を深めていただければ幸いです。

長浜市は、黒壁スウエアや戦国時代の名所を有する湖北最大の観光スポットでもあります。観光がてら当地に足をお運びいただけることをお待ちしております。

社会医療法人生長会 ベルランド総合病院

〒599-8247 大阪府堺市中区東山 500-3

電話：072-234-2001

阿部 元 (昭和 58 年卒)

ベルランド総合病院は、以前に外科の川崎先生が紹介していますが、1982年に特定医療法人として大阪府堺市に設立された総合病院です。2009年には社会医療法人となり、大阪府がん診療拠点病院にも指定されており、大和川以南地区の診療を担っています。病床数は477床で、診療科は22科あり、常勤医師数は130名に上り、主に大阪大学、大阪市大、奈良医大、滋賀医大、近畿大学から派遣されています。医師の初期研修にも力を入れており、現在14名の初期研修医が各科を研修しています。

もともと乳癌診療は外科の一部として行われていましたが、乳腺に携わる外科医が1名であり、昨年手術症例が88例と増加してきたため、2013年1月に新しい科として乳腺センターが開設され、私がセンター長として赴任しました。常勤医2名、非常勤医4名の体制で、月曜日から土曜日まで毎日外来診療を行っています。手術は水曜日、木曜日の週2日で行っています。もう一人の常勤医である山崎圭一医師は平成10年に滋賀医大を卒業し、大阪市大に入局した先生で、先輩後輩という立場でお互い仲良くやっています。新しく開設された科ですので、施設は外科の一部を借りて行っていますが、設備に関しては充実しています。64列マルチスライスCTや1.5T MRI、RI診断装置はすべてそろっており、画像診断はデジタルマンモグラフィも含めてすべてフィルムレスでモニター診断を行っています。超音波装置も乳腺センター開設に伴って外来に2台設置され、マンモトーム装置もハンディタイプ、ステレオガイドタイプの両方が揃っています。乳がん検診にも力を入れており、検診マンモグラフィは近隣地区では最高の撮影数を誇っています。最近何かと話題に上っている乳房再建も学会の施設認定に登録され、形成外科と協力して1次再建、2次再建を積極的に行っています。

2014年8月には同一敷地内に10階建ての新病院が完成する予定で、その時には乳腺センターと産婦人科が合同でレディースフロアー、レディース病棟を開設する予定になっています。現在、新体制に向けて医師、看護師、薬剤師、技師、事務等とカンファレンスを重ね、女性医師がいないマイナス点を女性スタッフの意見で補って、女性患者にとって敷居が低くてやさしい病院にすべく目指しています。

新 年 会

- 新年会講演抄録
- 新年会講師紹介

南海トラフ地震と災害医療 ～滋賀の外科医に求められること～

阪神淡路大震災では死者6,434名の内、直接死約5,500人の大多数は建物倒壊に伴うものであった。医療機関の建物や設備被害も大きく、大規模な広域搬送計画もなかった。一方、周辺都市の医療機関は機能しており、被災地への電力の供給再開も早かった。

その後、各地で震度7クラスの地震が起きてはいるが、幸いにも大規模都市直下では発生していない。

東日本大震災では直接死約18,500人の大半は津波によるもので、建物倒壊に伴う死者は極めて少なかった。建物に被害を与える地震動の成分が極めて小さい特殊な地震であったためである。沿岸部の医療機関は津波で壊滅的被害を受けたものの内陸部の病院の被害は小さく、電力も東北電力の主体である日本海側の発電所は被害がなく供給再開も早かった。

では次のような悪い条件が重なるとどうなるのか。南海トラフ地震に備える医療機関の防災対策はこのような観点での検討に基づかななくてはなるまい。

- ・津波被害に加えて建物被害も大きい（多くの重傷者が発生）
- ・発電所被害などのインフラ被害が広域に発生

南海トラフ沿いの巨大地震の被害はどのようなものであろうか？地震の規模が同じ程度としても、被害の規模は全く異なる。被災者は人口比で東日本大震災の10～20倍程度と考えられ、そのほとんどが太平洋岸に発生する。医療機関自体も揺れと津波の二重の被災が考えられる。特に中部地方は火力発電所の大半が太平洋沿岸にあり広域停電の可能性も高く沿岸部では液状化による埋設管被害も必至である。道路交通網の被害も大きく広域搬送も空路のみとなりかねない。となれば、現状では重傷者の大多数が死者となるシナリオも覚悟しておくべきであろう。

ベストの危機管理は危機に陥らないこと、セカンドベストが被害の最小化である。オールジャパンで下記に取り組まなければならない。

- ・重傷者を減らすこと（一般住宅の耐震化）
- ・医療機関の被害を減らすこと（医療機関の耐震化）
- ・広域搬送力の強化
- ・広域停電、断水という状況下での重傷者受入れ能力の強化

滋賀県には四国、和歌山方面からだけでなく、東海方面（小牧）からも多数の重傷者が搬送されて来ると予想される。

なお、海溝型地震の前後には直下地震が多発する。もしも上町断層系地震などの都市直下地震が発生すれば、震度6強の範囲が阪神淡路大震災の数倍で数万人の重傷者が発生する。断層から離れた医療機関の被害は小さいので重傷者の受け入れは理論的には可能だが、湾岸の火力発電所の被害や液状化による配管被害リスクを考えると、電力と水の双方がない中での医療救護を迫られる可能性もある。

氏名 宮本英治

役職 災害対策研究会代表（任意団体）

地域安全学会・顧問

1950年1月福岡県生まれ

九州大学大学院（農学修士）

従来は地震応答解析、地震被害予測、防災システムが専門。阪神淡路大震災を契機に災害図上演習を活用して市民組織、自治体、医療機関、介護事業者、民間企業（自動車会社、自動車部品・電子機器メーカー、電力会社、建設会社、食品物流会社、製薬会社など）の防災対策の指導を行っている。災害医療に関しては国立病院機構・災害医療センターの災害対応マニュアル、静岡県の災害時重傷者広域搬送計画に関わった。

.....

以下は参考です。

専門

- (1) 地震応答解析・地震被害予測
- (2) 防災システム開発
- (3) 災害図上演習・災害対応マニュアル

実績

- 地震応答解析・防災システム開発
 - ・地震応答解析（原子力発電所、大水深防波堤、海上空港等）
 - ・地震被害予測システム（大阪府・三重県・藤沢市等）
 - ・災害情報システム（静岡県、福岡市、松山市等）
 - ・緊急地震速報システム（災害医療センター、藤沢市等）
- 図上演習
 - ・住民向け災害図上演習（大阪市、藤沢市など）
 - ・地域防災リーダー研修（宮崎県、練馬区など）
 - ・職員研修（国土交通省、市町村アカデミーなど）
 - ・化学テロ、感染症、爆破テロ対策の図上演習（福岡県、福岡市など）
- 災害対応計画・マニュアル
 - ・自治体の災害対応マニュアル・図上訓練（四日市市、練馬区、藤沢市など）
 - ・医療機関の災害対応マニュアル・災害図上訓練（災害医療センター）
 - ・社会福祉施設、保育園の防災対策
- 企業の防災対策（BCP）
 - ・自動車会社、自動車部品・電子機器メーカー、電力会社、建設会社、物流会社、製薬会社など

教室業績

2012 年度

消化器外科, 乳腺一般外科

【論文】

<和文著書>

阿部 元

治療編 治療戦略 ガイドライン

乳癌レビュー2012, 235-241

メディカルレビュー社, 東京, 2012

<英文学術論文>

Morikawa Shigehiro, Murayama Hiroyuki, Fujimoto Sakae, Shiino Akihiko, Inubushi Toshiro
A simple way to acquire T1-weighted MR images of rat liver with respiratory triggering
Magnetic Resonance Imaging, 30:453-458, 2012

Hashiodani Kenji, Takada Shinichi, Fukumizu Yohei, Yamauchi Hironori, Kurumi Yoshimasa,
Tani Tohru

Separation algorithm for biosignals as preprocess in detecting circulatory disease
Journal of Signal Processing, 16(2):159-170, 2012

Ishida Mitsuaki, Umeda Tomoko, Abe Hajime, Tani Tohru, Okabe Hidetoshi

Neuroendocrine carcinoma of the breast with a mucinous carcinoma component: a case report
with review of the literature

Oncology Letters, 4:29-32, 2012

Morikawa Shigehiro, Naka Shigeyuki, Shiomi Hisanori, Murayama Hiroyuki, Murakami
Koichiro, Tani Tohru, Kurumi Yoshimasa, Hasnine A. Haque, Inubushi Toshiro

Development of instruments to assist accurate puncture of liver tumors for MRI-guided
microwave ablation -From a simple spacer to a motorized robot-

J. Microwave Surg., 30:183-190, 2012

Abe Hajime, Mori Tsuyoshi, Kawai Yuki, Cho Hiroto, Kubota Yoshihiro, Umeda Tomoko, Kurumi
Yoshimasa, Tani Tohru

Feasibility and toxicity of decetaxel before or after fluorouracil, epirubicin and
cyclophosphamide as adjuvant chemotherapy for early breast cancer

Int J Clin Oncol, Published online:07, 2012

Yamaguchi Tomohiro, Taniguchi Hirokazu, Fujita Shin, Sekine Shigeki, Yamamoto Seiichiro, Akasu
Takayuki, Kushima Ryoji, Tani Tohru, Moriya Yoshihiro, Shimoda Tadakazu

Clinicopathological characteristics and prognostic factors of advanced colorectal mucinous
adenocarcinoma

Histopathology, 2012

Do Trong Khanh Mekata Eiji, Mukai-sho Ken-ichi, Shimizu Tomoharu, Tatsuda Takeshi, Sugihara
Hiroyuki, Endo Yoshihiro, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Myeloid cells positive for CD10 at invasion front can predict poor outcome in stage II
colorectal cancer

Int J Clin Oncol, 17:240-249, 2012

Shimizu Tomoharu, Obata Toru, Sonoda Hiromichi, Akabori Hiroya, Miyake Tohru, Yamaguchi
Tsuyoshi, Mori Tsuyoshi, Naka Shigeyuki, Murata Satoshi, Tani Tohru

Alteration in plasma endotoxin level measured by endotoxin scattering photometry method
in two patients with septic shock

日本外科系連合学会誌, 38(1):75-79, 2013

Sonoda Hiromichi, Mekata Eiji, Shimizu Tomoharu, Endo Yoshihiro, Tani Tohru

Safety and efficacy of panitumumab therapy after metastatic colorectal cancer progression
with cetuximab: Experience at a single Japanese institution

Oncology Letters, 5:1331-1334, 2013

<和文学術論文>

竹林克士, 河合泰博, 田儀知之, 松村雅方, 清水謙司, 山本 寛, 目片英治, 谷 徹, 佐藤眞杉
胃癌術後補助化学療法としての S-1 隔日経口投与法の治療経験
癌と化学療法, 39(3):385-387, 2012

小島正継, 目片英治, 清水智治, 園田寛道, 竹林克士, 石田光明, 岡部英俊, 谷 徹
同時性卵巣転移を有した大腸 SM 癌の 1 例
日本大腸肛門病学会雑誌, 65(5):259-265, 2012

田畑貴久, 谷 徹
DIC (播種性血管内凝固症候群)
消化器外科, 3(5):929-932, 2012

小島正継, 山本 寛, 村田 聡, 谷 徹
カプセル内視鏡により発見された小腸 gastrointestinal stromal tumor の 1 例
外科, 74(6):661-664, 2012

竹林克士, 園田寛道, 生田大二, 赤堀浩也, 清水智治, 谷 徹
腹腔鏡下内肛門括約筋切除 (LAP-ISR) を施行した表層拡大型直腸癌の 1 例
日本内視鏡外科学会雑誌, 17(3):373-376, 2012

園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 村田 聡, 山本 寛, 谷 徹
胃, 直腸重複癌に対して一期的に腹腔鏡下手術を施行した 1 例
滋賀医科大学雑誌, 25(1):18-21, 2012

奥村憲二, 谷 総一郎, 塩貝陽而, 小玉正智, 目片英治, 谷 徹
Dihydropyrimidine Dehydrogenase Inhibitory Fluoropyrimidines (DIF) 製剤と Paclitaxel との
併用療法により腹水の消失が得られ長期に良好な QOL を保つことのできた胃癌腹膜播種の 2 症例
癌と化学療法, 39(4):667-670, 2012

清水智治, 小幡 徹, 赤堀浩也, 園田寛道, 遠藤善裕, 江口 豊, 田畑貴久, 谷 徹
Endotoxin scattering photometry (ESP) 法による血中 ET 測定の現状と課題
エンドトキシン, 自然免疫研究 15, 31-34, 医学図書出版, 東京, 2012

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 谷 徹
ESP 法 (Endotoxin scattering photometry) による血中エンドトキシン測定
日本外科感染症学会雑誌, 9(4):327-334, 2012

仲 成幸, 谷 徹
MR 画像誘導による内視鏡外科手術
映像情報メディカル, 44(6):540-545, 2012

神谷純広, 清水智治, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 山口 剛, 森 毅, 仲 成幸, 谷 徹
肛門括約筋を貫通して摘出された裁縫針誤飲の 1 例
日本外科系連合学会誌, 37(4):826-831, 2012

小島正継
膵嚢胞性病変として腹腔鏡補助下に切除した PanIN-2 の 1 例
日本外科系連合学会誌, 37(4):859-863, 2012

阿部 元, 森 毅, 谷 徹
乳癌 (第 2 版) - 基礎と臨床の最新研究動向 -
日本臨床, 70(7):687-692, 2012

中村一郎, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 園田寛道, 谷 徹, 石田光明
S 状結腸癌より管腔内転移した痔瘻癌の 1 例
日本臨床外科学会雑誌, 73(8):2007-2013, 2012

北村美奈, 清水智治, 目片英治, 龍田 健, 赤堀浩也, 三宅 亨, 村田 聡, 山本 寛, 石田光明,
谷 徹
横行結腸癌による腸重積を契機として発見された大網由来炎症性筋線維芽細胞腫瘍の 1 例
日本消化器外科学会雑誌, 45(8):889-896, 2012

赤堀浩也, 清水智治, 三宅 亨, 山口 剛, 園田寛道, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛,
小幡 徹, 遠藤善裕, 谷 徹
消化器外科手術での Endotoxin activity assay (EAA) の変動に関する検討
エンドトキシン血症救命治療研究会誌, 16(1):93-101, 2012

清水智治, 小幡 徹, 赤堀浩也, 遠藤善裕, 江口 豊, 田畑貴久, 谷 徹
Endotoxin scattering photometry (ESP) 法による敗血症患者での血中エンドトキシンの評価
エンドトキシン血症救命治療研究会誌, 16(1):26-31, 2012

森 毅, 清水智治, 園田寛道, 山口 剛, 龍田 健, 仲 成幸, 村田 聡, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
ストーマ閉鎖術における単純皮膚縫合法と環状皮膚縫合法の比較検討
日本外科系連合学会誌, 37(6):1080-1085, 2012

箸尾谷健二, 高田信一, 福水洋平, 山内寛紀, 来見良誠, 谷 徹
人体の心拍音, 呼吸音, 脈音分離手法に基づく異常周期を持った循環器系疾患の検出
日本音響学会誌, 68(8):387-396, 2012

寺田敏彦, 河合慎也, 福水洋平, 山内寛紀, 張 弘富, 来見良誠, 谷 徹
Mean Shift 領域分割とアイリスフィルタを用いた腫瘍領域の検出
電子画像学会誌, 41(6):688-696, 2012

阿部 元
乳がん up to date
一乳がん治療の変遷と, 家庭医に必要なガイドラインに沿った乳がん術後内分泌治療—
滋賀医学, 35(3):16-17, 2013

久保田良浩, 大竹玲子, 富田 香, 河合由紀, 森 毅, 張 弘富, 梅田朋子, 阿部 元, 加藤博文, 多賀
崇, 谷 徹
腹部腫瘍にて発見された腸間膜脂肪芽腫の1例
日本小児血液・がん学会雑誌, 49:522-524, 2012年

松岡明希菜, 多賀 崇, 野村明孝, 加藤博文, 太田 茂, 久保田良浩, 岡部英俊, 柴田晶美, 竹内義博
上大静脈症候群を契機に診断に至った胸腺ランゲルハンス細胞組織球症
日本小児血液・がん学会雑誌, 49:530-533, 2012年

山本 寛, 谷 徹
肥満外科治療
消化器外科レビュー (最新主要文献と解説) 31~34, 2013.

山本 寛, Vo Trung, 山口剛, 村田 聡, 谷 徹
病的肥満症に対するスリーブ状胃切除術の効果と接触関連ペプチドの変化
臨床消化器内科, 28(6), 725-731, 2013.

前平 博充, 清水 智治, 目片 英治, 園田 寛道, 山口 智弘, 谷 徹
左側閉塞性大腸癌症例の臨床経過の検討
日本臨床外科学会雑誌 73 巻 11 号 2745-2751, 2012 年 11 月

【学会発表】

<国際学会 一般発表>

Abe Hajime, Mori Tsuyoshi, Kawai Yuki, Cho Hiroto, Kubota Yoshihiro, Umeda Tomoko, Mekata Eiji, Tani Tohru
Effect of goshajinkigan on peripheral neuropathy in breast cancer patients treated with docetaxel
American Society of Clinical Oncology (ASCO), June, 2012, Chicago, USA

Mori Tsuyoshi, Wada Satoshi, Kelly Olino, Barish H Edil, Drew M. Pardoll, Richard D. Schulick, Saraswati Sukumar, Yoshimura Kiyoshi
The intraductal injection of 5-fluorouracil for breast cancer: Preventive effect and immune response
American Society of Clinical Oncology (ASCO), June, 2012, Chicago, USA

Shimizu Tomoharu, Obata Tohru, Akabori Hiroya, Miyake Tohru, Sonoda Hiromichi, Eguchi

Yutaka, Endo Yoshihiro, Tani Tohru

Plasma endotoxin level measured by endotoxin scattering photometry during direct hemoperfusion with a polymyxin B-immobilized fiber column in a patient with septic shock
7th Congress of the International Federation of Shock Societies, 35th Annual Conference on Shock, June, 2012, Miami Beach, Florida

Akabori Hiroya, Shimizu Tomoharu, Miyake Tohru, Yamamoto Hiroshi, Obata Tohru, Endo Yoshihiro, Tani Tohru

Endotoxin activity assay (EAA) as an early predictor of perioperative complications in patients with gastrointestinal surgery
7th Congress of the International Federation of Shock Societies, 35th Annual Conference on Shock, June, 2012, Miami Beach, Florida

Kojima K., Akabori Hiroya, Kojima C., J. A. Mobley, I. H. Chaudry

Restoration of essential cellular functions by 17β -estradiol in rat hypothalamus following trauma-hemorrhagic shock (T-H); global and acetylation proteomics
7th Congress of the International Federation of Shock Societies, 35th Annual Conference on Shock, June, 2012, Miami Beach, Florida

Naka Shigeyuki, Tani Tohru, Murayama Hiroyuki, Morikawa Shigehiro, Kurumi Yoshimasa

MR-image guided surgical system for endoscopic surgery
CARS 2012 Computer Assisted Radiology and Surgery 26th International Congress and Exhibition, June, 2012, Pisa, Italy

Murata Satoshi, Yamamoto Hiroshi, Yamaguchi Tsuyoshi, Naitoh Hiroyuki, Shimizu Tomoharu, Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Sonoda Hiromichi, Mekata Eiji, Abe Hajime, Tani Tohru

Hyperthermic intraperitoneal chemotherapy (HIPEC) following a curative resection of advanced gastric cancer
11th International Congress of Hyperthermic Oncology, 29th Japanese Congress of Thermal Medicine (ICHO & JCTM 2012), August, 2012, ハイアットリージェンシー京都

Tani Tohru

Direct-hemoperfusion with polymyxin-B immobilized fiber reduces plasma endotoxin and inflammatory mediators in septic patients
14th International Congress of the World Apheresis Association and 7th National Congress of Turkish Society of Apheresis, September, 2012, Istanbul, Turkey

Tani Tohru

Alteration in plasma endotoxin level during a longer duration of direct hemoperfusion with a polymyxin B-immobilized fiber column in a patient with septic shock
14th International Congress of the World Apheresis Association and 7th National Congress of Turkish Society of Apheresis, September, 2012, Istanbul, Turkey

Morikawa Shigehiro, Hasnine A Haque, Murayama Hiroyuki, Naka Shigeyuki, Tani Tohru, Tokuda Junichi, Hata Nobuhiko

Seamless MR image navigation system using a motorized manipulator with optical and electromagnetic hybrid sensors for a closed bore scanner
9th Interventional MRI Symposium, September, 2012, Boston, MA

Tani Tohru

Endotoxin control in hemodialysis solution using high sensitive endotoxin assay ESP method, IEIIS2012, October, 2012, Tokyo

Shimizu Tomoharu

The ability of endotoxin adsorption during a longer duration of direct hemoperfusion with a polymyxin B-immobilized fiber column in patients with septic shock
IEIIS2012, October, 2012, Tokyo

Abe Hajime, Mori Tsuyoshi, Kawai Yuki, Itoi Naoko, Tomida Kaori, Cho Hiroto, Kubota Yoshihiro, Umeda Tomoko, Tani Tohru

The Kampo medicine goshajinkigan prevents docetaxel-related peripheral neuropathy in breast cancer patients

35th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, December, 2012, Texas, USA

Murata Satoshi, Naitoh Hiroyuki, Yamamoto Hiroshi, Yamaguchi Tsuyoshi, Miyake Tohru, Mekata Eiji, Shimizu Tomoharu, Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Sonoda Hiromichi, Mori Tsuyoshi, Akabori Hiroya, Kawai Yuki, Cho Hiroto, Kubota Yoshihiro, Umeda Tomoko, Endo Yoshihiro, Abe Hajime, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Hyperthermic intraperitoneal chemotherapy following gastrectomy for the prevention of carcinomatosis in advanced gastric cancer: Nonrandomized phase II prospective trial
2012 Gastrointestinal Cancers Symposium, January, 2012, San Francisco, CA

Hashiodani Kenji, Takada Shinichi, Fukumizu Yohei, Yamauchi Hironori, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Detection algorithm for AF and SAS precaution system via separation on biosignals
2012 IEEE the International Association of Science and Technology for Development, 2012

Hashiodani Kenji, Takada Shinichi, Fukumizu Yohei, Yamauchi Hironori, Kurumi Yoshimasa, Tani Tohru

Robustly separating sound components in human body based on 2-ch ICA and EM Algorithm with dirichlet distribution

IEEE-EMBS International Conference on Biomedical and Health Informatics, 2012

<国際学会 シンポジウム>

Yamamoto Hiroshi, Murata Satoshi, Yamaguchi Tsuyoshi, Mekata Eiji, Shimizu Tomoharu, Sonoda Hiromichi, Shiomi Hisanori, Naka Shigeyuki, Akabori Hiroya, Murakami Koichiro, Tani Tohru

Hyperthermic intraperitoneal chemotherapy with gastrectomy and lymphadenectomy for the treatment of gastric cancer patients with peritoneal carcinomatosis

11th International Congress of Hyperthermic Oncology, 29th Japanese Congress of Thermal Medicine (ICHO & JCTM 2012), 2012年8月, 京都

<全国学会 一般発表>

森 毅, 三宅 亨, 富田 香, 河合由紀, 張 弘富, 久保田良浩, 清水智治, 梅田朋子, 阿部 元, 谷 徹

当院の乳癌手術症例における癌幹細胞マーカーCD24-/CD44+発現の検討

第112回日本外科学会定期学術集会, 2012年4月, 千葉

園田寛道, 目片英治, 清水智治, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 遠藤善裕, 谷 徹

当院における進行再発大腸癌に対するセツキシマブ投与後のパニツムマブ投与の成績

第112回日本外科学会定期学術集会, 2012年4月, 千葉

目片英治, 清水智治, 園田寛道, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 阿部 元, 来見良誠, 遠藤善裕, 谷 徹

大腸がんの新たなバイオマーカー (CD10 陽性免疫細胞)

第112回日本外科学会定期学術集会, 2012年4月, 千葉

村田 聡, 内藤弘之, 山本 寛, 山口 剛, 三宅 亨, 目片英治, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 森 毅, 梅田朋子, 久保田良浩, 張 弘富, 園田寛道, 赤堀浩也, 河合由紀, 村上耕一郎, 生田大二, 遠藤善裕, 阿部 元, 谷 徹

腹腔内がん細胞陽性 StageIV胃癌に対する治療戦略

第112回日本外科学会定期学術集会, 2012年4月, 千葉

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 村田 聡, 山本 寛, 塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 三宅 亨, 村上耕一郎, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹

Endotoxin Scattering photometry (ESP) 法による外科周術期患者の評価

第112回日本外科学会定期学術集会, 2012年4月, 千葉

森 毅, 徳田 彩, 長澤芳信, 生田大二, 小島正継, 張 弘富, 久保田良浩, 清水智治, 阿部 元, 谷 徹

当院における腹壁癒痕ヘルニア手術の現状

第10回日本ヘルニア学会学術集会, 2012年4月, 愛知

久保田良浩, 富田 香, 河合由紀, 森 毅, 張 弘富, 梅田朋子, 阿部 元, 谷 徹

巨大後腹膜奇形腫の1例

第 49 回日本小児外科学会学術集会, 2012 年 5 月, 横浜

赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 谷 徹
爪楊枝の十二指腸穿通が契機となって発見された膵頭部膵管内乳頭粘液性腺腫の 1 切除例
第 24 回日本肝胆膵外科学会, 学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 来見良誠, 谷 徹
新規開発した手術用マイクロ波凝固切開装置 (MWCX) の肝胆膵外科領域への応用
第 24 回日本肝胆膵外科学会, 学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 来見良誠, 谷 徹
十二指腸乳頭部腫瘍に対する腹腔鏡補助下乳頭切除術
第 24 回日本肝胆膵外科学会, 学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

長澤芳信, 清水智治, 河合由紀, 森 毅, 園田寛道, 張 弘富, 塩見尚礼, 久保田良浩, 仲 成幸,
村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 谷 徹
皮下埋め込み式内頸静脈留置カテーテル損傷の一例
第 37 回日本外科系連合学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

上村 尚, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
S 状結腸間膜由来の Malignant peripheral nerve sheath tumor の 1 例
第 37 回日本外科系連合学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

塩見尚礼: 当科における腹腔鏡下垂体尾部切除, 核出術の現状
第 43 回日本膵臓学会大会, 2012 年 6 月, 山形

Vo Trung, 山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 卯木 智, 関根 理, 前川 聡, 柏木厚典
Effect of sleeve gastrectomy (SG) in Goto-Kakizaki and high fat diet-induced obese rats
第 30 回日本肥満症治療学会学術集会, 2012 年 6 月, 東京

北村美奈, 徳田 彩, 長澤芳信, 富田 香, 河合由紀, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 阿部
元, 谷 徹, 石田光明, 岡部英俊
サルコイドーシスの経過中に発症した乳癌の 1 例
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

河合由紀, 森 毅, 徳田 彩, 長澤芳信, 富田 香, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 阿部 元,
石田光明, 岡部英俊, 谷 徹
当科における Invasive micropapillary carcinoma の検討
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

長澤芳信, 森 毅, 徳田 彩, 富田 香, 河合由紀, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 阿部 元,
谷 徹
フルカラー画像の新しい蛍光測定法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検術
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

阿部 元, 河合由紀, 森 毅, 富田 香, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 谷 徹
100mL 生理食塩液を用いた trastuzumab 点滴静注の安全性の検討 (第一報)
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

徳田 彩, 森 毅, 長澤芳信, 富田 香, 河合由紀, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 阿部 元,
谷 徹
Trastuzumab によって心機能が低下し, 投与再開後に再び心機能が低下した乳癌の 1 例
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

梅田朋子, 阿部 元, 江口 豊, 富田 香, 河合由紀, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩, 石田光明,
谷 徹
乳癌における urokinase-type plasminogen activator (uPA) および Painhibitor-1 の発現と Ki67
の検討
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

森 毅, 徳田 彩, 長澤芳信, 富田 香, 河合由紀, 張 弘富, 久保田良浩, 梅田朋子, 阿部 元,
谷 徹
当院の乳癌手術症例における癌幹細胞マーカー CD24-/CD44+ 発現の検討

第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

張 弘富, 阿部 元, 梅田朋子, 久保田良浩, 森 毅, 河合由紀
乳房再建時の最適なインプラント選択に対する, 垂直型オープン MRI による立位乳房計測の有用性
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

久保田良浩, 河合由紀, 森 毅, 徳田 彩, 長澤芳信, 富田 香, 張 弘富, 梅田朋子, 阿部 元,
谷 徹, 石田光明
乳癌胃転移の 1 例
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

仲 成幸, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, Hasnine A Haque, 森川茂廣, 谷 徹
NOTES における新しい誘導システムの開発
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

森 毅, 清水智治, 園田寛道, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 谷 徹
ストーマ閉鎖術での皮膚単純縫合閉鎖術と環状縫合閉鎖術の比較検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

長澤芳信, 目片英治, 北村美奈, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村田 聡, 山本 寛, 阿部 元,
谷 徹
中心静脈カテーテルポート留置における内頸静脈アクセスと鎖骨下静脈アクセスの比較検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

生田大二, 山本 寛, 村田 聡, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸,
谷 徹
当院における高齢者胃癌手術症例の予後および術後合併症に与える因子の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

目片英治, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 山本 寛, 清水智治, 園田寛道, 河合由紀, 阿部 元,
谷 徹
PSK 併用による 5FU の抗腫瘍効果増強に関する検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

竹林克士, 園田寛道, 目片英治, 清水智治, 遠藤善裕, 小島正継, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 徹
切除不能進行再発大腸癌における抗癌剤感受性試験の意義
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

清水智治, 園田寛道, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 塩見尚礼, 仲 成幸, 三宅 亨, 赤堀浩也,
谷 徹
当院における潰瘍性大腸炎に対する外科治療の現状
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

山本 寛, 村田 聡, 村上耕一郎, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 目片英治, 谷 徹
病的肥満症に対する腹腔鏡下胃袖状切除術における注意点とコツ
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

塩見尚礼, 山本 寛, 仲 成幸, 赤堀浩也, 清水智治, 村田 聡, 目片英治, 佐々木雅也, 来見良誠,
谷 徹
消化器外科周術期における安静時エネルギー消費量の測定の意義と有用性
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

村上耕一郎, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
当院における大腸 SM 癌内視鏡治療後追加切除症例の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

村山浩之, 仲 成幸, 竹林克士, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹
消化器外科手術におけるマイクロ波手術デバイスの有用性
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

園田寛道, 清水智治, 前平博充, 目片英治, 遠藤善裕, 生田大二, 村上耕一郎, 山本 寛, 仲 成幸,
谷 徹
当院における大腸癌イレウスに対する治療戦略

第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

目片英治, 清水智治, 園田寛道, 河合由紀, 竹林克士, 小島正継, 梅田朋子, 阿部 元, 谷 徹
PSK 併用による 5FU の抗腫瘍効果増強に関する検討
第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月, 大阪

梅田朋子, 目片英治, 河合由紀, 清水智治, 竹林克士, 小島正継, 園田寛道, 森 毅, 張 弘富,
久保田良浩, 阿部 元, 遠藤 衛, 谷 徹
XELOX 療法後の XELIRI 療法により長期 SD を得た大腸癌肺転移の 1 例
第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月, 大阪

河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 竹林克士, 小島正継, 園田寛道, 森 毅, 張 弘富, 久保田良浩,
梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 谷 徹
Lapatinib 無効後に Gemcitabine+Trastuzumab 併用療法が奏効した HER2 陽性転移性乳癌の 1 例
第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月, 大阪

園田寛道, 目片英治, 清水智治, 塩見尚礼, 村田 聡, 阿部 元, 谷 徹
Stage II - III 大腸癌術後補助化学療法の効果予測における抗癌剤感受性検査の有用性
第 71 回日本癌学会学術総会, 2012 年 9 月, 札幌

小林 遊, 高野 淳, 宮城洋平, 土屋永寿, 園田寛道, 岡部英俊, 谷 徹, 藤山佳秀, 醍醐弥太郎
大腸癌における URCC1 発現の臨床病理学的評価と機能解析
第 71 回日本癌学会学術総会, 2012 年 9 月, 札幌

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 来見良誠, 谷 徹
十二指腸乳頭部腫瘍に対する腹腔鏡補助下乳頭切除術の経験
第 48 回日本胆道学会学術集会, 2012 年 9 月, 東京

大崎理英, 稲富 理, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠, 辻川知之, 安藤 朗, 藤山佳秀
Amphiregulin, Epiregulin を介した膵がん増殖進展機序の検討
第 54 回日本消化器病学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 谷 徹
cineMRI による病的肥満症に対する胃袖状切除前後の消化管運動の可視化
第 54 回日本消化器病学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, ポー チュン, 卯木 智, 前川 聡, 柏木厚典, 谷 徹: 病的肥満症に
対する腹腔鏡下胃袖状切除術 (LSG) のメタボリックサージェリーとしての可能性
第 33 回日本肥満学会, 2012 年 10 月, 京都

阿部 元, 河合由紀, 森 毅, 富田 香, 大竹玲子, 植木智之, 久保田良浩, 梅田朋子, 目片英治,
谷 徹
100mL 生理食塩液に混和した場合の trastuzumab 点滴投与時間短縮時の安全性の検討
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月, 横浜

河合由紀, 阿部 元, 森 毅, 富田 香, 村上耕一郎, 久保田良浩, 梅田朋子, 目片英治, 谷 徹
原発性乳癌に対する Trastuzumab 術後補助療法と放射線療法の併用における安全性の検討
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月, 横浜

梅田朋子, 森 毅, 河合由紀, 富田 香, 大竹玲子, 植木智之, 村上耕一郎, 清水智治, 久保田良浩,
目片英治, 阿部 元, 谷 徹
ラパチニブを用いて長期 SD が得られた再発乳癌の検討
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月, 横浜

山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 塩見尚礼,
久保田良浩, 仲 成幸, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 谷 徹
術中腹腔内温熱化学療法が奏効した腹腔内がん細胞陽性の消化器癌 3 例
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月, 横浜

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 竹林克士, 内藤弘之, 清水智治, 塩見尚礼, 園田寛道, 仲 成幸,
森 毅, 赤堀浩也, 梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 谷 徹
胃がん手術による腹膜転移形成の可能性とその治療戦略
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月, 横浜

奥村憲二, 目片英治, 谷 徹
術中心筋梗塞を発症し, 姑息的人工肛門造設後, XELOX 療法にて病勢コントロールができた, 膀胱癌を合併した進行直腸癌の1症例
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 1 1 月, 福岡

清水智治, 遠藤善裕, 目片英治, 園田寛道, 赤堀浩也, 三宅 亨, 植木智之, 谷 徹
当院における左側閉塞性大腸癌の臨床経過についての検討
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 1 1 月, 福岡

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
当施設における全身化学療法後に肝切除術を施行した大腸癌肝転移症例の検討
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 1 1 月, 福岡

遠藤善裕, 目片英治, 園田寛道, 赤堀浩也, 三宅 亨, 谷 徹
座位 MRI による直腸脱症例の評価
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 1 1 月, 福岡

仲 成幸, 谷 徹, 東口貴之, 谷総一郎, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠
内視鏡外科用マイクロ波手術デバイスの開発
第 21 回日本コンピュータ外科学会大会, 2012 年 1 1 月, 徳島

田川和義, 田中弘美, 来見良誠, 小森 優, 森川茂廣
腹腔鏡下胆嚢摘出術の VR 訓練システムの構築
第 21 回日本コンピュータ外科学会大会, 2012 年 1 1 月, 徳島

清水智治, 小幡 徹, 森 毅, 阿部 元, 吉岡豊一, 田畑貴久, 辻田靖之, 江口 豊, 遠藤善裕, 谷 徹
敗血症患者での血液浄化療法による ESP 法による血中エンドトキシン値の変動
第 33 回日本アフレスシス学会学術大会, 2012 年 1 1 月, 長崎

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 赤堀浩也, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
長時間 PMX 治療での Endotoxin Scattering photometry (ESP) 法による血中エンドトキシン値の評価
第 25 回日本外科感染症学会総会, 2012 年 1 1 月, 千葉

水野 文, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 久保田良浩, 仲成幸, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 梅田朋子, 阿部 元, 谷 徹
Fontan 手術後 20 年目に発症した肝腫瘍の一例
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 1 1 月, 東京

大竹玲子, 久保田良浩, 植木智之, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 阿部 元, 谷 徹
小児巨大卵巣腫瘍の一例
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 1 1 月, 東京

園田寛道, 清水智治, 谷 徹
慢性骨髄性白血病患者に生じた, 筋膜沿いに広範囲に進展した結腸右半切除術後化膿性筋炎の1例
第 25 回日本外科感染症学会総会, 2012 年 1 1 月, 千葉

仲 成幸, 森川茂廣, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 谷 徹
リアルタイム MR 画像誘導下 NOTES システムの有用性
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 1 1 月, 東京

園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 目片英治, 遠藤善裕, 橋本雅之, 北村将司, 寺本晃司, 花岡 淳, 手塚則明, 来見良誠, 谷 徹
大腸癌同時性肝肺転移に対する新たな治療戦略 - VATS + IVMR-MCT による低侵襲同時手術の経験
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 1 1 月, 東京

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 水野 文, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 久保田良浩, 梅田朋子, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
腹腔鏡補助下臍中央切除術の適応と実際
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 1 1 月, 東京

清水智治, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 塩見尚礼, 赤堀浩也,

村上耕一郎, 仲 成幸, 森 毅, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
結腸癌に対する腹腔鏡下結腸切除術の適応と治療経過
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 1 1 月, 東京

山口 剛, 水野 文, 村田 聡, 山本 寛, 伊藤 文, 植木智之, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 園田寛道,
森 毅, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 目片英治, 阿部 元, 谷 徹
当院における sleeve gastrectomy の手術手技および治療成績
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 生田大二, 水野 文, 村上耕一郎, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治,
村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
胆嚢軸捻転症に対して単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

清水智治, 村田 聡, 園田寛道, 目片英治, 山本 寛, 塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 山口 剛, 村上
耕一郎, 谷 徹
直腸癌腹膜播種合併例に対して腹腔鏡下手術に HIPEC を併施した 1 例
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 谷 徹
胃, 直腸重複癌に対して一期的に腹腔鏡下手術を施行した 1 例
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

大竹玲子, 園田寛道, 植木智之, 森 毅, 久保田良浩, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 阿部 元,
谷 徹
残存小腸機能の評価に血漿シトルリン値測定が有用であった短腸症候群の 1 例
第 28 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2013 年 2 月, 石川

大竹玲子, 赤堀浩也, 仲 成幸, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 水野 文, 伊藤 文, 植木智之, 山口 剛, 園
田寛道, 森 毅, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 阿部 元, 谷 徹
横紋筋融解症を呈した感染性肝嚢胞の 1 例
第 49 回日本腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 来見良誠, 谷 徹
十二指腸腫瘍, 十二指腸乳頭部腫瘍にたいする腹腔鏡補助下十二指腸部分切除, 乳頭部切除の経験,
第 99 回日本消化器病学会総会, 2013 年 3 月, 鹿児島

園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 植木智之, 藤野和典, 田畑貴久, 江口 豊,
谷 徹
Oncology emergency の実際 - 当科における大腸癌イレウスに対する治療戦略
第 49 回日本腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

<全国学会 シンポジウム>

仲 成幸, 谷 徹, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠
マイクロ波手術デバイスによる新しい内視鏡外科手術
第 24 回日本肝胆膵外科学会, 学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

園田寛道, 清水智治, 目片英治, 村田 聡, 山本 寛, 三宅 亨, 塩見尚礼, 山口 剛, 仲 成幸,
谷 徹
大腸癌腹膜播種に対する術中温熱化学療法 of 検討
第 37 回日本外科系連合学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

村上耕一郎, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 徳田 彩, 長澤芳信, 赤堀浩也, 村田 聡, 塩見尚礼,
森 毅, 谷 徹
炎症性腸疾患周術期の静脈血栓症予防における定期的 D-ダイマー測定
第 37 回日本外科系連合学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

園田寛道, 清水智治, 目片英治, 村田 聡, 山本 寛, 三宅 亨, 塩見尚礼, 山口 剛, 仲 成幸,
谷 徹
大腸癌腹膜播種に対する術中温熱化学療法 of 検討
第 37 回日本外科系連合学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

村上耕一郎, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 徳田 彩, 長澤芳信, 赤堀浩也, 村田 聡, 塩見尚礼,

森 毅, 谷 徹

炎症性腸疾患周術期の静脈血栓症予防における定期的 D-ダイマー測定
第 37 回日本外科系連合学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 谷 徹, 卯木 智, 前川 聡, 伊波早苗, 柏木厚典, 笠間和典, 中里哲也, 柿原浩明

減量手術の医療経済学的分析
第 30 回日本肥満症治療学会学術集会, 2012 年 6 月, 福岡

内藤弘之, 山本 寛, 村田 聡, 谷 徹

進行再発胃癌に対し抗癌剤感受性試験 (CD-DST) を用いた TXT/S-1, CPT-11/S-1 もしくは S-1 療法の第 II 相試験

第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

村田 聡, 山本 寛, 竹林克士, 内藤弘之, 山口 剛, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 目片英治, 谷 徹

術中腹腔内散布癌細胞の術中治療による進行胃癌治療戦略
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 来見良誠, 谷 徹

腹腔鏡補助下臍中央切除術の手技と適応

第 4 回臍臓内視鏡外科研究会, 2012 年 1 1 月, 東京

谷 徹

医療産業振興化に得る構造的な問題 —特にアカデミアと企業の問題について—
第 50 回日本人工臓器学会大会, 2012 年 1 1 月, 福岡

仲 成幸, 谷 徹, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 来見良誠

マイクロ波をエネルギー源とした手術デバイスの臨床応用

第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

<全国学会 ワークショップ>

仲 成幸, 谷 徹, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, 森川茂廣, Hasnine A Haque

MR 画像誘導下手術システムの開発 —汎用化を目指した取り組み—

第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

山本 寛

当院における減量手術の導入とチーム医療の重要性

第 83 回日本消化器内視鏡学会総会, 2012 年 5 月, 東京

山本 寛, Vo Trung, 山口 剛, 村田 聡, 卯木 智, 森野勝太郎, 前川 聡, 柏木厚典, 谷 徹

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を安全に行うために—合併症例から学んだこと—

第 30 回日本肥満症治療学会学術集会, 2012 年 6 月, 東京

谷 徹, 仲 成幸, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, Hasnine A Haque, 森川茂廣, 来見良誠

MR 画像誘導下手術システムの開発 —さらなる手術成績の向上と低侵襲性を求めて—

第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

梶田侑里, 園田寛道, 谷 徹

結腸右半切除後吻合部再発との鑑別に難渋した結腸—右腸腰筋瘻孔の 1 例

第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

仲 成幸, 村山浩之, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 来見良誠, 森川茂廣, Hasnine A Haque, 谷 徹

MR 画像誘導下治療における Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の有用性

第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

目片英治, 清水智治, 谷 徹

腫瘍先端部における浸潤免疫細胞の意義

第 54 回日本消化器病学会大会, 2012 年 1 0 月, 神戸

山本 寛, 村田 聡, 谷 徹

周術期合併症の新しい予測因子アディポネクチンについて

第 54 回日本消化器病学会大会, 2012 年 1 0 月, 神戸

塩見尚礼, 仲 成幸, 村上耕一郎, 村山浩之, 来見良誠, 谷 徹
体腔鏡手術ロボテック技術が拓く高度先進医療の研究開発
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 徹
現在の日本の肥満外科治療の問題点
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

仲 成幸
MR 画像誘導による内視鏡外科手術
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 1 2 月, 横浜

<全国学会 サージカルフォーラム>
仲 成幸, 谷 徹, 村山浩之, 村上耕一郎, 清水智治, 塩見尚礼, 来見良誠
内視鏡外科用マイクロ波手術デバイスの有用性
第 66 回手術手技研究会, 2012 年 5 月, 博多

<全国学会 パネルディスカッション>
清水智治, 村田 聡, 目片英治, 園田寛道, 山本 寛, 山口 剛, 梅田朋子, 仲 成幸, 塩見尚礼,
赤堀浩也, 村上耕一郎, 阿部 元, 河合由紀, 遠藤善裕, 谷 徹
大腸癌腹膜播種に対する MMC と 5FU 併用による術中温熱化学療法 of 検討
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 1 0 月, 横浜

塩見尚礼, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
当院における大腸癌肝転移治療におけるマイクロ波凝固術の位置づけ
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 1 1 月, 福岡

仲 成幸, 森川茂廣, 東口貴之, 谷総一郎, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, Hasnine A Haque,
来見良誠, 谷 徹
MR 画像誘導下 NOTES の開発
第 21 回日本コンピュータ外科学会大会, 2012 年 1 1 月, 徳島

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 赤堀浩也, 遠藤善裕, 仲 成幸, 田畑貴久, 藤野和典, 江口 豊,
谷 徹
腹部救急疾患でのエンドトキシン吸着療法の評価としての Endotoxin Scattering photometry
(ESP) 法の可能性
第 49 回日本腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

山本 寛, 山口 剛, 谷 徹
本邦における腹腔鏡下胃袖状切除術のメタボリックサージェリーとしての可能性
第 99 回日本消化器病学会総会, 2013 年 3 月, 鹿児島

<全国学会 講演>
清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 山口 剛, 赤堀浩也, 仲 成幸, 田畑貴久, 藤野和典, 江口 豊,
谷 徹
PMX 施行症例での ESP 法による血中エンドトキシン値の変動の検討
第 27 回日本 Shock 学会総会, 2012 年 5 月, 東京

山本 寛
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の手技のポイント 2
第 2 回腹腔鏡下スリーブ状胃切除術セミナー, 2012 年 5 月, 東京

谷 徹
肥満症外科治療におけるガイドライン策定に向けて
第 30 回日本肥満症治療学会学術集会, 2012 年 6 月, 東京

山本 寛, Vo Trung, 山口 剛, 村田 聡, 卯木 智, 前川 聡, 柏木厚典, 谷 徹
肥満症手術の導入, 立ち上げ
第 30 回日本肥満症治療学会学術集会, 2012 年 6 月, 東京

遠藤善裕

多臓器不全

第 33 回日本アフェレシス学会学術大会, 2012 年 1 1 月, 長崎

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 徹

肥満外科手術と消化管ホルモン

第 9 回日本消化管学会総会学術集会, 2013 年 1 月, 東京

<地方会, 研究会 一般発表>

村上耕一郎, 仲 成幸, 水野 文, 伊藤 文, 植木智之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼,

村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 来見良誠, 谷 徹

クローン病に合併し多彩な病理像を示した肝腫瘍の一例

第 191 回近畿外科学会, 2012 年 5 月, 大阪

赤堀浩也, 仲 成幸, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹

体外循環下肝切除の有用性

第 191 回近畿外科学会, 2012 年 5 月, 大阪

生田大二, 塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 石田光明, 徳田 彩, 長澤芳信, 富田 香, 村上耕一郎,

河合由紀, 森 毅, 園田寛道, 張 弘富, 清水智治, 久保田良浩, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子,

目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹

胆嚢神経内分泌腫瘍の 1 例

第 191 回近畿外科学会, 2012 年 5 月, 大阪

小島正継, 村田 聡, 目片英治, 竹林克士, 北村直美, 植木智之, 三宅 亨, 谷 徹

B7-DC 補助刺激を用いた抗腫瘍免疫治療の可能性

第 33 回癌免疫外科研究会, 2012 年 5 月, 横浜

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 水野 文, 大竹玲子, 松本理沙, 伊藤 文, 植木智之, 村上耕一郎

河合由紀, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 久保田良浩, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子,

目片英治, 阿部 元, 遠藤善裕, 来見良誠, 谷 徹

当院における腹腔鏡下臍切除術の現状

第 101 回滋賀県外科医会, 2012 年 6 月, 大津

大竹玲子, 森 毅, 清水智治, 久保田良浩, 阿部 元, 谷 徹

当院における腹壁癒痕ヘルニア手術の現状

第 12 回滋賀ヘルニア研究会, 2012 年 6 月, 大津

仲 成幸, 村山浩之, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 来見良誠, 森川茂廣, Hasnine A Haque,

谷 徹

MR 画像誘導下内視鏡手術システムによる肝癌治療

第 48 回日本肝癌研究会, 2012 年 7 月, 石川

村上耕一郎, 仲 成幸, 村山浩之, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷 徹

クローン病に合併した肝腫瘍の一例

第 48 回日本肝癌研究会, 2012 年 7 月, 石川

園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹

76 歳以上の高齢者に対する Stage2-3 大腸癌治癒切除術後補助化学療法 of 検討

第 77 回大腸癌研究会, 2012 年 7 月, 東京

久保田良浩, 大竹玲子, 植木智之, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 阿部 元, 池田勇八, 野村明孝, 谷

徹

閉塞性黄疸をきたしたウィルムス腫瘍の 3 歳女児例

第 14 回京滋小児外科フォーラム, 2012 年 7 月, 京都

大竹玲子, 久保田良浩, 植木智之, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 阿部 元, 池田勇八, 野村明孝, 谷

徹

閉塞性黄疸をきたした巨大ウィルムス腫瘍の 1 例

第 48 回日本小児外科学会近畿地方会, 2012 年 8 月, 大阪

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 久保田良浩,

村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹

当科における腹腔鏡下臍切除術の現状

第 39 回日本膵切研究会, 2012 年 8 月, 東京

杉谷義彦, 稲富 理, 大崎理英, 伴 宏充, 塩谷 淳, 馬場重樹, 安藤 朗, 藤山佳秀, 仲 成幸,
塩見尚礼, 谷 徹
十二指腸狭窄により急性膵炎を繰り返した膵頭部悪性リンパ腫の一例
第 61 回近畿膵疾患談話会, 2012 年 9 月, 大阪

杉谷義彦, 稲富 理, 今井隆行, 水田寛朗, 米倉信彦, 中井理恵, 神田暁博, 大崎理英, 今枝広丞, 児堀
綾子, 望月洋介, 伴 宏充, 塩谷 淳, 馬場重樹, 佐々木雅也, 齋藤康晴, 安藤 朗, 塩見尚礼, 谷 徹,
藤山佳秀
十二指腸悪性リンパ腫と潰瘍癒痕による閉塞で急性膵炎を繰り返す一例
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

山口 剛, 山本 寛, 村田 聡, 谷 徹
減量外科治療によるメタボリックシンドロームの改善効果
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

山本 寛
減量手術による糖尿病改善効果
琵琶湖 糖代謝と肝疾患研究会, 2012 年 9 月, 大津

梅原 弘, 中原小百合, 越田繁樹, 久保田良浩, 竹内義博
下血・麻痺性イレウスで発症した新生児例. 診断は?
第 68 回小児外科わからん会, 2012 年 9 月, 大阪.

梅田朋子, 富田 香, 大竹玲子, 伊藤 文, 植木智之, 河合由紀, 森 毅, 久保田良浩, 阿部 元,
谷 徹
エホバの証人に対する乳癌手術の検討
第 64 回京滋乳癌研究会, 2012 年 9 月, 京都

山口 剛, 水野 文, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸,
目片英治, 谷 徹
当院における腹腔鏡下袖状胃切除術
第 19 回滋賀内視鏡手術研究会, 2012 年 1 1 月, 草津

村上耕一郎, 塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 水野 文, 大竹玲子, 松本理沙, 伊藤 文, 植木智之,
河合由紀, 園田寛道, 森 毅, 山口 剛, 清水智治, 久保田良浩, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子,
目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 谷 徹
腹腔鏡下膵中央切除術を行ったインスリノーマの 1 例
第 19 回滋賀内視鏡手術研究会, 2012 年 1 1 月, 草津

塩見尚礼, 若林正人, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 水野 文, 大竹玲子, 松本理沙, 伊藤 文,
植木智之, 河合由紀, 園田寛道, 森 毅, 山口 剛, 清水智治, 久保田良浩, 村田 聡, 山本 寛,
梅田朋子, 目片英治, 阿部 元, 来見良誠, 横田 徹, 谷 徹
単孔式胆嚢摘出術を安全に行うための工夫
第 19 回滋賀内視鏡手術研究会, 2012 年 1 1 月, 草津

竹林克士, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷総一郎, 東口貴之, 小島正継, Vo Nguyen Trung,
Hoang Dinh Tuy, Nguyen Quoc Vinh, Do Trong Khanh, 村山浩之, 村上耕一郎, 谷 徹, 来見良誠
リンパ管シーリングにおける Microwave surgical instrument (MWCX) の有用性
第 31 回 Microwave Surgery 研究会, 2012 年 1 1 月, 大阪

塩見尚礼, 仲 成幸, 竹林克士, 赤堀浩也, 村山浩之, 村上耕一郎, 谷 徹, 来見良誠
新規マイクロ波凝固切開装置 (MWCX) の膵臓手術への応用
第 31 回 Microwave Surgery 研究会, 2012 年 1 1 月, 大阪

仲 成幸, 谷総一郎, 東口貴之, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 谷 徹, 来見良誠
ファイバースコープによる微細手術手技のためのマイクロ波デバイスの開発
第 31 回 Microwave Surgery 研究会, 2012 年 1 1 月, 大阪

村上耕一郎, 仲 成幸, 谷総一郎, 東口貴之, 村山浩之, 塩見尚礼, 谷 徹, 来見良誠
腹腔鏡下手術に対するマイクロ波手術器の開発と手術手技への応用

第 31 回 Microwave Surgery 研究会, 2012 年 1 1 月, 大阪

谷 総一郎, 仲 成幸, 東口貴之, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 谷 徹, 来見良誠
バイポーラ型マイクロ波止血鑷子の開発と手術手技への応用
第 31 回 Microwave Surgery 研究会, 2012 年 1 1 月, 大阪

富田 香, 阿部 元, 河合由紀, 森 毅, 久保田良浩, 梅田朋子, 谷 徹
乳房 Paget 病の 5 例
第 10 回日本乳癌学会近畿地方会, 2012 年 1 1 月, 大阪

山本 寛, 山口 剛, 村田 聡, 谷 徹
糖尿病に対してバイパス手術は必須か?
第 6 回内視鏡下肥満外科治療研究会, 2012 年 1 2 月, 横浜

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 赤堀浩也, 遠藤善裕, 仲 成幸, 田畑貴久, 江口 豊, 谷 徹
緊急手術症例における Endotoxin Scattering photometry (ESP) 法によるエンドトキシンの評価,
第 19 回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2012 年 1 2 月, 神戸

赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 村上耕一郎, 来見良誠, 谷 徹
2 型自己免疫性膵炎に対して腹腔鏡下膵体尾部切除術を行った 1 症例
第 4 回膵臓内視鏡外科研究会, 2012 年 1 1 月, 東京

目片英治
大腸癌における腫瘍先進部の微小環境における粘液形質の意義
第 78 回大腸癌研究会, 2013 年 1 月, 東京

糸井尚子, 富田香, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 久保田良浩, 阿部元, 谷徹
再発乳癌に対する Bevacizumab+Paclitaxel 併用療法の使用経験,
第 23 回滋賀化学療法研究会, 2013 年 2 月, 草津

神田暁博, 稲富 理, 今井隆行, 水田寛郎, 米倉伸彦, 杉谷義彦, 大崎理英, 児堀綾子, 伴 宏充,
塩谷 淳, 馬場重樹, 藤山佳秀, 望月洋介, 斎藤康晴, 佐々木雅也, 安藤 朗, 赤堀浩也, 塩見尚礼,
仲 成幸, 谷 徹
腎機能低下を伴う切除不能胆嚢癌に Gemcitabine+Cisplatin 併用療法が著効した 2 症例
滋賀消化器研究会第 70 回学術講演会, 2013 年 3 月, 大津

水田寛郎, 稲富 理, 今井隆行, 米倉伸彦, 杉谷義彦, 神田暁博, 大崎理英, 児堀綾子, 伴 宏充,
塩谷 淳, 馬場重樹, 藤山佳秀, 望月洋介, 斎藤康晴, 佐々木雅也, 安藤 朗, 赤堀浩也, 塩見尚礼,
仲 成幸, 谷 徹
当院における切除不能進行膵癌に対する Gemcitabine+Erlotinib 併用療法の治療経験
滋賀消化器研究会第 70 回学術講演会, 2013 年 3 月, 大津

<地方会・研究会ワークショップ>
仲 成幸, 村山浩之, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 森川茂廣, 来見良誠, 谷 徹
MR 画像誘導下手術システムによる肝癌治療
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

村上耕一郎, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 来見良誠,
谷 徹
大腸癌同時性肝, 肺転移に対する新たな低侵襲同時手術 (VATS+IVMR-MCT) の経験
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

<地方会・研究会専門医セミナー>
山口 剛
上部消化管
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

園田寛道
下部消化管
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

赤堀浩也
肝胆膵

日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

<地方会・研究会シンポジウム>

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 谷 徹
進行胃癌に対する術中腹膜移転予防と治療の現状と展望
日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

谷 徹

IT が拓く医療の将来の展望
2012 年度立命館グローバル, イノベーション研究機構 先端医療研究拠点シンポジウム
2012 年 10 月, 草津

【対外活動】

<一般発表>

梅田朋子: エホバの証人に対する乳癌手術について
第 12 回病診連携フォーラム, 2012 年 6 月, 大津

園田寛道

大腸癌同時性肝転移に対する治療戦略 ー同時切除可能病変に対する術前化学療法の試みー
第 12 回病診連携フォーラム, 2012 年 6 月, 大津

山口 剛

食道癌の治療選択とその成績
第 12 回病診連携フォーラム, 2012 年 6 月, 大津

仲 成幸

最新の肝切除術
膵切除術 1. 腹腔鏡下肝切除術の適応について
第 12 回病診連携フォーラム, 2012 年 6 月, 大津

塩見尚礼

最新の肝切除術
膵切除術 2. 腹腔鏡下膵切除術の適応について
第 12 回病診連携フォーラム, 2012 年 6 月, 大津

村田 聡

病診連携の現況
第 13 回病診連携フォーラム, 2012 年 11 月, 大津

塩見尚礼

膵腫瘍に対する外科治療について ー縮小手術から拡大手術までー
第 13 回病診連携フォーラム, 2012 年 11 月, 大津

園田寛道

当科における腹腔鏡下大腸切除の現況 ー腹腔鏡下 Miles 手術の導入ー
第 13 回病診連携フォーラム, 2012 年 11 月, 大津

山口 剛

消化管 Gastrointestinal stromal tumor (GIST) の診断と治療法
第 13 回病診連携フォーラム, 2012 年 11 月, 大津

富田 香

乳癌の転移について ー乳癌胃転移症例からー
第 13 回病診連携フォーラム, 2012 年 11 月, 大津

Vo Nguyen Trung

TRPV1 may be involved in the regulation of the cardiovascular responses via modulation of renal microcirculation following hemorrhagic shock with resuscitation

第 29 回滋賀医科大学シンポジウム, 2013 年 2 月, 大津

Vo Nguyen Trung: Innervation of the portal vein is required for glucose metabolism but it is not necessary for control of food intake in vistar rats

第 29 回滋賀医科大学シンポジウム, 2013 年 2 月, 大津

Vo Nguyen Trung: Glucagon-like peptide-1, insulin, and glycemic response after glucose-induced stimulation of distinct sites of the gastrointestinal tract in wistar rats stomach, duodenum, jejunum, and ileum

第 29 回滋賀医科大学シンポジウム, 2013 年 2 月, 大津

森 毅, 梅田朋子, 久保田良浩, 河合由紀, 富田 香, 谷 徹, 他

近赤外線蛍光検出法を用いた, 乳癌センチネルリンパ節ナビゲーションサージェリー

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 伊藤 文, 谷 徹, 他

我々が行っている臍頭十二指腸切除術

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

村田 聡

術中転移機序から考える, 消化器癌に対する新たな治療戦略

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

山本 寛

病的肥満症とメタボリックシンドロームに対する外科手術

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

仲 成幸

肝細胞癌に対する最新の治療

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

清水智治, 園田寛道, 水野 文, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹, 他

腹腔鏡下大腸切除の現況と今後の展望—ロボット手術への展開—

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

赤堀浩也, 清水智治, 小幡 徹, 谷 徹, 他

消化器外科手術での Endotoxin activity assay (EAA) の変動に関する検討

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

山本 寛, 宇治祥隆, 土橋洋史, 森 毅, 赤堀浩也, 清水智治, 谷 徹, 他

周術期管理におけるアディポネクチン測定の意義

第 1 回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科, 乳腺・一般外科 学術集会, 2013 年 3 月, 草津

<講演>

山本 寛

減量手術による糖尿病改善効果

第 1 回 琵琶湖・糖代謝と肝疾患研究会, 2012

山本 寛

病的肥満症とメタボリックシンドロームに対する外科手術

第 28 回 新さっぽろ糖尿病臨床医会, 2012

目片英治

基調講演: 大腸がんにおけるアバスタチンの位置づけについて

Chugai Anti-Angiogenesis Forum 2012 in Shiga, 2012 年

阿部 元

基調講演: 乳がんにおけるアバスタチンの位置づけについて

Chugai Anti-Angiogenesis Forum 2012 in Shiga, 2012 5 月, 草津

遠藤善裕

司会, 日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会, 2012 年 9 月, 京都

目片英治

大腸癌に対する集学的治療について

日本消化器病学会近畿支部第 40 回教育講演会, 2012 年 9 月, 京都

村田 聡

転移機序から考える,術中治療による消化器癌治療の新たな展開
第13回病診連携フォーラム,2012年11月,大津

森 毅

乳癌治療について

第162回滋賀県病院薬剤師会湖南西支部会員研修会,2013年1月,守山

<TV放送>

なぜ食べた後に走ると,脇腹が痛くなるのか?

テレビ東京「所さんのそこんトコロ!」,2012年12月19日(水)

谷 徹

「癒着と癒着防止の最新技術」について

CBCラジオ「多田しげおの気分爽快!」,2012年10月3日(水)

目指すは「いつでも,どこでも高度先進医療」!9年間の成果を報告

びわこ放送「滋賀経済NOW」,2013年2月2日(土) / 3日(日)

谷 徹

「しが医工連携ものづくりクラスター 平成23年度研究成果報告会」および「医工連携ニーズ,シーズセッション」

びわ湖放送「滋賀経済NOW」,2012年3月31日(土) / 4月1日(日)

<主催した学会・研究会>

第12回病診連携フォーラム,2012年6月,大津

日本消化器病学会近畿支部第97回例会,2012年9月,京都

第13回病診連携フォーラム,2012年11月,大津

第1回 滋賀医科大学外科学講座 消化器外科,乳腺・一般外科 学術集会

「医局関連施設における,医療レベルの共有とさらなる飛躍」

2013年3月3日,ポストンプラザ草津

<記事>

臓器癒着防止材 初の国産 滋賀医大と川澄化学が開発 術後の合併症予防,16年販売へ
中日新聞,2012年9月11日(朝刊),2012

国産初,癒着防止材を開発 滋賀医大とメーカー 腹腔鏡手術にも応用へ
毎日新聞,2012年9月11日(朝刊),2012

滋賀医大とメーカー,国内初開発 術後の癒着防止シート 耐水性優れ 腹腔鏡手術で活用
京都新聞,2012年9月11日(朝刊),2012

手術の癒着防止材 貼り直しOK 滋賀医大とメーカー 国内初 共同開発に成功
朝日新聞,2012年9月12日(朝刊),2012

臓器の癒着防止シート 滋賀医大など 外科手術向けに
2012年9月15日(朝刊),2012

重度の肥満 手術も選択肢 胃を部分切除 糖尿病など改善効果
日本経済新聞
2012年10月5日(夕刊),2012

滋賀,健康管理の体制充実 「医工連携」が成果
日本経済新聞,2012年11月26日(朝刊),2012

MediGate 医局紹介 滋賀医科大学 外科学講座 消化器 乳腺,一般外科
DOCTOR'S MAGAZINE,148 (February):26,
(株)メディカル,プリンシプル社,東京,2012

谷 徹, 村田 聡

特集 最先端「がん治療」数字が実証！抗がん剤入り温水で内臓を直接ジャブジャブ洗う
「国立大学」が臨床着手に限定！ 無認可でも画期的な
13 (4月5日号) :29-31, 週刊新潮, 株式会社 新潮社, 東京, 2012

<その他>

細野民主党幹事長らが滋賀医大を訪問
文教速報, 2013年3月11日(月曜日) 第7840号, 12, 官庁通信社, 2013

特別企画 : (優秀賞受賞)

谷 徹, 仲 成幸, 塩見尚礼, 来見良誠, 村山浩之, 森川茂廣
マイクロ波手術支援デバイス開発
第21回日本コンピュータ外科学会大会, 2012年11月, 徳島

<成果報告>

塩見尚礼
体腔鏡手術ロボティック技術が拓く高度先端医療の研究開発
「しが医工連携ものづくりクラスター」地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)
平成24年度研究計画発表会, 2012年6月, 大津

谷 徹

滋賀医科大学における重点区分と特色について, がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「次代を担うがん研究者, 医療人育成プラン」
—平成24年度 医療フォーラム—, 2012年12月, 東京

谷 徹

体腔鏡手術ロボティック技術が拓く高度先端医療の研究開発
「しが医工連携ものづくりクラスター」地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)
事業成果報告会 「いつでも, どこでも高度先端医療」を実現する診断/治療技術の開発,
2013年1月, 大津

東 尚弘, 目片英治, 大谷幹伸, 東出俊一, 片野田耕太

がん対策における管理評価指標群を策定するための既存データの可能性に関する研究
平成24年度厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会, 2013年2月, 東京

心臟血管外科

【論文】

<學術論文>

Hosoba S, Suzuki T, Takashima N, Kinoshita T, Kuryanagi S, Nota H, Asai T:
Successful management of refractory lethal coronary spasm after off pump coronary bypass
grafting.

Ann Thorac Cardiovasc Surg 2012; 20:18(4):359-62

Intraoperative fluorescence imaging after transit-time flow measurement during coronary
artery bypass grafting.

Kuroyanagi S, Asai T, Suzuki T. Innovations (Phila). 2012 Nov-Dec;7(6):435-40

Kinoshita T, Asai T, Suzuki T, Kambara A, Matsubayashi K.

Preoperative hemoglobin A1c predicts atrial fibrillation after off-pump coronary bypass
surgery.

Eur J Cardiothorac Surg 2012;41(1):102-7

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki, Satoshi Kuroyanagi, Soh Hosoba, and Noriyuki
Takashima.

Off-pump bilateral skeletonized internal thoracic artery grafting in elderly patients
Ann Thorac Surg. 2012;93(2):531-6

Hosoba S, Hanaoka J, Suzuki T, Takashima N, Kambara A, Matsubayashi K, Asai T:

Early to Midterm Results of Cardiac Surgery with Concomitant Pulmonary Resection.

Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2012;18(1):8-11

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki, Keiji Matsubayashi, Minoru Horie

Time Course and Prognostic Implications of QT Interval in Patients with Coronary Artery
Disease Undergoing Coronary Bypass Surgery. J Cardiovasc Electrophysiol. 2012

23(6):645-9

Noriyuki Takashima, Tomoaki Suzuki, Soh Hosoba, Takeshi Kinoshita, Hiromitsu Nota, Keiji
Matsubayashi, Tohru Asai:Successful surgical management of coronary perforation requiring
pulmonary artery separation. Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2012 60(9):581-3

Takashima N, Suzuki T, Asai T, Hosoba S.

Successful surgical repair of platypnea-orthodeoxia syndrome in a patient with cerebral infarction.

Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2012 15(1):178-80

Tohru Asai, Soh Hosoba, Tomoaki Suzuki, Takeshi Kinoshita

Postinfarction Ventricular Septal Defect : Right Ventricular Approach - The Extended "Sandwich" Patch Semin Thoracic Surg 24:59-62 2012年7月別刷着

Doan Van Phung, Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki

Histological and Morphometric Properties of Skeletonized Gastroepiploic Artery and Risk Factors for Intimal Hyperplasia Innovations 2012;7(3):191-4

Intraoperative fluorescence imaging after transit-time flow measurement during coronary artery bypass grafting.

Kuroyanagi S, Asai T, Suzuki T.

Innovations (Phila). 2012 Nov-Dec;7(6):435-40.

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai

Preservation of Myocardium During Coronary Artery Bypass Surgery

Curr Cardiol Rp 2012; 14:418-23

Tomoaki Suzuki, Tohru Asai, Hiromitsu Nota, Satoshi Kuroyanagi, Takeshi Kinoshita, Noriyuki Takashima, Masato Hayakawa

Selective cerebral perfusion with mild hypothermic lower body circulatory arrest is safe for aortic arch surgery. European journal of cardio-thoracic surgery: official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery

2013 Apr;43(4):e94-8

Soh Hosoba, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki

Atrial Septal Aneurysm

"Aneurysm", book edited by Yasuo Murai, ISBN 978-953-51-0730-9, Published: August 29, 2012 under CC BY 3.0 license

Mid-term results for the use of the extended sandwich patch technique through right ventriculotomy for postinfarction ventricular septal defects

Soh Hosoba, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki, Hiromitsu Nota, Satoshi Kuroyanagi, Takeshi Kinoshita,

Noriyuki Takashima and Masato Hayakawa

European Journal of Cardio-Thoracic Surgery Advance Access published February 19, 2013
43(5)e116-20

Selective cerebral perfusion with mild hypothermic lower body circulatory arrest is safe
for aortic arch surgery

Tomoaki Suzuki*, Tohru Asai, Hiromitsu Nota, Satoshi Kuroyanagi, Takeshi Kinoshita,
Noriyuki Takashima and Masato Hayakawa

European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 43 (2013) e94-e98 Advance Access publication
11 January 2

Total arch replacement with selective antegrade cerebral perfusion and mild hypothermic
circulatory arrest

Tohru Asai, Tomoaki Suzuki, Hiromitsu Nota, Satoshi Kuroyanagi, Takeshi Kinoshita, Noriyuki
Takashima, Masato Hayakawa, Shiho Naito

Ann Cardiothorac Surg 2013;2(2):235-238. doi: 10.3978/j.issn.2225-319X.2013.03.08

Jcs Joint Working Group (Tohru Asai)

Guidelines for Elective Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Stable Coronary
Artery Disease (JCS 2011) Published in 2012 Circ J. 2013;77(6): 1590-1607

Jcs Joint Working Group. (Tohru Asai)

Guidelines for the Clinical Application of Bypass Grafts and the Surgical Techniques (JCS
2011) Published in 2012. Circ J. 2013;77(6):1608-41.

Suzuki T, Asai T, Nota H, Kuroyanagi S, Kinoshita T, Takashima N, Hayakawa M

Early and Long-Term Patency of In Situ Skeletonized Gastroepiploic Artery After Off-Pump
Coronary Artery Bypass Graft Surgery

Ann Thorac Surg. 2013 ; 96 ; 90-5

Suzuki T, Asai T

Reply to Luehr and Etz

Eur J Cardiothorac Surg (2013)

浅井 徹, 心臓外科医の私がリハビリテーションに期待すること-What I expect from cardiac
rehabilitation experts-

日本心臓リハビリテーション学会誌 心臓リハビリテーション 第17巻第1号, 2012年2月

平岩康之, 林 秀樹, 洪川武志, 木下妙子, 岩本朋美, 前川昭次, 阪上芳男, 今井晋二, 中江一郎,
松本鉄也, 松林景二, 浅井 徹, 堀江 稔
心大血管術後の愁訴が有酸素運動の開始に与える影響
日本心臓リハビリテーション学会誌 心臓リハビリテーション 第 17 巻第 1 号論文,
2012 年 2 月

Histological and Morphometric Properties of Skeletonized Gastroepiploic Artery (和訳中) (会議録)

木下 武, 浅井 徹, 鈴木 友彰 日本心臓血管外科学会雑誌 (0285-1474) 41 巻 Suppl.
Page456 (2012. 03)

高島範之, 鈴木友彰, 細羽創宇, 木下 武, 乃田浩光, 神原篤志, 永吉靖弘, 浅井 徹
重症虚血性心疾患と Leriche 症候群に対する OPCAB と上行大動脈—両側大腿動脈バイパスの同時
手術例
日本心臓血管外科学会雑誌 第 41 巻第 3 号, 2012 年 5 月

上山克史, 永吉靖弘, 畔柳智司, 津田祐子, 上山武史
腓腹部激痛、膝関節屈曲不全で発症した小伏在静脈瘤症例
日本血管外科学会雑誌 2012;21(5):695-7, 2012 年 8 月 25 日発行

冠動脈外科の現況と展望 動脈グラフトを主体とした心拍動下冠動脈バイパスの実力(会議録)
浅井 徹, 鈴木 友彰, 乃田 浩光, 畔柳 智司, 木下 武, 高島 範之, 細羽 創宇, 早川 真人, 内
藤 志歩
日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843) 73 巻増刊 Page354 (2012. 10)

浅井 徹, 専門医から推薦の多かった心臓外科医, 週刊文春, 2012 年 11 月 29 日号

早川真人, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
冠動脈バイパス術での標的冠動脈同定における高周波超音波装置の有用性
日本冠疾患学会雑誌 vol. 18 No. 3 2012 194-197

鈴木友彰, 浅井 徹
冠動脈病変を有する腹部大動脈瘤の治療
日本冠疾患学会雑誌 vol. 19 No. 1 2013 73-77

2 型糖尿病合併症としての冠動脈
疾患治療 : 心臓血管外科医の立場から
浅井 徹, 動脈硬化予防 2013 Vol. 12 No. 1 75~83

2型糖尿病患者の心血管イベントの予防をめざして～現状と近未来～」

ゲスト 浅井 徹, 動脈硬化予防 2013 Vol.12 No.1 90～108

冠動脈病変を合併した腹部大動脈瘤血栓閉塞症に対する1治療例

乃田浩光, 頓田 央, 薦岡成年, 降矢温一, 東上震一

日本血管外科学会雑誌 2013, 22, 675-678

大動脈四尖弁による閉鎖不全症に僧帽弁閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症を合併した1症例

早川真人, 木下 武, 内藤志歩, 高島範之, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

日本心臓血管外科学会誌 42 (3) 2013 190-192

脳梗塞で発症した papillary fibroelastoma の1例(英語)(会議録)

内藤 志歩, 早川 真人, 高島 範之, 木下 武, 畔柳 智司, 乃田 浩光, 鈴木 友彰, 浅井 徹

滋賀医学(0288-9765)35巻 Page155(2013.03)

ペースメーカー植込み後心内膜炎を発症した2例(会議録)

富田 行則, 浅田 紘平, 坂本 愛, 中澤 優子, 小澤 友哉, 宮本 証, 杉本 喜久, 伊藤 誠, 堀江 稔,

細羽 創宇, 鈴木 友彰, 浅井 徹 滋賀医学(0288-9765)35巻 Page153(2013.03)

梅毒による大動脈弁閉鎖不全症と左冠動入口部狭窄の1手術例(会議録)

早川 真人, 細羽 創宇, 高島 範之, 藤野 晋, 木下 武, 畔柳 智司, 乃田 浩光, 鈴木 友彰, 浅井 徹

滋賀医学(0288-9765)35巻 Page153(2013.03)

活動期感染性心内膜炎に対する治療戦略(会議録)

細羽 創宇, 早川 真人, 高島 範之, 藤野 晋, 木下 武, 畔柳 智司, 乃田 浩光, 鈴木 友彰, 浅井 徹

滋賀医学(0288-9765)35巻 Page152-153(2013.03)

ベトナムチョーライ病院における心臓外科手術の経験(会議録)

細羽 創宇, 浅井 徹

滋賀医学(0288-9765)35巻 Page117(2013.03)

【学会発表】

<国際学会>

Plenary Session III (Safety and Efficacy of Central Cannulation through Ascending Aorta for Type A Aortic Dissection)

Tohru Asai, The 60st ESCVS Dubrovnik 2012, April 26, 2012, Dubrovnik

One Stage Procedure for Kommerell Diverticulum and Aberrant Subclavian Artery Repair
Soh Hosoba, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki.

Aortic Symposium 2012 Presentation Sections, AATS (American Association for Thoracic Surgery), April 26 2012, New York

Tohru Asai

The long-term outcome of arterial grafts in off-pump era.

The 12th International Symposium on Surgical Therapy for Coronary Artery Disease, May 25, 2012, Nanjing

Tohru Asai

OPCAB and BITA Grafting in Japan.

Cardiac Masters Day program "Off-Pump Coronary Surgery", ISMICS 2012, May 30, 2012, Los Angeles

Masato Hayakawa, Tohru Asai, Takeshi Kinoshita, Tomoaki Suzuki.

Target Vessel Detection by Epicardial Ultrasound in Off-Pump Coronary Bypass Surgery
Poster Competition Presentations, ISMICS 2012, May 31 2012, Los Angeles

M Hayakawa, T Asai, T Kinoshita, T Suzuki

Acute type A aortic dissection in octogenarians.

Acute Cardiac Care 2012, October 21 2012, Istanbul

Tohru Asai

The Role and the Potential of VeriQc in Technically-demanding OPCAB.

The 26th EACTS, October 29 2012, Barcelona

T Kinoshita, T Asai, T Suzuki

Preoperative Syntax Score and Graft Patency After Off-Pump Coronary Bypass Surgery.

The 26th EACTS, October 29 2012, Barcelona

Tohru Asai

Aortic assessment and graft confirmation are crucially important in current CABG practice.
Korean Society Meeting of Thoracic & Cardiovascular Surgery, November 2 2012, 釜山

Takeshi Kinoshita

Preoperative Syntax Score and Graft Patency After Off-Pump Coronary Bypass Surgery.
AHA Scientific Sessions 2012, November 5 2012, Los Angeles

Tohru Asai

Optimal strategy for arch aneurysm.
Bundang Aortic Surgery Symposium, November 24 2012, Seoul

Tohru Asai

CABG with Infaected VSD.
2nd Heart Care Heart International symposium, February 16, 2013, Chiang Mai

Tohru Asai

Is Resction Outdated in Degenerative MR.
2nd Heart Care Heart International symposium, February 17, 2013, Chiang Mai

Tohru Asai

MV Repair in Rupture Papillary Muscle.
2nd Heart Care Heart International symposium, February 17, 2013, Chiang Mai

<全国学会>

司会 浅井 徹、ポスターセッション107 「心臓 虚血性疾患」、第112回日本外科学会定期学術集会、

2012年4月 千葉

指定討論者 浅井 徹

優秀演題 エビデンスに基づく至適冠血行再建～CREDO-Kyotoからの検証～

第42回日本心臓血管外科学会、2012年4月、秋田

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰

Histological and Morphometric Properties of Skeletonized Gastroepiploic Artery

第42回日本心臓血管外科学会、2012年4月、秋田

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 細羽創宇, 藤野 晋, 早川真人
EVAR 導入後の AAA に対する手術戦略の変遷と結果
第 42 回日本心臓血管外科学会, 2012 年 4 月, 秋田

鈴木友彰, 浅井 徹, 乃田浩光, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 細羽創宇, 藤野 晋, 早川真人
遠隔成績改善のための CABG グラフトモデルの検証
第 42 回日本心臓血管外科学会, 2012 年 4 月, 秋田

早川真人, 鈴木友彰, 高島範之, 細羽創宇, 藤野 晋, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 浅井 徹
当院における 80 歳以上高齢者に対する急性 A 型大動脈解離の成績
第 42 回日本心臓血管外科学会, 2012 年 4 月, 秋田

畔柳智司, 早川真人, 細羽創宇, 高島範之, 藤野 晋, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
80 歳以上の超高齢者大動脈弁狭窄症に対する手術適応の検討
第 42 回日本心臓血管外科学会, 2012 年 4 月, 秋田

鈴木友彰, 浅井 徹, 乃田浩光, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 細羽創宇, 早川真人
3 時間台で終了するための弓部全置換手術のポイント
第 42 回日本心臓血管外科学会, 2012 年 4 月, 秋田

座長, 浅井 徹, ハイブリッドポスター33 冠動脈 6, 第 42 回日本心臓血管外科学会,
2012 年 4 月, 秋田

木下 武
冠動脈バイパス術における心外膜エコーの有用性
ランチョンセミナー13 第 42 回日本心臓血管外科学会, 2012 年 4 月, 秋田

コメンテーター, 浅井 徹
手術ビデオライブデモンストレーション「大動脈弁・僧帽弁の連続性が破壊された IE に対する手術」,
2012 年 4 月, 京都

座長・パネリスト, 浅井 徹, ビデオ・ディベート「Barlow's Disease に対する僧帽弁形成術」,
2012 年 4 月, 京都

Discussant, 畔柳智司
大動脈弁位のステントレス生体弁に対する再弁置換の経験
第 15 回近畿心臓血管外科専門医フォーラム, 2012 年 5 月, 大阪

畔柳智司, 早川真人, 藤野 晋, 細羽創宇, 高島範之, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
腎動脈下腹部大動脈瘤の治療による腎障害の検討
第 40 回日本血管外科学会学術総会, 2012 年 5 月, 長野

高島範之, 鈴木友彰, 早川真人, 細羽創宇, 藤野 晋, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 浅井 徹
弓部置換術時の循環停止温度の指標は鼓膜音でいいのか?
第 40 回日本血管外科学会学術総会, 2012 年 5 月, 長野

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 畔柳智司, 木下 武, 細羽創宇, 高島範之, 藤野 晋, 早川真人, 東上
震一
当院での IFU 外に対する EVAR の戦略
第 40 回日本血管外科学会学術総会, 2012 年 5 月, 長野

浅井 徹
心筋梗塞合併症に対する新しい手術戦略
第 15 回北海道心臓外科フォーラム, 2012 年 6 月, 札幌

講師 浅井 徹
内胸動脈グラフトとオフポンプ冠動脈バイパス手術の最近の話題
第 140 回草津栗東医師会循環器研究会, 2012 年 6 月, 草津

高島範之, 内藤志歩, 早川真人, 細羽創宇, 藤野 晋, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井
徹
劇的に ADL が向上した弓部置換術と上行一両側深大腿動脈バイパスの同時手術例
第 55 回関西胸部外科学会学術集会, 2012 年 6 月, 大阪

早川真人, 木下 武, 高島範之, 藤野 晋, 細羽創宇, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
大動脈四尖弁の 1 例
第 55 回関西胸部外科学会学術集会, 2012 年 6 月, 大阪

畔柳智司, 内藤志歩, 早川真人, 藤野 晋, 細羽創宇, 高島範之, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井
徹
TTFM と IFI を用いた術中 graft 評価第 55 回関西胸部外科学会学術集会, 2012 年 6 月, 大阪

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 畔柳智司, 藤野 晋, 細羽創宇, 高島範之, 早川真人, 内藤
志歩
Histology of Right versus Left Internal Thoracic Artery and Risk Factors for Intimal
Hyperplasia. 第 55 回関西胸部外科学会学術集会, 2012 年 6 月, 大阪

座長 浅井 徹、シンポジウム 7: 虚血性「虚血性僧帽弁閉鎖不全」

第 55 回関西胸部外科学会学術集会, 2012 年 6 月, 大阪

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 畔柳智司, 木下 武, 細羽創宇, 高島範之, 藤野 晋, 早川真人
TEVAR 導入後の下行大動脈瘤に対する戦略

第 55 回関西胸部外科学会学術集会, 2012 年 6 月, 大阪

内藤志歩, 早川真人, 高島範之, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
脳梗塞で発症した papillary fibroelastoma の一例

第 72 回滋賀県循環器疾患研究会, 2012 年 6 月, 草津

内藤志歩

重症心臓手術例に対するサムスカの有効性

心不全と Vasopressin を考える会, 2012 年 7 月, 大津

鈴木友彰

超緊急心臓大血管症例の手術室直接搬送

第 57 回日本集中治療医学会近畿地方会, 2012 年 7 月, 大津

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 畔柳智司, 木下 武, 細羽創宇, 高島範之, 藤野 晋, 早川真人
心拍動下冠動脈バイパス術と腹部大動脈瘤手術の同時手術の検討

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

司会・講演 浅井 徹

LMT 病変の治療はどうあるべきか, そして heart team は?

シンポジウム, 第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会, 2012 年 7 月, 新潟

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 畔柳智司, 藤野 晋, 細羽創宇, 高島範之, 早川真人, 内藤志歩

Histology of Right versus Left Internal Thoracic Artery and Risk Factors for Intimal Hyperplasia

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

高島範之, 内藤志歩, 早川真人, 細羽創宇, 藤野 晋, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

両側冠動脈肺動脈瘻術後に Brugada 型心電図を呈し心室細動を発症した 1 例

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

畔柳智司, 内藤志歩, 早川真人, 藤野 晋, 細羽創宇, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
TTFM と IFI を用いた術中 graft 評価

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

浅井 徹, 鈴木友彰, 細羽創宇, 乃田浩光, 畔柳智司, 木下 武, 藤野 晋, 高島範之, 早川真人, 内藤志歩

心筋梗塞後心室中隔穿孔に対する経右室修復術 “Extended Sandwich Patch” の中期成績

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

座長 浅井 徹, ランチョンセミナー5, 第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会,
2012 年 7 月, 市ヶ谷

早川真人, 木下 武, 高島範之, 細羽創宇, 藤野 晋, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
冠動脈バイパス術における高周波超音波装置導入後の手術成績

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

座長 浅井 徹

Symposium2 冠動脈外科手術手技の最前線—後世に伝えたい手術手技

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

内藤志歩, 鈴木友彰, 早川真人, 高島範之, 藤野 晋, 細羽創宇, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 浅井 徹

PCI 中 IVUS 抜去困難となり緊急手術を施行した一例

第 17 回日本冠動脈外科学会学術大会, 2012 年 7 月, 市ヶ谷

浅井 徹

心血管バイパス治療の現況 2012

第 111 回日本シネアンジオ研究会, 2012 年 7 月 21 日, 米沢

座長 浅井 徹

左冠動脈主幹部病変に対する治療のエビデンス 2012

第 3 回 Sendai / New Tokyo Live demonstration, 2012 年 8 月, 浦安

浅井 徹

左冠動脈主幹部病変に対する治療のエビデンス 2012: Evidence (Surgeon Point of View)

第 3 回 Sendai / New Tokyo Live demonstration, 2012 年 8 月, 浦安

浅井 徹

左冠動脈主幹部病変に対する治療をやる条件、資格とは？：心臓外科医師との共生はどうするか？
(外科側より)

第3回 Sendai / New Tokyo Live demonstration, 2012年8月, 浦安

浅井 徹

この症例をどう考える？心臓外科医師と語ろう：この国の Interventionist に求めるもの

第3回 Sendai / New Tokyo Live demonstration, 2012年8月, 浦安

浅井 徹

Summary of 3rd Sendai New Tokyo Live Demonstration : 心臓外科医師としてこれだけは言っておきたい!!

第3回 Sendai / New Tokyo Live demonstration, 2012年8月, 浦安

座長 浅井 徹、ハートチームとは何か？現状と今後の課題, 第60回日本心臓病学会学術集会,
2012年9月, 金沢

東上震一, 松林景二, 頓田 央, 川平敏博, 東 修平, 薦岡成年, 平松範彦, 降矢温一, 乃田浩光

冠動脈外科におけるハートチームの役割 一線病院の心臓チーム医療への取り組み

第60回日本心臓病学会学術集会, 2012年9月, 金沢

畔柳智司, 浅井 徹, 鈴木友彰

80歳以上の超高齢者大動脈弁狭窄症に対する手術適応の検討

第60回日本心臓病学会学術集会, 2012年9月, 金沢

浅井 徹

Mitral valve prolapse (type II lesion) has variavle leaflet redundancy. The concept of butterfly resection is inevitable.

2012 AATS MITRAL CONCLAVE WORKSHOP, 2012年9月, 軽井沢

座長 浅井 徹

Tricuspid Valve Repair / Atrial Fibrillation Surgery

2012 AATS MITRAL CONCLAVE WORKSHOP, 2012年9月, 軽井沢

浅井 徹

弁膜症における治療戦略

Valve Workshop 2012 in Fukushima, 2012年9月, 福島

座長 浅井 徹, 月輪・循環管理セミナー2012 Session2, 2012年10月, 滋賀

早川真人

冠動脈バイパス術における高周波超音波装置の有用性について

第16回近畿心臓血管外科専門医フォーラム, 2012年10月, 大阪

鈴木友彰

「突然襲う大動脈解離」—本学での緊急対応—

滋賀医科大学市民公開講座「災害と救急医療」, 2012年10月, 草津

浅井 徹

最高水準の大動脈弁手術を目指して

第142回草津栗東医師会循環器研究会, 2012年10月, 草津

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 畔柳智司, 高島範之, 内藤志歩

SYNTAX時代の冠動脈バイパス手術

第65回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012年10月, 福岡

鈴木友彰, 浅井 徹, 乃田浩光, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 早川真人

弓部全置換術の温度設定—経度低体温法の成績

第65回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012年10月, 福岡

浅井 徹, 早川真人, 内藤志歩, 細羽創宇, 高島範之, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰,

白石昭一郎, 小池雅人

Barlow Diseaseの複数後尖逸脱病変に対するmultiple Butterfly Resectionの有用性

第65回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012年10月, 福岡

座長 浅井 徹

Educational Video Session 1 (成人心臓 弁・冠動脈疾患)

第65回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012年10月, 福岡

浅井 徹, AVRをもう一度考える, 第65回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012年10月, 福岡

木下 武, 浅井 徹, 早川真人, 内藤志歩, 高島範之, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰
Intraoperative High-Frequency Epicardial Ultrasound in Off-Pump Coronary Bypass Surgery
第 65 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012 年 10 月, 福岡

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 細羽創宇, 早川真人, 内藤志歩
先天性大動脈二尖弁を有する大動脈疾患に対する治療戦略
第 65 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012 年 10 月, 福岡

内藤志歩, 木下 武, 早川真人, 高島範之, 細羽創宇, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
再冠動脈バイパス術における高周波心外膜エコーの役割
第 65 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012 年 10 月, 福岡

浅井 徹, 早川真人, 内藤志歩, 細羽創宇, 高島範之, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰
Type2 病変に対する新たな標準再建術式としての Butterfly Resection -Resect with Respect Strategy-
第 65 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012 年 10 月, 福岡

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 畔柳智司, 高島範之, 早川真人, 内藤志歩
低左室機能の大動脈弁狭窄症に対する生体弁置換術後における左室駆出率と心筋重量係数の経時的変化
第 65 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2012 年 10 月, 福岡

浅井 徹
動脈グラフトを主体とした心拍動下冠動脈バイパスの実力
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 新宿

木下 武
外科医から見た術前管理のポイント
Cardiovascular Meeting 2012 Winter, 2012 年 11 月, 新宿

浅井 徹
心臓血管外科手術の現状 2012 第 102 回滋賀県外科医会, 2012 年 12 月, 大津

コメンテーター 浅井 徹, Challengers' Live Demonstrations 2012 本戦,
2012 年 12 月, 東京

座長 浅井 徹

外科シンポジウム 1 Off-pump CABG の将来を探る - 我が国の OPCAB 施行率向上は可能か？

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

鈴木友彰, 浅井 徹, 乃田浩光, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 早川真人, 内藤志歩

冠動脈バイパス術に対し Off-Pump 手術を第一選択とした方針とその成績

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

内藤志歩, 早川真人, 高島範之, 木下 武, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

OPCAB 術後に冠動脈攣縮をきたした一例

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

講師 浅井 徹

冠動脈外科技術講習会「in-situ 動脈グラフトで OPCAB を完遂する」Premium course - OPCAB を

極める

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

木下 武, 浅井 徹

これからの時代に必要とされる冠動脈バイパス術を如何に修得していくか

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 上羽宏明, 浅井 徹

左下腿切断部壊疽合併した透析患者の低左心機能虚血性心筋症に対して OPCAB を施行し, 心不全改善を成し得た 1 例

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 畔柳智司, 高島範之, 早川真人, 内藤志歩

Stroke 予防における Aortic no-touch technique の重要性

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月, 東京

早川真人, 木下 武, 内藤志歩, 高島範之, 畔柳智司, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

冠動脈慢性完全閉塞症例において高周波超音波装置が有用であった 1 例

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月,

浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 畔柳智司, 木下 武, 高島範之, 早川真人, 内藤志歩

心筋梗塞後心室中隔穿孔に対する経右室修復術 Extended Sandwich Patch 法の中期成績

第 26 回日本冠疾患学会学術集会, 2012 年 1 2 月,

浅井 徹

冠動脈バイパスは無くても良いか？

第 78 回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会，2013 年 2 月，宮崎

浅井 徹

Fast Track Recovery が可能になった私たちの大動脈弓部全置換術の進化

第 32 回日本体外循環技術医学会近畿地方会大会，2013 年 2 月，京都

座長 浅井 徹，心疾患・心不全・心臓手術、第 28 回日本静脈経腸栄養学会学術集会，
2013 年 2 月，金沢

浅井 徹

冠動脈バイパス手術のガイドライン

卒後研修セミナー (Postgraduate Course) 「ガイドラインを考える」，2013 年 2 月，台場

鈴木友彰，浅井 徹，内藤志歩，早川真人，高島範之，木下 武，畔柳智司，乃田浩光
左主管部病変に対する OPCAB

第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会，2013 年 2 月，台場

鈴木友彰，浅井 徹，乃田浩光，畔柳智司，木下 武，高島範之，早川真人、内藤志歩
80 歳以上の高齢者に対する弓部大動脈全置換術の是非

第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会，2013 年 2 月，台場

早川真人，木下 武，内藤志歩，高島範之，畔柳智司，乃田浩光，鈴木友彰，浅井 徹
大動脈弁置換術における人工弁のサイズ選択は術前心臓超音波検査で予測できるか？

第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会，2013 年 2 月，台場

乃田浩光，鈴木友彰，畔柳智司，木下 武，高島範之，早川真人，内藤志歩，浅井 徹
弓部置換術における 4 分枝人工血管である J graft shield neo と Gelweave の使用経験

第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会，2013 年 2 月，台場

内藤志歩，木下 武，早川真人，高島範之，畔柳智司，乃田浩光，鈴木友彰，浅井 徹
再冠動脈バイパス術における高周波心外膜エコーの有用性

第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会，2013 年 2 月，台場

浅井 徹，鈴木友彰，乃田浩光，畔柳智司，木下 武，高島範之，早川真人，内藤志歩
Leaflet Geometry, coaptation area 重視のこだわり僧帽弁形成術

第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会，2013 年 2 月，台場

診療ガイドライン実践のためのハートチームとは

浅井 徹、教育セッション II 冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかにかかすか？

—

第 77 回日本循環器学会学術集会，2013 年 3 月，横浜

呼吸器外科

【論文】

<学術論文>

がん間質線維芽細胞の阻害による全身性抗腫瘍免疫応答の増強

(The cancer-associated fibroblasts-targeted therapy improves systemic anti-tumor immune responses) (英語) (会議録)

大塩 恭彦, 寺本 晃治, 花岡 淳, 手塚 則明

日本癌学会総会記事 (0546-0476) 71 回 Page111 2012 年 8 月

Thymic papillo-tubular adenocarcinoma containing a cyst: report of a case.

Teramoto K, Kawaguchi Y, Hori T, Ishida M, Hashimoto M, Kitamura S, Motoishi M, Hanaoka J, Tezuka N, Okabe H.

Surg Today. 2012 Oct;42(10):988-91.

「EWS およびフィブリン糊の併用により気管支鏡下に治療した癌性胸膜炎合併難治性気胸の 1 例」

滋賀医科大学 呼吸器外科

橋本雅之, 石田恵子, 賀来良輔, 大塩恭彦, 大内政嗣, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳 福永健太郎(呼吸器内科)

気管支学, 2013 ; 35(1) : 81-85

EWS およびフィブリン糊の併用により気管支鏡下に治療した癌性胸膜炎合併難治性気胸の 1 例(原著論文)

橋本 雅之, 石田 恵子, 賀来 良輔, 大塩 恭彦, 大内 政嗣, 北村 将司, 寺本 晃治, 手塚 則明, 花岡 淳, 福永 健太郎

気管支学(0287-2137)35 巻 1 号 Page81-85 2013 年 1 月

悪性胸膜孤立性線維性腫瘍に発症した non-islet cell tumor hypoglycemia の 1 例

片岡 瑛子(京都医療センター/呼吸器外科), 大塩 麻友美, 五十嵐 知之, 元石 充, 澤井 聡, 花岡 淳

肺癌(0386-9628)53 巻 1 号 Page59-63 2013 年 2 月

術後呼吸機能に影響を与える因子についての検討(会議録)

川口 庸(公立甲賀病院 呼吸器外科), 石田 恵子, 賀来 良輔, 橋本 雅之, 大塩 恭彦, 北村 将司, 大内 政嗣, 寺本 晃治, 花岡 淳,

手塚 則明, 朝倉 庄志

日本外科学会雑誌(0301-4894)114 巻臨増 2 Page727 2013 年 3 月

原発性肺癌術後の反復手術症例の検討(会議録)

花岡 淳, 石田 恵子, 賀来 良輔, 大塩 恭彦, 橋本 雅之, 北村 将司, 寺本 晃治, 大内 政嗣, 手塚 則明

日本外科学会雑誌(0301-4894)114 巻臨増 2 Page726 2013 年 3 月

大腸癌同時性肝・肺転移に対する低侵襲同時手術(VATS+IVMR-MCT)の経験(会議録)

村上 耕一郎, 仲 成幸, 塩見 尚礼, 赤堀 浩也, 園田 寛道, 山口 剛, 村田 聡, 清水 智治, 目片 英治, 山本 寛, 来見 良誠, 北村 将司, 花岡 淳, 谷 徹

日本外科系連合学会誌(0385-7883)38 巻 3 号 Page645 2013 年 5 月

気道狭窄に対する Expandable metallic stent(EMS)留置症例の検討(会議録)

石田 恵子, 賀来 良輔, 大塩 恭彦, 橋本 雅之, 大内 政嗣, 北村 将司, 寺本 晃治, 花岡 淳, 手塚 則明

気管支学(0287-2137)35 巻 Suppl. PageS175 2013 年 5 月

喀血で発症した肺癌手術直後の残存肺肺気腫の 1 例

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 上田桂子, 花岡淳

日本呼吸器外科学会 27 巻 6 号 91-97

[学会発表]

<国際学会>

Poster session2-Thymoma

Retrospective study on the efficacy of multidisciplinary therapy for thymic cancers

Masayuki Hashimoto, Jun Hanaoka, Koji Teramoto

15th World Conference on Lung Cancer october27-30, 2013, Sydney, Australia

Poster session2-Supportiv Care

5 cases of long-term survival in posterior spinal fixation surgery against vertebral metastasis of lung cancer

Tomoyuki Igarashi, Kazuki Hayashi, Ryosuke Kaku, Masayuki Hashimoto, Koji Teramoto, Noriaki Tezuka, Jun Hanaoka

15th World Conference on Lung Cancer october27-30, 2013, Sydney, Australia

Poster session3-Surgery

Surgical treatments for NSCLC of female patients under 50 years old

Ryosuke Kaku, Koji Teramoto, Kazuki Hayashi, Tomoyuki Igarashi, Masayuki Hashimoto, Noriaki Tezuka, Jun Hanaoka

15th World Conference on Lung Cancer october27-30, 2013, Sydney, Australia

<全国学会>

「上大静脈形成を要した右上葉肺癌の1例」

橋本雅之, 石田恵子, 上田桂子, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口庸, 大塩恭彦, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳

第29回日本呼吸器外科学会総会 2012年5月 秋田

「胸腺癌手術症例の検討」

橋本雅之, 石田恵子, 上田桂子, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口庸, 大塩恭彦, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳

第29回日本呼吸器外科学会総会 2012年5月 秋田

「術後早期に再発した micropapillary pattern を伴った StageIA 肺腺癌の1例」

橋本雅之, 石田恵子, 賀来良輔, 大塩恭彦, 大内政嗣, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳

第30回日本呼吸器外科学会総会 2013年5月 名古屋

「重複発生した縦隔気管支嚢胞の一切除例」

橋本雅之, 石田恵子, 賀来良輔, 大塩恭彦, 大内政嗣, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳

第30回日本呼吸器外科学会総会 2013年5月 名古屋

胸腺癌に対する集学的治療効果の検討

橋本雅之,

第56回関西胸部外科学会学術集会 2013年6月 広島

胸腔鏡アプローチの縦隔ドレナージで改善した壊死性降下性縦隔道洞炎の一例

五十嵐智之,

第56回関西胸部外科学会学術集会 2013年6月 広島

胃癌術後縫合不全による膿胸・縦隔炎に対しての局所麻酔胸腔鏡下膿胸腔搔爬術の一例

洛和会音羽病院 呼吸器外科¹⁾ 呼吸器内科²⁾

五十嵐知之¹⁾, 榎堀徹¹⁾, 南卓馬²⁾, 土谷美知子²⁾, 長坂行雄²⁾

胸腔鏡-2 一般演題 ポスター 6月21日 14:00~15:00 P2-8-5

第36回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 平成25年6月 大宮

がん間質線維芽細胞の抗腫瘍免疫応答に与える影響について

大塩恭彦, 林 一喜, 賀来良輔, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡淳, 手塚則明, 寺本晃治

第17回日本がん免疫学会総会 2013年7月 宇部

大塩 恭彦, 五十嵐知之, 寺本晃治, 花岡淳, 手塚則明

The in vivo inhibition of cancer-associated fibroblasts enhances the potency of dendritic cell-based vaccine therapy

第72回 日本癌学会学術総会 2013年10月 横浜

寺本晃治, 五十嵐知之, 大塩 恭彦, 藤田琢也, 花岡淳, 高野淳, 醍醐弥太郎

Local inhibition of TGF- β in tumor-draining lymph nodes improves the potency of dendritic cell-based vaccines

第72回 日本癌学会学術総会 2013年10月 横浜

「全身化学療法後、病理学的にCRが確認された進行肺扁平上皮癌の1例」

橋本雅之, 石田恵子, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 大内政嗣, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳

第53回日本肺癌学会総会 2012年11月 岡山

「放射線化学療法後に両側胸水貯留をきたした進行肺腺癌の1例」

橋本雅之, 石田恵子, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 大内政嗣, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳
第53回日本肺癌学会総会 2012年11月 岡山

<地方会・研究会>

「肺癌縦隔リンパ節転移におけるPETの位置づけ」

河島暁, 高槻信夫, 石田恵子, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 橋本雅之, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳
第191回近畿外科学会 2012年5月 大阪

座長 花岡 淳

胸部・横隔膜

第193回近畿外科学会 平成25年6月 京都

「EWSおよびフィブリン糊の併用により気管支鏡下に治療した癌性胸膜炎合併難治性気胸の1例」

高槻信夫, 河島暁, 石田恵子, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 橋本雅之, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳
第91回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会 2012年7月 大阪

「胸腔鏡下に切除したBALTリンパ腫の1切除例」

橋本雅之, 石田恵子, 賀来良輔, 大塩恭彦, 大内政嗣, 北村将司, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡淳
第19回滋賀内視鏡手術研究会 2012年11月 滋賀

人工心肺使用下に上大静脈合併切除および再建術を施行した胸線癌の一例

林一喜, 賀来良輔, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡淳, 大内正嗣, 寺本晃治, 手塚則明
第194回近畿外科学会 2013年11月 大阪

滋賀医科大学 救急集中治療医学講座

【論文】

<和文学術論文>

大槻秀樹, 田畑貴久, 辻田靖之, 浜本徹, 藤野和典, 古川智之, 松村一弘, 森田益次, 江口豊
救急外来受診患者数に関する気象要因の検討
救急医学 2012;36(4):485-490

江口豊, 中永士師明, 來住優輝, 吉岡豊一

敗血症性多臓器不全に対する Plasma Filtration with Dialysis [Plasma Dia-filtration (PDF)]
日本アフェレシス学会雑誌 2012;31(2):144-147

古川智之, 西克治, 江口豊

死因究明のための心嚢穿刺. 臨床雑誌「内科」 2012;109(4):704

田畑貴久, 谷徹

DIC(播種性血管内凝固症候群)

消化器外科 2012;35(5):929-932

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 手塚則明, 花岡淳, 寺本晃治, 北村将司, 橋本雅之

間質性肺炎合併肺癌に対する周術期ステロイドとシベレスタットの使用経験

日本呼吸器外科学会 2012;26(5):490-496

江口豊

「敗血症性 DIC の治療」—AT 製剤と遺伝子組換えトロンボモジュリンの成績から—
Thrombosis Medicine. 2012;2(3):86-87

古屋智規, 土佐慎也, 石井透, 衛藤武, 小松田智也, 八木澤仁, 澤田俊哉, 吉川雅輝, 最上希一郎, 岩崎
渉, 吉楽拓哉, 小棚木圭, 佐藤公彦, 大内慎一郎, 小棚木均, 武藤理, 畠山卓, 山岸剛, 中畑潤一, 鈴木
裕子, 藤田康雄, 江口豊, 五月女隆男, 吉岡豊一, 中永士師明, 谷口久美子

急性膵炎における急性血液浄化法の適応と治療法の実際

消化器外科 2012;35(12):1771-1781

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

古川智之, 西克治, 早藤清行, 山根哲信, 浜本徹, 藤野和典, 辻田靖之, 松村一弘, 江口豊

検査前後で症状が劇的に改善した TIA 症例と MRA200 例, 剖検 55 例の検討

第 108 回日本内科学会講演会ポスターセッション, 2012 年 4 月, 京都

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也

肺癌手術直後の残存肺に肺気腫を生じた 1 例

第 29 回日本呼吸器外科学会総会, 2012 年 5 月, 秋田

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 仲川宏昭

急性膿胸に対する局所麻酔での胸腔鏡下膿胸腔搔爬施行症例の検討

第 35 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2012 年 5 月, 東京

江口豊

術後アンチトロンビン (AT) 低下病態と術後敗血症性 DIC における AT 製剤投与の工夫

第 34 回日本血栓止血学会学術集会, 2012 年 6 月, 東京

江口豊, 中永士師明, 古屋智規, 磯野元秀, 吉村規子, 來住優輝, 吉岡豊一

劇症肝不全に対する Plasma Filtration with Dialysis (Plasma Dia-filtration (PDF))

第 57 回 (社) 日本透析医学会学術集会・総会, 2012 年 6 月, 札幌

江口豊, 辻田靖之, 浜本徹, 山根哲信, 清水淳次, 松浪薫, 谷徹

敗血症 DIC・急性腎障害症例における血液濾過器 A E F 膜と S H G 膜の生体適合性評価—電子顕
微鏡による検討—

第 23 回日本急性血液浄化学会学術集会, 2012 年 10 月, 埼玉

江口豊, 中永士師明, 來住優輝, 吉岡豊一

敗血症性多臓器不全に対する Plasma Filtration with Dialysis(PDF)

第 23 回日本急性血液浄化学会学術集会, 2012 年 10 月, 埼玉

清水智治, 木幡徹, 森毅, 阿部元, 吉岡豊一, 田畑貴久, 辻田靖之, 江口豊, 遠藤善裕, 谷徹

敗血症患者での血液浄化療法による E S P 法による血中エンドトキシン値の変動

第 33 回日本アフエレス学会学術大会, 2012 年 11 月, 長崎

江口豊

重症敗血症における持続緩徐式 Plasma filtration with Dialysis の効果

第 33 回日本アフエレス学会学術大会, 2012 年 11 月, 長崎

丸藤哲, 池田寿昭, 石倉宏恭, 射場敏明, 上山昌史, 江口豊, 大友康裕, 岡本好司, 小倉裕司, 織田成人,

久志本成樹, 小関一英, 齋藤大蔵, 阪本雄一郎, 高山泰広, 丹正勝久, 真弓俊彦, 遠藤重厚

日本救急医学会 DIC 委員会第三次多施設共同前向き試験結果報告 急性期 DIC 診断基準で診断さ

れた DIC に対するアンチトロンビンの効果

第 40 回日本救急医学会, 2012 年 11 月, 京都

江口豊

Controlled/Uncontroiied DIC の病態と治療-理論とエビデンスから-

第 40 回日本救急医学会, 2012 年 11 月, 京都

松村一弘, 藤野和典, 牛場彩, 清水淳次, 大内政嗣, 早藤清行, 山根哲信, 大槻秀樹, 浜本徹, 松浪薫,

田畑貴久, 辻田靖之, 江口豊

心肺停止に対する脳低温療法

日本蘇生学会第 31 回大会, 2012 年 11 月, 大津

田畑貴久, 金澤豊, 中村誠昌, 小野進, 江口豊

日本赤十字社 1 病院での赤十字救護班への教育

日本蘇生学会第 31 回大会, 2012 年 11 月, 大津

辻田靖之, 牛場彩, 大内政嗣, 大槻秀樹, 山根哲信, 藤野和典, 浜本徹, 田畑貴久, 松村一弘, 江口豊

I C U 入室中に発症した静脈血栓塞栓症における凝固マーカーの変動の検討

第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013 年 2 月, 松本

赤羽理也, 柴田英彦, 小寺利美, 井出康介, 森田真也, 辻田靖之, 寺田智祐, 江口豊

低酸素脳症による意識障害患者に対するメタンフェタミン療法施行時の薬剤師の関与

第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013 年 2 月, 松本

江口豊

敗血症ショックにおけるエンドトキシン吸着療法の評価と適応

第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013 年 2 月, 松本

江口豊

敗血症 DIC における AT と TM-AT 製剤や遺伝子組換え TM 投与の工夫と成績-

第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013 年 2 月, 松本

古屋智規, 衛藤武, 石井透, 江口豊, 吉岡豊一, 中永士師明, 澤田俊哉, 吉川雅輝, 最上希一郎, 岩崎涉,

吉楽拓哉, 大内慎一郎, 佐藤公彦, 小棚木圭, 小棚木均

重症急性肺炎における PDF (P l a s m a D i a - f i l t r a t i o n) の検討

第 49 回日本腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

<地方会・研究会 一般発表>

早藤清行, 藤野和典, 加藤文崇, 大槻秀樹, 田畑貴久, 松村一弘, 山根哲信, 浜本徹, 辻田靖之, 江口豊,

松浪薫

当院における腹痛患者の検討

第 105 回近畿救急医学研究会 (日本救急医学会近畿地方会), 2012 年 3 月, 神戸

辻田靖之, 牛場彩, 大内政嗣, 大槻秀樹, 山根哲信, 藤野和典, 浜本徹, 田畑貴久, 松村一弘, 江口豊
敗血症時の頻脈性心房細動に対するランジオロールの効果
第 57 回日本集中治療医学会近畿地方会, 2012 年 7 月, 大津

赤羽理也, 谷本絵里子, 辻田靖之, 寺田智祐, 江口豊
当院 ICU における多職種チーム医療の中の薬剤師の活動状況
第 57 回日本集中治療医学会近畿地方会, 2012 年 7 月, 大津

上村尚, 松村一弘, 牛場彩, 早藤清行, 大内政嗣, 大槻秀樹, 山根哲信, 浜本徹, 藤野和典, 田畑貴久,
辻田靖之, 江口豊
記憶力障害で救急搬送された Trousseau 症候群の 1 例
第 106 回近畿救急医学研究会, 2012 年 7 月, 大阪

江口豊
敗血症性 DIC における AT の有効性-投与法の工夫とその成績-
第 13 回日本 DIC 研究会, 2013 年 2 月, 東京

江口豊
重症敗血症に対する急性血液浄化の理論と実際
第 17 回滋賀急性血液浄化セミナー, 2013 年 2 月, 草津

辻田靖之, 山根哲信, 浜本徹, 牛場彩, 木田直也, 大内政嗣, 松浪薫, 松下美希子, 藤野和典, 山本孝,
田畑貴久, 松村一弘, 江口豊
Post-Cardiac Arrest Syndrome に対する緊急 PCI と低体温療法
-循環器内科と ICU との連携
第 27 回滋賀医科大学呼吸循環器内科定期総会, 2013 年 2 月, 大津

江口豊
敗血症 DIC 治療のトピックス
第 28 回京滋救命救急セミナー, 2013 年 2 月, 京都

早藤清行, 藤野和典, 加藤文崇, 大槻秀樹, 田畑貴久, 松村一弘, 山根哲信, 浜本徹, 辻田靖之, 江口豊,
松浪薫
当院における腹痛患者の検討
第 105 回近畿救急医学医学研究会 (日本救急医学会近畿地方会), 2013 年 3 月, 神戸

中村一郎, 北村美奈, 金井俊平, 長門優, 谷口正展, 中村誠昌, 川口晃, 下松谷匠, 丸橋和弘, 乃田浩光,
浅井徹, 田畑貴久, 江口豊
ヘリコプター搬送を利用し, 2 病院連携で治療を行った胸部大動脈損傷を伴う高齢者多発交通外
傷の 1 例
第 107 回近畿救急医学研究会 (日本救急医学会近畿地方会), 2013 年 3 月, 大津

肥後洋祐, 牛場彩, 木田直也, 大内政嗣, 山根哲信, 松下美希子, 浜本徹, 藤野和典, 田畑貴久, 辻田靖
之, 松村一弘, 江口豊
電撃傷による CPA 蘇生後脳低温療法で救命しえた一例
第 107 回近畿救急医学研究会 (日本救急医学会近畿地方会), 2013 年 3 月, 大津

江口豊, 小菅邦彦
滋賀県版「傷病者の搬送および受入れの実施に関する基準」と病院間連携で救命し得た非閉塞性
腸管虚血症 (NOMI) の一症例
第 107 回近畿救急医学研究会 (日本救急医学会近畿地方会), 2013 年 3 月, 大津

【対外活動】

<講演>

江口豊

VTE 予防と治療についての講演
社内研修会, 2012 年 4 月, 草津

江口豊

第 44 回阪神周産期勉強会, 2012 年 5 月, 西宮

松村一弘

小川課 TRZ ディストリクト戦略会議, 2012 年 6 月, 大津

江口豊

-症例から学ぶ-ERの限界と今後の展望についての講演
職員研修会, 2012 年 11 月, 宇治

<新聞記事>

救急・集中治療部：滋賀医大地震防災訓練

朝日新聞

2012 年 11 月 30 日 朝日新聞(朝刊)

滋賀医科大学 総合外科学講座

【論文】

＜和文学術論文＞

藤野 能久, 本間 恵子, 曾我 真弓, 千原 孝志, 内藤 裕子, 菊地 克久, 堤 泰彦, 尾崎 良智, 佐藤 浩一郎, 井上 貴至, 井上 修平, 野坂 修一, 来見 良誠, 国立病院機構滋賀病院, 麻酔科, 栄養管理室, 整形外科, 歯科口腔外科, 呼吸器外科, 外科, 産婦人科, 滋賀医科大学, 麻酔科, 手術部, 総合外科学講座

麻酔科主導の術前経口補水療法の導入と標準化 国立病院機構滋賀病院での取り組み
滋賀医大誌 26(1), 28-35, 2013

藤野 能久(国立病院機構滋賀病院 麻酔科), 松山 千穂, 佐藤 浩一郎, 大内 政嗣, 井上 修平, 大西 正人, 本間 恵子, 辻川 知之, 来見 良誠

結核性収縮性心膜炎に対して経食道心エコー下で胸腔鏡下心膜切除術を施行した1例
Cardiovascular Anesthesia(1342-9132) 16 巻 2 号 Page53-58, 2013

【学会発表】

＜全国学会 一般発表＞

佐藤浩一郎

腹腔鏡下肝生検が自己免疫性肝炎との鑑別に有用であった AIH-PBC の overlap syndrome の一例
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 12 月, 横浜

佐藤浩一郎

左側胆嚢を伴った下部胆管癌に対する膵頭十二指腸切除術を施行した一例
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 12 月, 新宿

関連病院業績

2012年度

愛知県がんセンター中央病院 消化器外科

【論文】

<英文学術論文>

Shinjo K, Okamoto Y, An B, Yokoyama T, Takeuchi I, Fujii M, Osada H, Usami N, Hasegawa Y, Ito H, Hida T, Fujimoto N, Kishimoto T, Sekido Y, Kondo Y
Integrated analysis of genetic and epigenetic alterations reveals CpG island methylator phenotype associated with distinct clinical characters of lung adenocarcinoma
Carcinogenesis, 33(7): 1277-1285, 2012

<和文学術論文>

中村 一郎, 伊藤 誠二, 三澤 一成, 伊藤 友一, 山村 義孝
臨床病理学的背景および術後成績からみた食道浸潤が3cmを超える食道胃接合部癌に対する手術術式の検討(原著論文)
外科(0016-593X)74巻8号 Page855-861, 2012年8月

中村 一郎, 伊藤 誠二, 三澤 一成, 伊藤 友一, 金光 幸秀
腹腔鏡補助下胃切除術における肝圧排法の検討(原著論文)
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768), 45巻6号 Page583-589, 2012年6月

岡本泰幸, 安 炳九, 近藤 豊
【右側大腸腫瘍の臨床病理学的特徴】遺伝子背景からみた大腸癌の左右差
胃と腸, 47 巻 13 号, 1983-1988, 2012 年 12 月

赤穂市民病院外科

【論文】

<和文学術論文>

高原 秀典, 永吉 直樹, 多代 尚広, 横山 正, 實光 章
上部直腸に発生した腺扁平上皮癌の1例
日本臨床外科学会雑誌;73(5):1180-1184, 2012.5.

多代 尚広, 横山 正, 永吉 直樹, 高原 秀典, 實光 章, 勝谷 誠
Ball valve syndrome にて発症した gastric carcinoma with lymphoid stroma の1例
日本臨床外科学会雑誌;73(6):1392-1396, 2012.6.

高原 秀典, 多代 尚広, 永吉 直樹, 横山 正, 實光 章
魚骨の胃穿孔により腹腔内膿瘍をきたした1例
日本臨床外科学会雑誌;73(7):1668-1673, 2012.7.

高原 秀典, 永吉 直樹, 横山 正, 實光 章
CTおよびFDG-PET検査にて胆嚢癌を疑い開腹手術を行った黄色肉芽腫性胆嚢炎の1例
胆と膵;33(9):783-787, 2012.9.

高原 秀典, 永吉 直樹, 横山 正, 實光 章, 原 重雄
右鼠径ヘルニア嵌頓で発症した大網原発デスマイド腫瘍の1例
日本臨床外科学会雑誌;73(10):2710-2715, 2012.10.

高原 秀典, 杉山 朋大, 田淵 幹康, 永吉 直樹, 安 炳九, 横山 正, 實光 章, 小西 弘樹
腹腔鏡下手術を行った上行結腸に発生した内分泌細胞癌の1例
赤穂市民病院誌;14:13-16, 2013.3.

高原 秀典, 杉山 朋大, 田淵 幹康, 永吉 直樹, 安 炳九, 横山 正, 實光 章
遅発性外傷性腹壁ヘルニアの1例
赤穂市民病院誌;14:17-20,2013.3.

安 炳九, 水黒 知行
ポケットを有する褥瘡に対する戦略 ~Seton 法の応用とラップ療法の導入経験~
赤穂市民病院誌;14:21-24,2013.3.

【学会発表】

<全国学会>

横山 正, 實光 章, 高原 秀典, 永吉 直樹, 多代 尚広, 末次 弘実, 勝谷誠
食道 GIST 術後の再発症例の検討
第 10 回 日本消化器外科学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

高原 秀典, 永吉 直樹, 田淵 幹康, 横山 正, 實光 章
膿瘍を伴った腸間膜デスマイド腫瘍の1例
第 10 回 日本消化器外科学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

高原 秀典, 永吉 直樹, 杉山 朋大, 安 炳九, 田淵 幹康, 横山 正, 實光 章
腹腔鏡下脾臓摘出術を行った sclerosing angiomatoid nodular transformation (SANT)の1例
第 74 回 日本臨床外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

永吉 直樹, 杉山 朋大, 田淵 幹康, 安 炳九, 高原 秀典, 横山 正, 實光 章
胆石イレウスに対して単孔式腹腔鏡補助下イレウス解除術を行なった1例
第 49 回日本腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

<地方会・研究会>

杉山 朋大, 高原 秀典, 安 炳九, 横山 正, 永吉 直樹, 田淵 幹康, 瀬野 匡巳
CVポートカテーテルの pinch-off の経験とその対応
第 38 回赤穂市医師会オープンカンファレンス, 2012 年 7 月, 赤穂

安 炳九

ポケットを有する褥瘡の外科的治療 -Seton 法の応用-
第 40 回赤穂市医師会オープンカンファレンス, 2013 年 2 月, 赤穂

大澤和弘, 青木郁二, 安 炳九, 生田 肇, 今北正道, 植木道裕, 岡崎啓介, 岡村龍一郎, 門田雅生, 金村博成,
栗田博文, 小池哲史, 小島修司, 澤井正光, 柴北宗顕, 徐 昌教, 白野純子, 申 智宏, 勝呂元彦, 高村寿雄,
辰巳恵章, 田淵正人, 近重民雄, 出口浩之, 富田一成, 内藤成敏, 西尾吉正, 西岡清訓, 西村 正, 西脇 学,
橋本可成, 八田昌樹, 服部哲也, 土生秀作, 平川一秀, 福田康文, 藤家 悟, 前川忠康, 牧 淳彦, 卷淵弘治,
増田芳夫, 松下一行, 松本謙二, 光宮義博, 森 匡, 安岡利恵, 安田青兒, 山川 眞, 山田春樹, 米倉康博, 渡
辺一弘, 渡邊典雅, 渡邊博茂
神戸地区(兵庫県下)におけるジオン(ALTA)治療の変遷
第 7 回内痔核治療研究会, 2013 年 3 月, 東京

あさかぜ診療所

【対外活動】

<講演>

江尻 新太郎

訪問診療医と訪問看護ステーションとの連携~医師の立場から、看護師の立場から
訪問看護連絡会, 2012 年 6 月, 八尾

医仁会武田総合病院 呼吸器外科

【論文】

<学術論文>

鈴木 雄治, 寺本 晃治, 野村 幸哉
拡大手術で切除したIVa期胸腺腫の1例
日本臨床外科学会雑誌, 74(3):645~9, 2013年3月

【学会発表】

<全国発表>

鈴木雄治, 堀 哲雄
胸腔鏡下に横隔神経を温存し切除した右横隔神経鞘腫の1例
第29回日本気呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

堀 哲雄, 鈴木雄治

胸腔鏡下肺生検術後に難治性両側気胸を発症した慢性過敏性肺臓炎の一例
第29回日本気呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

鈴木雄治, 堀 哲雄

肺癌術後縦隔転移を契機に発生した胸腺嚢腫の1例
第53回日本肺癌学会総会, 2012年11月, 岡山

鈴木雄治, 堀 哲雄

小細胞肺癌治療後7年目に発症した肺腺癌に対し根治術を施行した1例
第53回日本肺癌学会総会, 2012年11月, 岡山

【対外活動】

<講演>

鈴木雄治,
膿胸の診断と治療
伏見医師会ランチョンセミナー 2012年4月, 京都

鈴木雄治,

術前導入化学療法について
第一回醗酵呼吸器カンファレンス 2012年11月, 京都

近江草津徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

<一般発表>

小池 雅人, 白石 昭一郎, 青嶋 實, 上羽 宏明, 浅井 徹
左下腿切断創感染合併した透析患者の低左心機能虚血性心筋症に対してOPCAB施行し、心不全改善を成し得た1例
第26回日本冠疾患学会学術集会 2012年12月 東京

大津赤十字病院 呼吸器外科

【論文】

<学術論文>

Yutaka Y, Katakura H, Kaneda S, Yamanaka A
Local anesthetic thoracoscopy for intractable pneumothorax in a high-risk patient
Interact Cardiovasc Thoracic Surg, 15(2);330-331, 2012.

山中 晃

講演会ノート「呼吸器感染症における口腔ケアの重要性～降下性壊死性縦隔炎と誤嚥性肺炎～」
大津市医師会誌 35(5); 268-270, 2012.

【学会発表】

<国際学会>

Takahashi K, Yamakawa E, Tuji K, Kaneko Y, Uruguchi Y, Okubo K, Chiyomori T, Murakami E, Kameyama T, Shima K, Hamakawa Y, Kaneda S, Moriyama S. A, Yutaka Y, Katakura H, Yamanaka A, Sakai N

Lidocaine administration to the laryngopharynx for inducing anesthesia before bronchoscopy: A comparative study of Jackson's spray method and ultrasonic nebulization

European Respiratory Society 2012 Annual Congress, Vienna, Austria, 2012.9.4.

<全国学会>

高橋憲一, 山川恵美子, 辻幸記, 金子幸子, 浦口陽子, 大久保香里, 千代森都志江, 村上恵美子, 上田幸子, 亀山多恵子, 嶋一樹, 濱川瑤子, 金田祥平, 野口進, 森山あかり, 豊洋次郎, 片倉浩理, 酒井直樹, 山中晃
気管支鏡検査前咽喉頭麻酔リドカイン投与におけるジャクソン型噴霧法と超音波ネブライザー法の比較検討
第52回日本呼吸器学会学術講演会, 2012年4月 神戸

片倉浩理, 豊 洋次郎, 山中 晃

非小細胞肺癌 pT1a 症例の検討

第29回日本呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

豊 洋次郎, 片倉浩理, 山中 晃

自動縫合器 staple 形成不全の2症例

第29回日本呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

<地方会・研究会>

豊 洋次郎, 片倉 浩理, 山中

肝性胸水はコントロールできるのか?

第101回滋賀県外科医会, 2012年6月 大津

野口進, 濱川瑤子, 嶋一樹, 金田祥平, 深尾あかり, 豊洋次郎, 荏原雄一, 高橋憲一, 片倉浩理, 山中晃, 酒井直樹

肺腺癌に伴う肺肥大性骨関節症の一例

第79回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年6月 京都

森山あかり, 濱川瑤子, 嶋一樹, 金田祥平, 野口進, 豊洋次郎, 高橋憲一, 片倉浩理, 山中晃, 酒井直樹, 西田吉宏, 河南智晴

難治性肝性胸水に対し, 胸腔鏡下横隔膜縫縮術を行った1例

第79回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年6月 京都

立入律也, 森山あかり, 嶋一樹, 濱川瑤子, 金田祥平, 野口進, 荏原雄一, 豊洋次郎, 高橋憲一, 片倉浩理, 山中晃, 酒井直樹

イソシアネートによる過敏性肺臓炎が疑われた1例

第79回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年6月 京都

豊 洋次郎, 片倉 浩理, 山中 晃

導入放射線化学療法後に気管支血管形成を要した左下葉肺癌の一例

第102回滋賀県外科医会, 2012年12月 大津

濱川瑤子, 嶋一樹, 金田祥平, 野口進, 豊洋次郎, 荏原雄一, 高橋憲一, 片倉浩理, 酒井直樹, 山中晃

気胸を発症し手術を必要とした mesalazine による薬剤性肺障害の一例

第 80 回日本呼吸器学会近畿地方会，2012 年12月 神戸

野口進，嶋一樹，濱川瑤子，金田祥平，豊洋次郎，荏原雄一，高橋憲一，片倉浩理，山中晃，酒井直樹
骨シンチにて beautiful bone scan (super bone scan)を呈した肺腺癌の一例
第 80 回日本呼吸器学会近畿地方会，2012 年12月 神戸

金田祥平，濱川瑤子，嶋一樹，野口進，荏原雄一，深尾あかり，豊洋次郎，高橋憲一，片倉浩理，小林久人，
酒井直樹，山中晃
膿瘍腔ドレナージにより改善した縦隔洞炎の1例
第 80 回日本呼吸器学会近畿地方会，2012 年12月 神戸

若月悠佑，濱川瑤子，嶋一樹，金田祥平，野口進，豊洋次郎，荏原雄一，高橋憲一，片倉浩理，酒井直樹，
山中晃
Salvage 手術を施行したⅢ期非小細胞肺癌 2 例の経験
第 97 回日本肺癌学会関西支部会，2013 年2月 大阪

< 対外活動・講演 >

山中晃
「QOL(生活の質)を考慮した肺癌診療の最近の動向」
平成 24 年度赤十字県民大学講演 2012 年11月 大津

山中晃
「患者さんの QOL・DALY に配慮した肺癌その他の治療」
平成 24 年度第2回呼吸器セミナー 2013 年2月 大津

きづきクリニック

【対外活動】

< 講演 >

木築 野百合
日本女性外科医会の第6回勉強会
東京女子医科大学，2013年2月，東京

京都第一赤十字病院

【学会発表】

< 全国学会 一般発表 >

糸井尚子，柏谷晶子，名西健二，谷口史洋，李哲柱
進行再発乳癌に対する新規抗癌剤エリブリンの使用経験
第 20 回日本乳癌学会学術総会，2012 年 6 月，熊本

生田大二
当院における高齢者胃癌手術症例の予後および術後合併症に与える因子の検討
日本消化器外科学会，2012 年 7 月

< 地方会 一般発表 >

生田大二
胆嚢神経内分泌腫瘍の 1 例
第 191 回近畿外科，2012 年 5 月

甲南病院

【論文】

<和文学術論文>

神谷 純広(仁生会甲南病院 外科),田中 久富
術後50ヵ月間無再発である膵癌同時性肝転移の1例
日本臨床外科学会雑誌,1345-2843)73巻5号 Page1238-1242, 2012年5月

<地方会・研究会 一般発表>

神谷純広, 清水智治, 向井智和, 花澤一芳, 蔦本慶裕, 藤野 光廣, 谷 徹, 他
新規抗癒着剤の開発と臨床治験の進捗状況
第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会, 2013年3月, 草津

神戸徳洲会病院 心臓血管外科

【論文】

<学術論文>

野島武久, 本宮康樹
過剰血流内シャントに対するGraft inclusion technique -術式の詳細と従来法との比較-
腎と透析, Vol.72,P152-154, 2012年

【学会発表】

<全国学会>

野島武久, 本宮康樹
バスキュラーアクセス作製ならびに関連合併症への治療戦略
第40回日本血管外科学会学術総会, 2012年5月, 長野

野島武久, 本宮康樹
過剰血流内シャントに対するGraft inclusion technique
第57回日本透析医学会学術集会総会, 2012年6月, 札幌

野島武久, 本宮康樹
アクセス不全に対する外科的修復手術 -Vascular Access Overhaul-
第16回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2012年10月, 愛知

野島武久, 本宮康樹
血栓閉塞内シャントに対する当科での経皮的血栓除去方法の工夫
第18回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会, 2013年3月, 東京

<地方会・研究会>

野島武久
AVG血栓閉塞に随伴した前腕虚血に対して経皮的血管形成術を行った一例
第3回VAIVTカンファレンス姫路, 2012年12月, 姫路

【対外活動】

<講演>

野島武久
VAのいろいろな合併症と治療について,
透析エコーの実践と評価,2012年7月, 愛知

野島武久，
地域医療における当科の役割 -下肢領域のVascular Frontline-
第2回西神戸地域医療懇話会，2012年7月，神戸

野島武久，
ご紹介いただいた症例から，
地域のシャントを考える会，2012年9月，神戸

野島武久，
当科におけるバスキュラーアクセス治療の現況
第36回明石・西神戸透析懇話会，2013年2月，神戸

<主催学会>
兵庫VAIVTカンファレンス，2012年9月，神戸

公立八鹿病院 呼吸器科

【全国学会】

<ワークショップ>

塩田哲広，山口耕介，寺下聡
外来で局所麻酔下胸腔検査を施行した11例の検討，
第35回日本呼吸器内視鏡学会総会，2012年5月.東京

<症例検討会>

寺下聡，山口耕介，塩田哲広
気管鏡検査にて腸上皮化生様の気管支粘膜所見を認めた1例
第52回日本呼吸器学会総会，2012年4月，東京

<一般演題>

寺下聡，山口耕介，塩田哲広
末梢肺野病変の診断におけるBf-NAVIとlungPointの有効性の検討
第52回日本呼吸器学会総会，2012年4月.東京

塩田哲広，山口耕介，寺下聡
当科における局所麻酔下胸腔鏡検査の臨床的検討，
第52回日本呼吸器学会総会.2012年4月.東京

西村善博，石原亨介，大西 尚，塩田哲広，高月清宣，寺田忠之，中野孝司，深堀 隆，関庚火華，山本裕之，
片山 覚
2011年度兵庫県喘息死ゼロ作戦活動報告，
第52回日本呼吸器学会総会，2012年4月，東京

塩田哲広，山口耕介，寺下聡
胸腔鏡下に完全切除が可能であったHodgkin lymphomaの一切除例
第29回日本呼吸器外科学会総会.2012年5月.秋田

寺下聡，山口耕介，塩田哲広
Bf-NAVIとLungPointの比較検討
第35回日本呼吸器内視鏡学会総会，2012年5月，東京

塩田哲広，山口耕介，寺下聡
気管支洗浄液で多数の菌糸を認めた肺放線菌症の一例
第53回日本臨床細胞学会総会，2012年6月，千葉

Satoshi Terashita, Akifumi Nakamura, Tetsuhiro Shiota
A study of 23 patients undergoing local anesthetic thoracoscopy in outpatient department.
17th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology. 2012.12.15. Hongkon

<地方会・一般演題>

山本裕也, 鷺尾輝明, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
気管支喘息治療中に肺放線菌症を併発した無脾症の一例
第79回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年6月, 京都

鷺尾輝明, 山本裕也, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
脈絡膜転移を来した肺腺癌の一例
第79回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年6月, 京都

塩田哲広, 鷺尾輝明, 山本裕也, 中村晃史, 寺下聡
局所麻酔下胸腔鏡検査では確定診断が得られなかった肉腫型悪性胸膜中皮腫の一例
第79回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年6月, 京都

中村晃史, 鷺尾輝明, 山本裕也, 寺下聡, 塩田哲広
上大静脈症候群にて発症した縦
隔原発悪性リンパ腫の2例
第79回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年6月, 京都

塩田哲広, 鷺尾輝明, 山本裕也, 中村晃史, 寺下聡
呼気NO100ppb以上の臨床的検討
第79回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年6月, 京都

寺下聡, 鷺尾輝明, 山本裕也, 中村晃史, 塩田哲広
兵庫県北部但馬地域における抗酸菌感染症の現状
第79回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年6月, 京都

寺下聡, 鷺尾輝明, 山本裕也, 中村晃史, 塩田哲広
局所麻酔下胸腔鏡検査で診断した非結核性抗酸菌性胸膜炎の一例
第79回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年6月, 京都

寺下聡, 鷺尾輝明, 中村晃史, 塩田哲広
局所麻酔下胸腔鏡検査で診断した腹膜漿液性乳頭状腺癌の一例
第96回日本肺癌学会関西支部会. 2012年7月, 大阪

寺下聡, 中村晃史, 高津南美子, 塩田哲広
局所麻酔下胸腔鏡下にフラッシュナイフを用いた胸膜生検で診断確定した desmoplastic malignant mesothelioma の一例.
第91回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会. 2012年7月, 大阪

塩田哲広, 中村晃史, 寺下聡, 北村幸郷, 余根田和弘, 和田和久, 安倍結穂
胸水細胞診陽性であった腹膜漿液性乳頭状腺癌の一例. 2012年11月, 新潟

寺下聡, 杉山陽介, 中村晃史, 塩田哲広
胸部大動脈瘤による気管狭窄に対し, 気管ステント留置が有効であった一例
第92回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会. 2012年12月, 大阪

鷺尾輝明, 中村晃史, 山本裕也, 杉山陽介, 寺下聡, 塩田哲広
胃左胸膜瘻を形成した腹膜偽粘液腫の一例.
第80回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012年12月, 神戸

山本裕也, 鷺尾輝明, 杉山陽介, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
結核性中耳炎の一例
第 80 回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012 年12月, 神戸

杉山陽介, 山本裕也, 鷺尾輝明, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
ゾレア投与により呼気 NO が著明に改善した気管支喘息の一例
第 80 回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012 年12月, 神戸

中村晃史 鷺尾輝明, 山本裕也, 杉山陽介, 寺下聡, 塩田哲広
気管切開チューブのカフ上部吸引用ラインを利用した人工呼吸器装着中患者の発生訓練
第 80 回日本呼吸器学会近畿地方会. 2012 年12月, 神戸

<研究会・一般発表>

鷺尾輝明, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
胃左胸膜瘻を形成した腹膜偽粘液腫の一例
第 113 回兵庫肺癌懇話会. 2012 年10月, 神戸

山本裕也, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
気管ステント留置前後でモストグラフを施行した食道癌術後再発による気管狭窄の 1 例
第 114 回兵庫肺癌懇話会. 2013 年2月, 神戸

中村晃史, 山本裕也, 杉山陽介, 寺下聡, 塩田哲広
EWS による気管支充填術が奏功した難治性気胸の 1 例
第 48 回兵庫呼吸器外科研究会. 2013 年3月, 神戸

山本裕也, 中村晃史, 寺下聡, 塩田哲広
両側横隔神経麻痺による呼吸不全患者が人工呼吸器から離脱するまで(kinematic MRI による生体の代償機能)
第 16 回但馬内科合同カンファレンス 2013 年3月, 豊岡

【対外活動】

<講演>
塩田哲広
そうなんや！肺結核ってそういう病気なんや!!
但馬呼吸器セミナー, 2012 年6月, 豊岡

塩田哲広
みんなで考えよう肺結核,
播磨薬剤師会研修会, 2012 年7月, 加古川

塩田哲広
多くの人が思い込んでいる吸入療法の嘘, 兵庫県喘息死ゼロ作戦
但馬地区吸入指導講習会. 2012 年9月, 豊岡

塩田哲広
もしかしたら, がんって結構人に優しい病気かもしれませんよ?!
リレー・フォー・ライフ in 但馬 2012. 2012 年9月, 豊岡

塩田哲広
進化する肺癌診療
兵庫県薬剤師会但馬支部会講演会. 2012 年10月, 豊岡

塩田哲広

Visualに理解する気管支喘息とCOPD

朝来市医師会学術講演会，2013年2月，兵庫

古賀病院 21

【論文】

<和文学術論文>

奥村憲二，谷総一郎，塩貝陽而，小玉正智，目片英治，谷 徹

心筋梗塞発症後にXELOX療法にて病勢をコントロールできた進行直腸癌の1例
癌と化学療法，40(1)111-113,2013

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

奥村憲二，池添清彦，小林慶太，本間憲一，磯本浩晴，原一生，酒井拓，大曲淳一，高尾貴史，馬場活嘉
下部直腸癌における術前化学放射線療法，及び側方郭清による膀胱機能障害，性機能障害の発現に関する検討
第67回日本消化器外科学会総会，2012年7月，富山

奥村憲二，池添清彦，小林慶太，本間憲一，酒井拓，原一生

診断に苦慮した多房性巨大脾嚢胞を合併した膵尾部癌の一例

第20回日本消化器関連学会週間，2012年10月，神戸

奥村憲二，谷総一郎，塩貝陽而，小玉正智，目片英治，谷 徹

術中心筋梗塞を発症し，姑息的人工肛門造設後，XELOX療法にて長期に病勢コントロールができた，膀胱癌を
合併した進行直腸癌の1症例

第67回日本大腸肛門病学会学術集会，2012年11月，福岡

<地方会 一般発表>

奥村憲二

第1回筑後がん診療シンポジウム～我が国の大腸癌術後補助化学療法を考える～

2013年1月，久留米

【対外活動】

<講演>

奥村憲二，池添清彦，小林慶太，本間憲一，磯本浩晴

Panitumabを併用し，根治的切除を施行した大腸癌同時性肝転移の2例

バクティビックス講演会～切除不能大腸癌フロントライン治療におけるバクティビックスの位置づけ～，

2012年5月，久留米

国立病院機構南京都病院 呼吸器外科

【論文】

<学術論文>

北野晴久，朝倉庄志，一瀬増太郎

Wegener肉芽腫の空洞病変から発生した肺嚢胞が増大し気胸を発症した一例

日本呼吸器外科学会誌，第27巻 第2号，Page196-202,2013年

【学会発表】

<全国学会>

一瀬増太郎，北村将司，花岡淳

肺葉切除術後に発生した難治性肺癰に対し胸郭成形，広背筋筋弁充填術が有効であった1例
第 29 回日本呼吸器外科学会総会,2012 年5月17日，秋田

<研究会>

大塩麻友美，一瀬増太郎
肺非結核性抗酸菌症の2手術例
第 45 回近江呼吸器疾患研究会,2012 年9月1日，京都

一瀬増太郎，大塩麻友美
肺非結核性抗酸菌症の3手術例
レポートミーティング 24,2013 年2月25日，京都

一瀬増太郎，大塩麻友美
肺非結核性抗酸菌症と肺癌が同一病巣内に存在した1切除例
第 46 回近江呼吸器疾患研究会,2013 年3月2日，京都

<地方会>

一瀬増太郎，大塩麻友美，坪井知正，佐藤敦夫，水口正義，小栗晋，角謙介，酒井茂樹，田畑寿子，
山下みお
気管支結核による気道狭窄に対し気管支バルーン拡張術を施行した2例
第 50 回 K-net 近畿地区研究会，2013 年1月26日，大阪

独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター

【論文】

<学術論文>

藤野能久，前田憲吾，小川暢弘，藤田琢也，松山千穂，五月女隆男，尾崎良智，大内政嗣，井上修平
全身型重症筋無力症に対する胸腔鏡下拡大胸腺摘出術に対して硬膜外麻酔併用全身麻酔にレボブピバカインを用
いた1症例
麻酔，61(5) 535-537,2012 年5月

藤田琢也，井上修平，尾崎良智，大内政嗣，手塚則明，花岡 淳
横隔膜部胸膜より発生した石灰化線維性偽腫瘍の一例
日本呼吸器外科学会雑誌，26(4)，453-458,2012 年5月

大内政嗣，井上修平，尾崎良智，藤田琢也，手塚則明，花岡 淳，寺本晃治，北村将司，橋本雅之
間質性肺炎合併肺癌に対する周術期ステロイドとシベレスタットの使用経験
日本呼吸器外科学会雑誌，26(5)，490-497,2012 年7月

Koji Teramoto, Yoshikuni Asada, Yoshitomo Ozaki, Yuji Suzumura, Yasutaka Nakano, Satoru
Sawai, Noriaki Tezuka, Shuhei Inoue, Shozo Fujino
A phase II study of docetaxel plus nedaplatin in patients with metastatic non-small-cell lung
cancer
Cancer Chemother Pharmacol. 70, 531-537, 2012

藤野能久，松山千穂，佐藤浩一郎，大内政嗣，井上修平，大西正人，本間恵子，辻川知之，来見良誠
症例報告：結核性収縮性心膜炎に対して経食道心エコー下で胸腔鏡下心膜切除術を施行した1例
Cardiovascular Anesthesia, 16(2), 53-58, 2012

高橋雅士, 井上修平

本音で語る画像による鑑別診断のコツ第3回 結核 vs. 一般細菌感染症の鑑別
日本胸部臨床, 72(1), 65-71, 2013年1月

【学会発表】

<全国学会>

藤田琢也, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
CTガイド下生検で空気塞栓を生じた孤立性線維性腫瘍の1例
第29回日本呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

尾崎良智, 井上修平, 藤田琢也, 大内政嗣
切除により病勢制御可能となった Mycobacterium abscessus の1例
第29回日本呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也
肺癌手術直後の残存肺に肺気腫を生じた1例
第29回日本呼吸器外科学会総会, 2012年5月, 秋田

藤田琢也, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 仲川宏昭
当院におけるガイドシース併用気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)の導入効果
第35回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2012年5月, 東京

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 仲川宏昭
急性膿胸に対する局所麻酔での胸腔鏡下膿胸腔搔爬術施行症例の検討
第35回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2012年5月, 東京

永井聡子, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也, 上田桂子, 田中 巧, 鈴木晴久, 山本修平, 藤本智大
当院における Bevacizumab の処方状況と有害事象について第二報
第53回日本肺癌学会総会, 2012年11月, 岡山

尾崎良智, 井上修平, 藤田琢也, 上田桂子, 大内政嗣
EGFR-TKI 再々投与が著効した肺腺癌術後再発の1例
第53回日本肺癌学会総会, 2012年11月, 岡山

五月女隆男, 速水良高, 小川暢弘, 前田憲吾, 辻川知之, 井上修平
薬剤抵抗性 IIIb 型重症筋無力症に免疫吸着療法が著効した1例
第33回日本アフェレシス学会学術大会, 長崎

中村忠弘, 山中幸紀, 井上修平, 加藤 博, 原 暢応, 増本照明, 居松建治
小規模外来ホールにおける顔の見える会(三方よし研究会)の開催
第66回国立病院総合医学会, 2012年11月, 神戸

<地方会・研究会>

上田桂子, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也
横隔膜弛緩症の1例
第101回滋賀県外科医会, ピアザ淡海・県民交流センター, 2012年6月, 滋賀

尾崎良智, 井上修平, 藤田琢也, 大内政
肺非結核性抗酸菌症に対する外科治療の検討
第109回日本結核病学会近畿地方会, 第79回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年6月, 京都

尾崎良智, 井上修平, 藤田琢也, 上田桂子
Erlotinibの再投与が著効した癌性髄膜炎の1例
Chugai Lung Cancer Symposium in Shiga, 2012年7月

藤田琢也, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
胸腺腫大と全身リンパ節腫大, 肺病変を伴った一例
第40回Shiga Chest Disease Conference, 2012年7月 滋賀

上田桂子, 井上修平, 尾崎良智, 藤田琢也
当科におけるガイドシース併用気管支腔内超音波断層法(EBUS-GS)の導入結果
第26回滋賀病院臨床談話会, 2012年8月 滋賀

上田桂子, 藤田琢也, 尾崎良智, 井上修平
輸入感染症の1例
第45回近江呼吸器疾患研究会, 2012年9月 京都

上田桂子, 尾崎良智, 藤田琢也, 井上修平
左横隔膜弛緩症の一例
第27回滋賀病院臨床談話会, 2012年11月 滋賀

上田桂子, 尾崎良智, 藤田琢也, 井上修平
緊急手術を行った開放性外傷性気胸の1例
第102回滋賀県外科医会, 2012年12月 滋賀

上田桂子, 尾崎良智, 藤田琢也, 井上修平
輸入真菌症の一例
第7回滋賀病院研究発表会, 2013年2月 滋賀

中村忠弘, 山中幸紀, 井上修平, 加藤博, 原暢応, 増本照明, 居松建治, 古谷崇
外来ホールにおける顔の見える会(三方よし研究会)の開催
第7回滋賀病院研究発表会, 2013年2月 滋賀

大西正人, 田中妥典, 和田広, 上田桂子, 藤田琢也, 尾崎良智, 井上修平, 山本修平
二次性QT延長症候群から心室頻拍, torsade de pointesを来した1例
第27回滋賀医科大学呼吸循環器内科定期総会, 2013年2月 滋賀

尾崎良智, 上田桂子, 藤田琢也, 井上修平, 大西正人, 田中妥典
Erlotinib導入により二次性QT延長症候群をきたした1例
第46回近江呼吸器疾患研究会, 2013年3月 京都

<対外活動>

井上修平
滋賀病院の経過と将来展望
第54回三方よし研究会, 2012年5月 滋賀

井上修平
東近江総合医療センターの整備概要
第26回滋賀病院臨床談話会, 八日市ロイヤルホテル, 2012年8月 滋賀

井上修平
独立行政法人国立病院機構滋賀病院の改革
国際医療福祉大学大学院公開講座 乃木坂スクール「病院再生セミナー2012」,
主会場:国際医療福祉大学東京青山キャンパス, サテライト会場:大田原本校, 小田原・福岡天神キャンパス(遠隔授業システム),
インターネット同時中継, 2012年11月 東京

井上修平
特別発言
Tarseva 5th Anniversary Excellence in SHIGA, 2012年12月 滋賀

<TV放送・記事>

馬場忠雄, 富永芳徳, 井上修平, 片岡慶正
滋賀県における医師確保システムと地域医療の再生について,
ドクターズアテンション近畿版,P1-3、2012年5月1日

井上修平

夏期宿泊研修を受け入れて
NPO法人滋賀医療人育成協力機構広報誌「めでる」, 3, 10-11, 2012年12月1日

尾崎良智

国立病院機構滋賀病院だより～滋賀病院の中核診療科として
勢多だより, 94, 26-27, 2012年12月20日

井上修平

2013年新年挨拶——東近江総合医療センター・ジャンプの年！！次はfor patients with hospitality,
大風(滋賀病院院内報), 95, 2-3, 2013年1月

井上修平

地域医療:国立病院機構滋賀病院①
湖国とりびゅぬ, 20, 2, 2013年1月27日

井上修平

東近江医療トレーニングセンター開設へ？～新しい形のシュミレーションラボ？～
東近江医師会報, 8, 27-28, 2013年1月

井上修平

2013年新年挨拶——いよいよ「ジャンプの年」に！
独立行政法人国立病院機構滋賀病院広報誌「つながり」, 9, 1-2, 2013年1月31日

井上修平

国立滋賀病院と滋賀医大呼吸循環器内科との馴れ初め
堀江 稔教授就任・呼吸循環器内科設立10周年記念誌, 28, 2013年2月

井上修

地域医療:国立病院機構滋賀病院②,
湖国とりびゅぬ, 21, 2, 2013年2月24日

尾崎良智

関連病院だより「国立病院機構滋賀病院」
滋賀医科大学外科学講座同門会誌2011年,13,2013年2月28日

井上修平

国立病院機構滋賀病院だより「独立行政法人国立病院機構滋賀病院の改革」
勢多だより, 95, 12-13, 2013年3月28日

井上修平

ビデオセッション6:呼吸器2
第55回関西胸部外科学会学術集会, 2012年6月

井上修平

総合司会及び特別発言
Chugai Lung Cancer Symposium in Shiga, 2012年7月6日滋賀

井上修平
座長及び当番世話人
第22回滋賀呼吸不全研究会。大津プリンスホテル コンベンションホール淡海。2012年7月7日 滋賀

井上修平
座長, QC活動報告
NHO近畿ブロック平成24年度第2回経営企画会議(合同), 大阪医療センター緊急災害医療棟3階講堂, 2012年7月20日 大阪

井上修平
【セッションA】座長
第102回滋賀県外科医会, ピアザ淡海 県民交流センター。2012年12月8日 滋賀

井上修平
挨拶
平成24年度 難病従事者研修会, 湖東信用金庫本店5階コミュニティーホール,
2012年12月16日 滋賀

<査読>
井上修平
日本気胸・嚢胞性疾患学会雑誌論文査読

井上修平
日本胸部外科学会定期学術集会査読

小松市民病院

【論文】

<和文学術論文>

児玉 泰一(国民健康保険小松市民病院 外科), 太田 裕之, 塚山 正市, 川上 恭平, 藤岡 重一, 川浦 幸光
胸腔内で胃穿孔した成人 Bochdalek 孔ヘルニアの1例
日本臨床外科学会雑誌 74 巻 1 号 Page52-56(2013.01)

太田 裕之, 児玉 泰一, 川上 恭平, 塚山 正市, 藤岡 重一, 川浦 幸光
上腸間膜動脈症候群を伴った成人 Bochdalek 孔ヘルニア
日本消化器外科学会雑誌 2013;46(2):151-157

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

児玉 泰一, 太田 裕之, 塚山 正市, 藤岡 重一, 村上 眞也, 川上 恭平, 西村 修, 川浦幸光
当院で経験した成人 Bochdalek 孔ヘルニアの2例
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

太田 裕之, 児玉 泰一, 川上 恭平, 塚山 正市, 藤岡 重一, 川浦 幸光
開腹既往のない小腸イレウス手術症例の検討
第 67 回消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

太田 裕之, 塚山 正市, 藤岡 重一, 川上 恭平, 児玉 泰一, 望月 慶子, 村上 眞也, 川浦幸光
当科で施行している臍頭十二指腸切除術後の簡便で安全な臍空腸吻合法
第 54 回日本消化器外科学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

太田 裕之, 塚山 正市, 藤岡 重一, 川上 恭平, 児玉 泰一, 望月 慶子, 藤野 晋, 村上 眞也, 川浦 幸光
「手術室チェックリスト」の導入が SSI 発生率に与える影響についての検討
第 25 回外科感染症学会総会, 2012 年 11 月, 千葉

太田 裕之, 塚山 正市, 藤岡 重一, 川上 恭平, 児玉 泰一, 望月 慶子, 藤野 晋, 村上 眞也, 川浦 幸光
一般市中病院における「手術室チェックリスト」の有効性についての検討
第 74 回臨床外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

太田 裕之, 塚山 正市, 藤岡 重一, 望月 慶子, 村上 眞也, 川浦 幸光
十二指腸出血をきたした異所性膵の 1 例
第 49 回腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

望月慶子, 太田裕之, 塚山正市, 藤岡重一, 川上恭平, 川浦幸光
汎発性腹膜炎をきたした子宮留膿腫破裂の一例
第 49 回日本腹部救急医学会総会, 2013 年 3 月, 福岡

< 地方会・研究会 一般発表 >

太田裕之, 望月慶子, 藤野 晋, 川上恭平, 塚山正市, 藤岡重一, 村上眞也, 川浦幸光
当院における「手術室チェックリスト」を用いた合併症低減の取り組み
第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会, 2013 年3月, 草津

静岡県立静岡がんセンター 食道外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Goto H, Tokunaga M, Sugisawa N, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Niihara M, Tsubosa Y, Terashima M
Value of splenectomy in patients with Siewert type II adenocarcinoma of the esophagogastric junction.
Gastric Cancer, 2012 Nov 18

Tokunaga M, Tanizawa Y, Bando E, Kawamura T, Tsubosa Y, Terashima M
Impact of esophageal invasion on clinicopathological characteristics and long-term outcome of adenocarcinoma of the subcardia
J Surg Oncol. 2012 Dec;106(7):856-61

< 和文学術論文 >

永田 仁, 坪佐 恭宏, 新原 正大
水腎症を呈し急速に進行した 4 型食道扁平上皮癌の 1 例(原著論文)
日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)74 巻 7 号 Page1842-1849, 2013 年 7 月

山川 雄士, 佐藤 弘, 草深 公秀, 近藤 晴彦, 坪佐 恭宏
上部消化管超音波内視鏡検査にて術前に診断しえた胸部食道 duplication cyst の 1 例(原著論文/症例報告)
日本消化器外科学会雑誌(0386-9768)45 巻 12 号 Page1153-1160, 2012 年 12 月

佐藤 弘(埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科), 中川 雅裕, 坪佐 恭宏
手術手技 胸部食道癌手術における有茎空腸再建について(解説)
手術(0037-4423)66 巻 8 号 Page1117-1121, 2012 年 7 月

前平 博充, 杉浦 禎一, 長尾 厚樹, 木内 亮太, 岡村 行泰, 水野 隆史, 金本 秀行, 佐々木 恵子, 寺島 雅典, 上坂克彦
著明な門脈腫瘍栓を形成した肝外胆管原発腺扁平上皮癌の 1 例
日本消化器外科学会雑誌 46 巻 2 号 98-105, 2013 年 2 月

【学会発表】

<国際学会 一般発表>

Y. Tsubosa, H. Sato, Y. Aikawa, T. Kaburagi, S. Kamiya, M. Tanaka, H. Sawai
Salvage Esophagectomy after Definitive Chemoradiotherapy for Esophageal Cancer
第13回国際食道疾患学会, イタリア, 2012年10月

Y. Aikawa, Y. Tsubosa, H. Sato, H. Yasui, M. Tanaka, H. Sawai, T. Kaburagi, S. Kamiya
Clinicopathological Features of Esophageal Malignant Tumor in Patients under 50 Years Old
第13回国際食道疾患学会, イタリア, 2012年10月

H. Sawai, M. Tanaka, N. Kakushuma, K. Takizawa, H. Ono, Y. Tsubosa
Distant or Lymph Nodes Recurrence after Endoscopic Submucosal Dissection for Superficial
Esophageal Cancer
第13回国際食道疾患学会, イタリア, 2012年10月

M. Tanaka, H. Sawai, N. Kakushima, K. Takizawa, H. Ono, Y. Tsubosa
Treatment Outcomes Whole Circumferential Endoscopic Submucosal Dissection for
Widespread Superficial Esophageal Cancer
第13回国際食道疾患学会, イタリア, 2012年10月

Y. Tsubosa, S. Mayanagi, M. Niihara, H. Goto, T. Fuke, Y. Iida, T. Kamijo, T. Onitsuka, M.
Nakagawa, Y. Onozawa, H. Yasui, H. Ogawa, T. Nishimura
Free Jejunal Transfer as Salvage Surgery for Cervical Esophageal and Hypopharyngeal
Cancer
22nd World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and
Oncologists, タイ, 2012年12月

<全国学会 一般発表>

宇良 敬(愛知県がんセンター中央病院), 長瀬 通隆, 藤井 博文, 細谷 好則, 坪佐 恭宏, 室 圭, 篠田 雅幸
術前 Docetaxel, Cisplatin, 5-FU 併用療法臨床試験の3年フォローアップ成績(会議録)
第66日本食道学会, 2012年6月, 軽井沢

佐藤 弘, 坪佐 恭宏
切除可能進行胸部食道癌に対する術前化学療法における病理組織学的効果と予後の予測(会議録)
第66日本食道学会, 2012年6月, 軽井沢

澤井 寛明(静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科), 田中 雅樹, 角嶋 直美, 小野 裕之, 坪佐 恭宏
当院における食道表在癌 ESD 後のリンパ節・遠隔再発例についての検討(会議録)
第66日本食道学会, 2012年6月, 軽井沢

神谷 諭, 佐藤 弘, 坪佐 恭宏
当施設における Bulky 転移リンパ節を有する胸部食道癌の特徴と治療経過の検討(会議録)
第66日本食道学会, 2012年6月, 軽井沢

蘆田 良, 坪佐 恭宏, 佐藤 弘, 神谷 諭, 安井 博史, 小川 洋史, 西村 哲夫
胸部食道癌根治切除術後局所リンパ節再発例に対する予後因子の検討(会議録)
第66日本食道学会, 2012年6月, 軽井沢

坪佐 恭宏, 佐藤 弘, 神谷 諭, 冠城 拓示, 蘆田 良, 百合草 健圭志, 大田 洋二郎
食道疾患におけるチーム医療のあり方 静岡がんセンターにおける食道癌患者の歯科医療連携の構築と実績(会議
録)
第66日本食道学会, 2012年6月, 軽井沢

眞柳 修平, 新原 正大, 坪佐 恭宏

胸部食道癌に対する根治的化学放射線療法後サルベージ手術の検討(Salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy for thoracic esophageal cancer)(英語)(会議録)

第 71 回日本癌学会, 2012 年 9 月, 札幌

坪佐 恭宏, 新原 正大, 眞柳 修平, 百合草 健圭志, 大田 洋二郎

食道癌患者の歯科医療連携の構築と実績(Construction and the track record of oral care cooperation for esophageal cancer patients)(英語)(会議録)

第 71 回日本癌学会, 2012 年 9 月, 札幌

佐藤 弘, 坪佐 恭宏, 新原 正大

胸部食道癌における Glasgow Prognostic Score の検討(会議録)

第 50 回日本癌治療学会, 2012 年 10 月, 横浜

眞柳 修平, 新原 正大, 坪佐 恭宏

Salvage surgery に苦慮した根治的化学放射線療法および Photodynamic therapy 後再発食道癌 2 症例(会議録/症例報告)

第 74 回日本臨床外科学会, 2012 年 11 月, 東京

新原 正大, 眞柳 修平, 後藤 裕信, 坪佐 恭宏

甲状腺腫瘍との鑑別を要した Killian-Jamieson 憩室の一例(会議録/症例報告)

第 74 回日本臨床外科学会, 2012 年 11 月, 東京

後藤 裕信, 坪佐 恭宏, 眞柳 修平, 新原 正大, 杉沢 徳彦, 徳永 正則, 谷澤 豊, 坂東 悦郎, 川村 泰一, 寺島 雅典

胃浸潤を伴う食道扁平上皮癌におけるリンパ節郭清効果、再発形式からみた至適リンパ節郭清範囲に関する検討(会議録)

第 74 回日本臨床外科学会, 2012 年 11 月, 東京

佐藤 弘(埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科), 新原 正大, 坪佐 恭宏

胸部食道癌手術における有茎空腸再建の合併症の検討(会議録)

第 74 回日本臨床外科学会, 2012 年 11 月, 東京

坪佐 恭宏, 新原 正大, 眞柳 修平, 後藤 裕信, 佐藤 弘

食道癌根治化学放射線療法後の salvage surgery 食道癌に対する根治的化学放射線療法後のサルベージ手術の術後再発の検討(会議録)

第 74 回日本臨床外科学会, 2012 年 11 月, 東京

<地方会・研究会 一般発表>

坪佐恭宏

静岡がんセンターの食道癌手術成績

第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会, 2013 年3月, 草津

【対外活動】

<講演>

坪佐 恭宏

食道癌に対する集学的治療

日本消化器病学会近畿支部第 97 回例会 第 40 回教育講演, 2012 年 9 月

静岡県立静岡がんセンター 大腸外科

【論文】

<和文学術論文>

三木友一郎, 塚本俊輔, 森谷弘乃介, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介
腹腔鏡下に根治切除を行った肺癌大腸転移の1例
日本内視鏡外科学会雑誌, 2012;17(4):529-534

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 塚本俊輔, 森谷弘乃介
Denovilliers 筋膜と神経血管束の解剖 一癌の根治性と機能温存の両立—
手術, 2012;66(6):883-887

永田仁, 絹笠祐介, 塚本俊輔, 山口智弘, 塩見明生, 金本秀行, 坂東悦郎, 上坂克彦, 寺島雅典
人工肛門粘膜皮膚接合部肉芽形成とストーマ旁ヘルニアの関連
日本消化器外科学会雑誌, 2012;45(10):995-1004

渡部顕, 絹笠祐介, 賀川弘康, 山川雄士, 森谷弘乃介, 塚本俊輔, 山口智弘, 塩見明生
手術ビデオから記録した手術操作時間による腹腔鏡下大腸切除術定型化の評価
日本内視鏡外科学会雑誌, 2013;18(2):205-209

塚本 俊輔, 絹笠 祐介, 賀川 弘康, 山口 智弘, 塩見 明生
直腸癌手術における血管合併切除と出血への対応
手術, 67 巻 3 号 Page315-319(2013.03)

【学会発表】

<国際学会 一般発表>

Shunsuke Tukamoto, Konosuke Moritani, Tomohiro Yamaguchi, Akio Shiomi, Yusuke Kinugas
Outcomes after resection of liver and lung metastases of colorectal cancer
第 25 回 International Society of University Colon and Rectal Surgeons, 2012/6/25 Bologna

<全国学会 一般発表>

山口智弘, 絹笠祐介, 賀川弘康, 森谷弘乃介, 塚本俊輔, 塩見明生, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦, 絹笠祐介,
直腸低位前方切除術におけるエアリークテストの有用性
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 東京

賀川弘康, 絹笠祐介, 山口智弘, 森谷弘乃介, 塚本俊輔, 塩見明生, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
腹腔鏡下大腸切除術の周術期管理 硬膜外麻酔を使用しない周術期管理と抗凝固療法の導入
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

塚本俊輔, 森谷弘乃介, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介, 大出泰久, 水野隆史, 金本秀行, 上坂克彦, 坂東悦郎, 寺島雅典
切除不能大腸癌に対する化学療法奏効後の手術成績の検討
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 塚本俊輔, 森谷弘乃介, 坂東悦郎, 寺島雅典, 金本秀行, 上坂克彦
Clavien-Dindo 分類を用いた直腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性の検討
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

塚本俊輔, 森谷弘乃介, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
超高齢者の大腸癌に対する手術治療選択の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 塚本俊輔, 賀川弘康, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
腹腔鏡下直腸癌手術における側方郭清手技
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

賀川弘康, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 塚本俊輔, 森谷弘乃介, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
大腸ESD穿孔症例の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

森谷弘乃介, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 塚本俊輔, 賀川弘康, 坂東悦郎, 金本秀行, 上坂克彦, 寺島雅典
右側結腸癌に対する単孔式腹腔鏡下手術の手術手技・短期成績の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

伊江雅史, 山口智弘, 絹笠祐介, 賀川弘康, 森谷弘乃介, 塚本俊輔, 塩見明生, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
肛門管癌術後の局所再発に対して陽子線治療単独でcCRとなった1例
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

渡部顕, 塚本俊輔, 森谷弘乃介, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
症状のない切除不能大腸癌の化学療法を先行した症例における治療開始後の手術介入リスク因子の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

森谷弘乃介, 塚本俊輔, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 上坂克彦, 寺島雅典, 坂東悦郎, 金本秀行, 對馬隆浩, 安井博史
ペバシツマブ投与中に発症したフルニエ症候群に対して救命しえた1例
第 10 回日本消化器外科学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 塚本俊輔, 賀川弘康, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
下部直腸・肛門管癌に対する Interapophincteric resection (ISR) の治療成績の検討
第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月, 横浜

山口智弘, 塩見明生, 塚本俊輔, 岡ゆりか, 佐藤力弥, 伊江将史, 前田哲生, 相川佳子, 高柳智保, 松本哲, 賀川弘康, 絹笠祐介, 静岡県立静岡がんセンター 大腸外科
直腸癌術後局所再発に対する手術施行例の治療成績
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012, 11 月, 福岡

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 塚本俊輔, 賀川弘康
下部直腸・肛門管癌に対する Intersphincteric resection (ISR) の knack and pitfall
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

塚本俊輔, 賀川弘康, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介
大腸癌の肝肺二臓器転移に対する切除例の検討
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

松本哲, 塚本俊輔, 賀川弘康, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介
大腸癌手術後の Clostridium difficile 関連腸炎 28 例の検討
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

前平 博充, 塩見 明生, 賀川 弘康, 塚本 俊輔, 山口 智弘, 絹笠 祐介
直腸・肛門管癌に対する直腸切断術の Clavien-Dindo 分類による術後合併症の検討
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

高柳 智保, 賀川 弘康, 塚本 俊輔, 山口 智弘, 塩見 明生, 絹笠 祐介
腹腔鏡下直腸低位前方切除術における縫合不全の予防について
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012, 12 月, 東京

岡 ゆりか, 絹笠 祐介, 塩見 明生, 山口 智弘, 塚本 俊輔, 賀川 弘康, 坂東 悦郎, 寺島 雅典
腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術における腹膜外経路ストーマ造設
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

塩見 明生, 絹笠 祐介, 山口 智弘, 塚本 俊輔, 賀川 弘康, 坂東 悦郎, 寺島 雅典
da Vinci S Surgical System を用いた直腸癌に対する Total Mesorectal Excision (TME) の短期成績の検討
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

賀川 弘康, 絹笠 祐介, 塩見 明生, 山口 智弘, 塚本 俊輔, 坂東 悦郎, 寺島 雅典
進行下部直腸癌に対するロボット手術
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

絹笠 祐介, 塩見 明生, 山口 智弘, 塚本 俊輔, 賀川 弘康, 坂東 悦郎, 寺島 雅典
ロボット手術の現状と将来 直腸癌に対するロボット手術の手技と短期成績
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

山口智弘, 絹笠祐介, 賀川弘康, 塚本俊輔, 塩見明生, 坂東悦郎, 金本秀行, 寺島雅典, 上坂克彦
大腸癌に対するロボット支援手術のトレーニングシステムの現状と今後
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年 12 月, 東京

< 地方会・研究会 一般発表 >

山口智弘, 塩見明生, 塚本俊輔, 岡ゆりか, 佐藤力弥, 伊江将史, 前田哲生, 相川佳子, 高柳智保, 松本哲,
賀川弘康, 絹笠祐介
術前化学放射線療法を行わずに他臓器合併切除を行った局所進行直腸癌の治療成績
第 78 回大腸癌研究会, 2013 年 1 月, 東京

岡ゆりか, 山口智弘, 相川佳子, 高柳智保, 松本哲, 賀川弘康, 塚本俊輔, 塩見明生, 絹笠祐介
直腸切断術後骨盤死腔炎の検討
第 224 回静岡県外科医会集談会, 2013 年 3 月, 三島

山口智弘, 絹笠祐介
直腸癌に対するロボット支援下腹腔鏡手術の導入と現状
第 1 回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会, 2013 年 3 月, 草津

【対外活動】

< 講義 >

山口 智弘

ストーマを造設する疾患と治療 炎症性腸疾患の病態と治療
排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価(認定看護師教育課程), 2012 年 6 月, 静岡

< TV 出演 >

絹笠祐介 山口智弘

特集 女性に多い「大腸がん」手術ロボット がん治療を変える「SBS イブニング eye」SBS 静岡放送 2013 年 2 月 21 日

社会保険滋賀病院 外科

【論文】

<学術論文>

胃原発扁平上皮癌の1例

A Case of Primary Squamous Cell Carcinoma of the Stomach

大江正士郎(社会保険滋賀病院外科)

【論文】

<学術論文>

北野晴久,朝倉庄志,一瀬増太郎

Wegener 肉芽腫の空洞病変から発生した肺嚢胞が増大し気胸を発症した一例

日本呼吸器外科学会誌,第 27 巻 第 2 号,Page196-202,2013 年

【学会発表】

<全国学会>

一瀬増太郎, 北村将司, 花岡淳

肺葉切除術後に発生した難治性肺癰に対し胸郭成形, 広背筋筋弁充填術が有効であった1例

第 29 回日本呼吸器外科学会総会,2012 年5月17日, 秋田

<研究会>

大塩麻友美, 一瀬増太郎

肺非結核性抗酸菌症の2手術例

第 45 回近江呼吸器疾患研究会, 2012 年9月1日, 京都

一瀬増太郎, 大塩麻友美

肺非結核性抗酸菌症の 3 手術例

レポートミーティング 24,2013 年2月25日, 京都

一瀬増太郎,大塩麻友美

肺非結核性抗酸菌症と肺癌が同一病巣内に存在した1切除例

第 46 回近江呼吸器疾患研究会,2013 年3月2日, 京都

<地方会>

一瀬増太郎, 大塩麻友美, 坪井知正, 佐藤敦夫, 水口正義, 小栗晋, 角謙介, 酒井茂樹, 田畑寿子, 山下みお

気管支結核による気道狭窄に対し気管支バルーン拡張術を施行した 2 例

第 50 回 K-net 近畿地区研究会, 2013 年1月26日, 大阪

八木俊和, 安東勝宏

症例報告 胃原発扁平上皮癌の 1 例

日本消化器外科学会雑誌 巻:45 号:4:369-378 (J-STAGE) 2012 年4月

【学会発表】

<全国学会>

大江正士郎(社会保険滋賀病院 外科・WOC), 八木俊和, 安東勝宏, 高橋玲

胃原発扁平上皮癌の予後に関する検討

第 67 回日本消化器外科学会総会 2012 年7月19日 富山

<その他>

八木俊和, 大江正士郎, 安東勝宏, 奥村嘉章, 山本和雄, 早藤清行, 大塚武人, 山下敬司

食道粘膜下腫瘍の 1 例

大津市医師会誌 Vol.36 No.3 2013 p142-144

八木俊和
講演会ノート 当院の外来化学療法室の活動について
大津市医師会誌 Vol. 35, No. 3, 2012 p149-152

新古賀病院

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

宇治祥隆, 徳永美喜, 新上浩司, 山口方規, 高尾貴史
十全大補湯(TJ-48)投与により肝細胞癌門脈塞栓が消失した1例
第74回日本臨床外科学会総会, 2012年11月, 東京

宇治祥隆, 山口方規, 徳永美喜, 新上浩司, 高尾貴史
腹腔鏡下手術の血中プロカルシトニン測定での侵襲評価
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

宇治祥隆, 徳永美喜, 新上浩司, 山口方規, 高尾貴史
当施設における腹腔鏡補助下直腸手術の現状について
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

第一東和会病院 消化器外科

【学会発表】

<全国学会>

水谷 真, 田畑 智丈, 下代 玲奈, 沖田 充司, 千野 佳秀, 舩田 誠二, 佐藤功, 藤村 昌樹, 野田 洋一, 飯田 稔
当院における内視鏡外科緊急手術例の検討
大阪府四医師会, 2012年6月, 大阪

千野 佳秀, 藤村 昌樹, 佐藤 功, 舩田 誠二, 田畑 智丈, 沖田 充司, 水谷真, 下代 玲奈, 飯田 稔
当センターにおける腹腔鏡下総胆管切石術とその工夫
第67回消化器外科学会総会, 2012年7月, 富山

佐藤 功, 藤村昌樹, 千野佳秀, 舩田誠二, 水谷 真, 沖田充司, 田畑智丈, 下代玲奈, 飯田 稔, 熊野公東, 弓場孝郁
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術のコツとトラブルシューティング
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

千野 佳秀, 藤村 昌樹, 佐藤 功, 舩田 誠二, 田畑 智丈, 沖田 充司, 水谷真, 下代 玲奈, 北園 巖, 飯田 稔
救急で行った腹腔鏡下総胆管切石術の有効性と安全性
第26回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

千野 佳秀, 藤村 昌樹, 佐藤 功, 舩田 誠二, 田畑 智丈, 沖田 充司, 水谷真, 北園 巖, 飯田 稔
BJ needleを用いた腹腔鏡下 切除
第8回Needkoscopic Surgery Meeting, 2013年2月, 仙台

Yoshihide Chino, PhD, Masaki Fujimura, PhD, Isao Sato, MD, Seiji Masuda, MD, Makoto Mizutani PhD, Tomotake Tabata, MD, Atsushi Okita, PhD, Reina Shimoshiro, MD, Minoru Iida, PhD
The efficacy and safety of urgent laparoscopic common bile duct exploration (LCBDE) using C-tube for critical abdominal conditions
Endoscopic Surgery Center SAGES: 7-10 March, San Diego CA USA.

千野 佳秀, 藤村 昌樹, 佐藤 功, 舩田 誠二, 田畑 智丈, 沖田 充司, 水谷真, 北園 巖, 飯田 稔
当センターにおける腹腔鏡下総胆管切石術とその工夫
第2回腹腔鏡下胆道手術手技研究会, 2013年3月, 名古屋

【対外活動】

<講演>

千野 佳秀

内視鏡外科技術認定医をめざして

内視鏡下手術手技研究会, 2012年11月, 広島

帝京大学医学部附属溝口病院 外科(呼吸器外科)

【論文】

<和文学術論文>

浅野文裕, 青江 基, 大崎能伸, 岡田克典, 笹田真滋, 佐藤滋樹, 鈴木栄一, 千場 博

藤野昇三, 大森一光

2010年全国アンケート調査からみた呼吸器内視鏡の合併症

気管支学, 34(3), 209-18, 2012年

<英文学術論文>

Teramoto K, Asada Y, Ozaki Y, Suzumura Y, Nakano Y, Sawai S, Tezuka N, Inoue S, Fujino S,

A phase II study of docetaxel plus nedaplatin in patients with metastatic non-small-cell lung cancer. *Cancer Chemother Pharmacol*, 70(4):531-7, 2012

Yamakawa T, Nambu A, Kato S, Fujino S, Watanabe M, Tago M,

Well differentiated fetal adenocarcinoma of the lung in a 38-year-old woman: dynamic computed tomography findings

Jpn J Radiol. 31(2):143-7. 2013

Sudo N, Nambu A, Yamakawa T, Kawamoto M, Fujino S, Watanabe M, Mizuguchi K, Tago M. Pulmonary focal fibrosis associated with microscopic arterio-venous fistula as focal ground-glass opacity on thin-section CT

BMC Pulm Med. 14;13:3. 2013

Asano F, Aoe M, Ohsaki Y, Okada Y, Sasada S, Sato S, Suzuki E, Senba H, Fujino S, Ohmori K. Bronchoscopic practice in Japan: a survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2011

Respirology. 18(2):284-90. 2013

Asano F, Aoe M, Ohsaki Y, Okada Y, Sasada S, Sato S, Suzuki E, Senba H, Fukuoka K, Fujino S, Ohmori K

Complications associated with endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration: a nationwide survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy

Respir Res. 10;14-50. 2013

【学会発表】

<全国学会>

丸野 要, 渋谷 健太郎, 細川 勇一, 牧野 洋知, 虫明 寛行, 勝又 健次, 藤野 昇三, 杉山 保幸, 水口 國雄
乳腺原発非典型カルチノイドの2例
第20回日本乳癌学会, 2012年6月 熊本

細川 勇一, 渡部真人, 藤野昇三, 丸野 要, 勝又 健次, 虫明 寛行, 牧野 洋知, 渋谷 健太郎, 杉山 保幸
mFOLFOX6による抗腫瘍効果と肝機能障害の客観的評価
第67回日本消化器外科学会, 2012年7月 富山

虫明 寛行, 渡部真人, 佐々木基之, 渋谷 健太郎, 細川 勇一, 牧野 洋知, 丸野 要, 勝又 健次, 藤野 昇三, 杉山 保幸
発症後7時間で開腹術を施行したが腸管壊死を生じていた成人原発性小腸軸捻転の1例
第67回日本消化器外科学会, 2012年7月 富山

勝又 健次, 土田 明彦, 渋谷 健太郎, 中島 隆宏, 渡部 真人, 細川 勇一, 牧野 洋和, 虫明 寛行, 杉山 保幸, 藤野 昇三
腹腔鏡下虫垂切除術のすべて 腹腔鏡下虫垂切除術の臨床的意義
第74回日本臨床外科学会総会, 2012年11月 東京

杉山 保幸, 藤野 昇三, 丸野 要, 勝又 健次, 虫明 寛行, 奥村 武弘, 牧野 洋知, 細川 勇一, 渋谷 健太郎
非特異的免疫療賦活剤を併用した大腸癌術後補助化学療法 of 検討
第74回日本臨床外科学会総会, 2012年11月 東京

虫明 寛行, 牧野 洋知, 渋谷 健太郎, 細川 勇一, 奥村 武弘, 丸野 要, 勝又 健次, 藤野 昇三, 杉山 保幸
解剖学的ランドマークに基づいた腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検術の検討
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月 横浜

虫明 寛行, 渋谷 健太郎, 牧野 洋知, 奥村 武弘, 丸野 要, 杉山 保幸, 藤野 昇三
早期回復に向けたチーム医療に連携した看護のあり方 ERASを学ぼう 当科におけるERASプログラムの導入と実践の経験
第26回日本手術看護学会総会, 2012年11月 横浜

<地方会・研究会世話人・セミナー>

渡部真人, 奥村武弘, 藤野 昇三, 渋谷健太郎, 細川勇一, 牧野知洋, 虫明寛行, 勝又健次, 丸野 要, 杉山 保幸, 金 俊行, 小山 ひかり, 小林 猛, 大林 王司, 吉田 稔, 村川 裕二
閉塞性黄疸で発症したサルコイドーシスの1例
第16回神奈川帝京医会学術集会, 2012年

藤野昇三
第5回神奈川呼吸器外科研究会 2012年11月 横浜

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント(日総研)
2012年6月 名古屋

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント(日総研)
2012年7月 東京

藤野昇三
呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント(日総研)
2012年8月 岡山

豊郷病院

【学会発表】

<地方会・研究会 一般発表>

薦本慶裕

両側再発ソケイヘルニアに対して腹腔鏡下手術を行った一例

第13回琵琶湖消化器外科懇話会，草津エストピアホテル

薦本慶裕

胃癌術後孤立性副腎転移の1例

第14回琵琶湖消化器外科懇話会，草津エストピアホテル

薦本慶裕

豊郷病院における外科診療の現状

第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科学術集会，2013年3月，草津

虎ノ門病院

【論文】

<和文学術論文>

竹林克士，木ノ下義宏，小澤毅士，中川正敏，田中 毅，小川雅子，江原一尚，上野正紀，宇田川晴司

多発肝転移を伴った悪性食道顆粒細胞腫の1例

日本消化器外科学会雑誌，45(1):23-29，2012

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

貝田佐知子，上野正紀，篠原 尚，春田周宇介，中川正敏，黒柳洋弥，橋本雅司，渡邊五朗，宇田川晴司

胃粘膜下腫瘍に対し腹腔鏡，内視鏡合同胃局所切除を施行した9例の検討

第67回日本消化器外科学会総会，2012年7月，富山

貝田佐知子，上野正紀，春田周宇介，李世翼，篠原 尚，宇田川晴司

食道癌及び下咽頭癌に対する初回FP療法時のマグネシウム投与による腎障害予防効果の検討

第74回日本臨床外科学会総会，2012年11月，東京

長岡京病院

【論文】

<和文学術論文>

安 炳九，水黒知行，片岡卓三

成人の術後小腸重積症の1例

日本腹部救急医学会雑誌，32巻4号，793-796，2012年9月

安 炳九，水黒知行，橋本京三，遠藤善裕

腹会陰式直腸切断術後に発症した、小腸陥頓によるイレウスの1例

日本腹部救急医学会雑誌，32巻6号，1093-1096，2012年9月

長浜赤十字病院

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

中村一郎, 下松谷巧, 中村誠昌, 岡内 博, 谷口正展, 長門 優, 金井俊平, 北村美奈, 丸橋和弘
85歳以上の胃癌患者における短期治療成績
第67回日本消化器外科学会総会, 2012年7月, 富山

中村一郎, 下松谷匠, 中村誠昌, 谷口正展, 岡内 博
幽門近傍胃粘膜下腫瘍切除における術中上部消化管内視鏡併用と体腔内縫合の有効性
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

<地方会・研究会 一般発表>

北村美奈, 杉山朋大, 金井俊平, 長門 優, 谷口正展, 岡内 博, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 丸橋和弘
胸壁発生の悪性線維性組織球腫(MFH)に対して胸壁合併切除を行った一例
第191回近畿外科学会, 2012年5月, 大阪

中村 一郎(長浜赤十字病院 外科), 下松谷 匠, 中村 誠昌, 谷口 正展, 川口 晃, 長門 優, 北村 美奈, 金井俊平, 丸橋 和弘
ヘリコプター搬送を利用し, 2病院連携で治療を行った胸部大動脈損傷を伴う高齢者多発交通外傷の1例
第107回近畿救急医学研究会(日本救急医学会近畿地方会), 2013年3月, 大津

はえうち診療所

【学会発表】

<地方会・研究会 一般発表>

生内一夫
本院における金沢糸の使用状況
第9回クシャラ・ストラ研究会, 2012年4月, 富山

生内一夫
側方前方痔瘻に対する手術術式の検討
第102回滋賀県外科医会, 2012年12月, 大津

生内一夫
最近の痔核治療の動向
第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会, 2013年3月, 草津

日野記念病院

【学会発表】

<地方会・研究会 一般発表>

糸井尚子, 土橋洋史, 東田宏明, 内藤弘之, 花澤一芳
最近の乳癌治療
第14回琵琶湖消化器外科懇話会, 2012年6月, 草津

糸井尚子
パネルディスカッション 『ランマークをどう使いこなすか』
Bone Metastasis Workshop Round 1, 2013年3月, 大津

内藤弘之，東田宏明，土橋洋史，糸井尚子，花澤一芳
日野記念病院における胃癌治療成績
第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会，2013年3月，草津

【対外活動】

糸井尚子
最新の乳癌薬物療法
第7回 乳がん診療 Meeting in Kyoto，2012年4月，京都

糸井尚子
最近の乳癌治療について
三方よし研究会，2012年12月，日野

糸井尚子
最近の乳癌治療
第149回ドクターサロン，2013年1月，近江八幡

土橋洋史，東田宏明，内藤弘之，花澤一芳，糸井尚子
HyperEye Medical System が有用であった胆嚢癌の1切除例
琵琶湖消化器外科懇話会，2012年12月，草津

びわこ学院大学・しんや医院

【論文】

<和文>
新屋久幸
途中退室への一考察
びわこ学院大学研究紀要題，4号:115頁～117頁，平成25年3月

【対外活動】

<座談会>
新屋久幸，福井次矢他
医療安全と診療の質
日本内科学会雑誌，第101巻，第12号，3491頁～3504頁，平成24年6月，東京，

<講演>
新屋久幸
健康診断の結果を活かす
健康管理講習会，平成24年11月，京都地方裁判所，京都

新屋久幸
今日も元気、明日もはつらつ
青樹会八幡病院研究発表会，平成24年11月，滋賀

新屋久幸
スマートエイジングを考える
日彰健康教室，平成25年3月，京都

ベルランド総合病院

【論文】

<和文学術論文>

川崎 誠康, 豊田 翔, 山本 昌明, 水村 直人, 今川 敦夫, 亀山 雅男
腹壁ヘルニアに対するメッシュ修復術における工夫
日本臨床外科学会雑誌, (1345-2843)73 巻 5 号 Page1054-1058(2012.05)

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

山崎圭一, 亀山雅男, 大場一輝, 石川奈名, 江藤美和子, 藤本和美, 渡邊裕之
弱オピオイド製剤であるトラマドールでのがん疼痛管理での位置づけについて
第 17 回日本緩和医療学会, 2012 年 6 月, 神戸

山崎圭一, 亀山雅男, 大場一輝, 石川奈名, 江藤美和子, 藤本和美, 渡邊裕之
緩和医療における難治性浮腫、腹水治療におけるトルバブタンの可能性についてトルバブタンを使用したS状結腸癌
大動脈周囲リンパ節転移再発による難治性浮腫症例
第 17 回日本緩和医療学会, 2012 年 6 月, 神戸

山崎圭一, 小川雅生, 川崎誠康, 堀井勝彦, 亀山雅男
肺、肝、リンパ節転移再発乳癌に対して 1st line でビノレルピン+トラスツマブ併用療法で CR が得られた 1 症例
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

川崎 誠康, 豊田 翔, 山本 昌明, 水村 直人, 今川 敦夫, 市川 剛, 小川 雅生, 出村 公一, 大場 一輝, 亀山 雅男
大腸癌大動脈周囲リンパ節転移症例に対する治療戦略
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

山崎圭一, 亀山雅男, 堀井勝彦, 川崎誠康, 出村公一, 小川雅生, 大場一輝, 園尾広志, 植木智之, 今川敦夫
消化器外科医が行う緩和ケア 弱オピオイド製剤であるトラマドールでのがん疼痛管理の実際について
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

出村公一, 和田範子, 今川敦夫, 植木智之, 市川 剛, 園尾広志, 大場一輝, 小川雅男, 川崎誠康, 亀山雅男
腹腔鏡下胃切除 D2 郭清における膈上縁郭清の工夫
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年7月, 富山

山崎圭一, 亀山雅男, 尾古賀智美
脊損患者が長期間保有している難治性仙骨部褥瘡に対して OWT 療法ならびにクロマイ-P-軟膏で治癒した 1 症例
第 14 回日本褥瘡学会学術集会, 2012 年 9 月, 金沢

川崎 誠康, 山崎 圭一, 小川 雅生, 大場 一輝, 堀井 勝彦, 亀山 雅男
StageIV 大腸癌術後化学療法の現状
第 50 回 日本癌治療学会総会, 2012 年 10 月, 横浜

川崎 誠康, 豊田 翔, 山本 昌明, 今川 敦夫, 山崎 圭一, 園尾 広志, 出村 公一, 小川 雅生, 亀山 雅男
下腸間膜動脈根部切離後、左半結腸血流不全により 2 度再開腹を要した直腸癌の 1 例
第 67 回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

川崎 誠康, 奥村 哲, 徳田 彩, 豊田 翔, 山本 昌明, 水村 直人, 今川 敦夫, 山崎 圭一, 園尾 広志, 小川 雅生, 出村 公一, 大場 一輝, 堀井 勝彦, 亀山 雅男
当院における開腹術後短腸症候群に対する診療の現状
第 74 回 日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

出村公一, 奥村 哲, 徳田 彩, 豊田 翔, 山本昌明, 水村直人, 今川敦夫, 園尾広志, 山崎圭一, 小川雅生,
大場一輝, 川崎誠康, 堀井勝彦, 亀山雅男
大動脈周囲リンパ節転移を伴う胃癌に対する NAC 後手術の検討
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年11月, 東京

出村公一, 奥村 哲, 徳田 彩, 豊田 翔, 山本昌明, 水村直人, 今川敦夫, 園尾広志, 山崎圭一, 小川雅生,
大場一輝, 川崎誠康, 堀井勝彦, 亀山雅男, 吉村道子
腹腔鏡下残胃全摘を施行した残胃内分泌細胞癌の 1 例
第 25 回日本内視鏡外科学会総会, 2012 年12月, 横浜

川崎 誠康, 奥村 哲, 豊田 翔, 徳田 彩, 水村 直人, 今川 敦夫, 小川 雅生, 亀山 雅男
小腸イレウスの標準的治療指針の検討
第 49 回 日本腹部救急医学会総会 2013 年 3 月, 福岡

<地方会・研究会 一般発表>

川崎 誠康, 今川 敦夫, 豊田 翔, 山本 昌明, 水村 直人, 奥村 哲, 徳田 彩, 園尾 広志, 小川 雅生, 出村
公一, 大場 一輝, 堀井 勝彦, 亀山 雅男
当院における高齢者 StageIV 大腸癌に対する化学療法の実状
第 77 回 大腸癌研究会, 2012 年 7 月, 東京

川崎誠康, 出村公一, 徳田 彩, 阿部 元, 亀川雅男
ベルランド総合病院における高度進行大腸癌に対する取り組み
第1回滋賀医科大学外科学講座 消化器外科・乳腺一般外科 学術交流集会, 2013 年3月, 草津

【対外活動】

<講演>

阿部 元

最新の乳癌薬物療法

第 34 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, ランチョンセミナー3, 2013 年 1 月, 大津

阿部 元

乳がんの治療と看護

滋賀県看護協会平成 24 年度生涯教育研修会, 2013 年 2 月, 草津

みずき皮膚科クリニック

【論文】

<著書>

榎堀みき子

特集/しわ・たるみの非手術的治療 フラクショナルレーザー—新たな展開:(1) Affirm MPX
全日本病院出版社 Monthly Book Derma, 192:39-48.2012

<学術論文>

榎堀みき子, 山本理奈

光のコンビネーション治療による肌の若返り

日本レーザー治療学会誌, Vol.11 No.2:19-22, 2012

【学会発表】

<全国学会・セミナー発表・シンポジウム>

榎堀みき子, 山本理奈

新しいアンチエイジング治療の提案

キュテラ社製 Excel V の使用経験

シミや赤み治療の幅を広げるロングパルス KTP & Nd:YAG レーザー

第 28 回 日本臨床皮膚科医会総会、2012 年4月、福岡

シンポジウム発表

榎堀みき子、山本理奈

光治療による肌の若返りー A Multiple Device Approach to Total Skin Photo-Rejuvenation

第 24 回日本レーザー治療学会、2012 年6月、千葉

【対外活動・新聞寄稿】

榎堀みき子

「紫外線と肌」中日新聞健康コラム お元気ですか 2012 年7月

明和病院

【論文】

<英文学術論文>

Hiroya Iida, Tsukasa Aihara, Shinichi Ikuta, Hidenori Yoshie, Naoki Yamanaka

Comparison of percutaneous transhepatic portal vein embolization and unilateral portal vein ligation

World Journal of Gastroenterology, vol.18(19):p.2371-2376, 2012 年 5 月

Hiroya Iida, Tsukasa Aihara, Shinichi Ikuta, Hidenori Yoshie, Ryo Okamoto, Naohito Beppu, Munefumi Tomomatsu, Akihiro Maeda, Humihiko Kimura, Masahiro Kishimoto, Hidenori Yanagi, Naoki Yamanaka, Ayako Kakuno

Significance of simultaneous laparoscopic cholecystectomy in thermal ablation for hepatocellular carcinoma located adjacent to gallbladder

Journal of Microwave Surgery, vol.30:p219-223, 2012 年 10 月

Hiroya Iida, Tsukasa Aihara, Shinichi Ikuta, Naoki Yamanaka

Effectiveness of impedance monitoring during radiofrequency ablation for predicting popping

World Journal of Gastroenterology, vol.18(41):p.5870-5878, 2012 年 11 月

<和文学術論文>

別府直仁, 安井智明, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹

粘膜内病変で発見した Vater 乳頭部腺内分泌細胞癌の 1 例

日本臨床外科学会雑誌, vol.73(4):p.863-868, 2012 年 10 月

別府直仁, 柳 秀憲, 吉江秀範, 木村文彦, 相原 司, 山中若樹

肝転移を伴う局所進行下部直腸癌に対して術前短期放射線療法を施行した 1 例

手術, vol.66(1):p.111-114, 2012 年 1 月

岸本昌浩, 山中若樹, 覚野綾子, 小池哲史, 高尾信太郎, 竹之下誠一, 渡邊一男

対側頸部リンパ節転移した乳腺 metaplastic carcinoma の 1 例

日本臨床外科学会雑誌, vol.73(6):p.1348-1354, 2012 年 6 月

別府直仁, 友松宗史, 岡本亮, 吉江秀範, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 原 均

同時性肝転移を伴う局所進行直腸癌に対して S-1+CPT-11 を用いる術前化学放射線療法を施行した 2 例

日本大腸肛門病学会雑誌, vol.65(7):p.363-368, 2012 年 7 月

別府直仁, 友松宗史, 岡本 亮, 吉江秀範, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 富田尚裕

術前短期化学放射線療法を施行した T3, NO-2, MO 下部直腸癌手術の短期成績ー開腹手術と腹腔鏡手術の比較ー

日本大腸肛門病学会雑誌, vol.65(8):p.419-425, 2012 年 7 月

別府直仁, 友松宗史, 吉江秀範, 相原 司, 木村文彦, 柳 秀憲, 原 均
孤立性肝転移を伴う局所進行直腸癌に対して術前療法後に腹腔鏡下根治手術を施行した1例
日本大腸肛門病学会雑誌, 2012年7月

小野朋二郎, 平岡 優, 石畝 亨, 芳賀紀裕, 石田秀行
繰り返す出血のため残胃全摘を施行した胃動静脈奇形の1例
日本臨床外科学会雑誌, vol.73(9):p.2278-2283, 2012年9月

相原 司, 飯田洋也, 矢吹浩子
栄養管理に難渋したがん患者の評価と対策
臨牀看護, vol.38(14):p.1992-1995, 2012年12月

木村文彦, 柳 秀憲, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 小野朋二郎, 友松宗史, 別府 直仁, 飯田洋也, 生田真一, 岸本昌浩, 相原 司, 山中若樹, 岡本 亮, 上紺屋憲彦
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法併用の検討
癌の臨床, vol.58(6):p.375-381, 2012年12月

生田真一, 相原 司, 吉江秀範, 飯田洋也, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 山中若樹
膵頭十二指腸切除症例における術前胆道ドレナージと術後感染性合併症
日本外科感染症学会雑誌, vol.9(6):p.635-639, 2012年11月

相原 司, 飯田洋也, 友松宗史, 前田晃宏, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中 若樹
閉塞性黄疸を伴った再発肝細胞癌に対し胆道ドレナージとソラフェニブが有効であった1例
肝臓, vol.54(2):p.128-134, 2013年2月

飯田洋也, 山中若樹
肝癌治療実践のKnack & Pitfalls 1.肝切除(2)肝切除のpractice④治療困難例 b)多発肝癌
診療ガイドラインに沿った肝癌治療の要点と盲点, p.239-242, 2013年3月

【学会発表】

<国際学会 一般発表>

N.Beppu, H.Kimura, M.Kishimoto, T.Aihara, H.Yanagi, N.Yamanaka, N.Tomita
The correlation between tumor regression grade and lymph node status after short-term
The 13th KOREA-JAPAN-CHINA(KJC) COLORECTAL CANCER(CRC), 2012年9月, ソウル

Yasushi Shigeoka, Kenichi Watanabe, Masato Takahashi, Koichi Hirokaga, Shintaro Takao, Masaru Miyashita, Kazuyuki Wakita, Yasuo Miyoshi, Toshitaka Okuno, Seishi Kohno, Masahiro Kishimoto, Ikuo Kokufu

Prognostic Value of Body Mass Index in Japanese Breast Cancer Patients
The 2012 CTRC-AACR San Antonio Breast Cancer Symposium, 2012年12月, サンアントニオ

Naohito Beppu, Hidenori Yanagi, Naoki Yamanaka, Hiroshi Doi, Norihiko Kamikonya, Naohiro Tomita, Yasuhiro Inoue

Evaluation of the pathologic features of positive lymph nodes in the mesorectum after short-term preoperative chemoradiotherapy
ASCO Gastrointestinal Cancers Symposium 2013, 2013年1月, サンフランシスコ

<全国大会 一般発表>

柳 秀憲, 木村文彦, 吉江秀範, 岡本 亮, 別府直仁, 友松宗史, 相原 司, 岸本昌浩, 生田真一, 飯田 洋也, 前田晃宏, 光信正夫, 松塚文夫, 山中若樹
進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法併用の検討
第112回日本外科学会定期学術集会, 2012年4月, 千葉

相原 司, 飯田洋也, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 岡本 亮, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村 文彦, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹
肝障害度 A 肝細胞癌切除例における術中門脈圧測定と造影超音波検査による肝静脈到達時間測定の有用性
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

吉江秀範, 木村文彦, 柳 秀憲, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 岡本 亮, 飯田洋也, 生田真一, 岸本 昌浩, 相原 司, 光信正夫, 山中若樹
術前放射線化学療法後の腹腔鏡下 ISR 手術の工夫
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 岡本 亮, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 木村文彦, 岸本 昌浩, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹
腹腔鏡補助下小開腹肝切除と完全腹腔鏡下肝切除を安全に行うための要点について
第 112 回日本外科学会定期学術集会, 2012 年 4 月, 千葉

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 岡本 亮, 山中若樹
肝右葉切除における臍静脈を用いた術中門脈圧測定の有用性
第 24 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

生田真一, 相原 司, 飯田洋也, 吉江秀範, 岡本 亮, 別府直仁, 柳 秀憲, 山中若樹
尾側膵切除術における頭側膵断端胃密着縫合
第 24 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

相原 司, 飯田洋也, 生田真一, 柳 秀憲, 山中若樹
肝細胞癌肝切除例における術中門脈圧測定と術前造影
第 24 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

岡本 亮, 飯田洋也, 生田真一, 相原 司, 山中若樹
φ3cm 大の小さな孤立性肝嚢胞により進行性の肝内胆管拡張像を呈した一例
第 24 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

友松宗史, 飯田洋也, 前田晃宏, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子
Gd-EOB MRI の肝細胞相で高信号を呈し、OATP-1B 蛋白の発現がみられた肝細胞癌の 1 切除例
第 24 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

別府直仁, 飯田洋也, 岡本 亮, 生田 真一, 相原 司, 山中若樹
3-D CT画像による術前肝切除シミュレーションが有用であった転移性肝腫
第 24 回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2012 年 5 月, 大阪

友松宗史, 岸本昌浩, 光信正夫, 竹之下誠一
nab-paclitaxel (PTX) の低容量毎週投与が著効した局所進行転移性乳癌の一例
第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月, 熊本

木村文彦, 柳秀憲, 相原司, 別府直仁, 生田真一, 吉江秀範, 飯田 洋也, 岡本 亮, 友松宗史, 山中 若樹
腹腔鏡下低位前方切除術における切離吻合の工夫
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

相原 司, 前田晃宏, 別府直仁, 飯田洋也, 生田真一, 吉江秀範, 木村文彦, 岸本昌浩, 柳 秀憲, 山中 若樹
進行再発肝細胞癌—播種切除例の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

生田真一, 相原 司, 吉江秀範, 飯田洋也, 岡本 亮, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 柳 秀憲, 山中 若樹
膵頭十二指腸切除術における術前胆道ドレナージと術後感染性合併症
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

柳 秀憲, 木村文彦, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 飯田 洋也, 岡本 亮, 別府直仁, 友松宗史, 山中若樹
局所進行直腸癌(T3-T4)に対する術前化学放射線療法の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

吉江秀範, 木村文彦, 柳 秀憲, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 岡本 亮, 生田真一, 相原 司, 山中 若樹
当院における腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術の経験
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

岡本 亮, 木村文彦, 友松宗史, 別府直仁, 吉江秀範, 柳 秀憲, 山中若樹
骨盤内臓器浸潤症例に対する腹腔鏡下他臓器合併大腸切除手術の経験
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

別府直仁, 柳 秀憲, 友松宗史, 岡本 亮, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 相原 司, 山中 若樹
術前化学放射線療法施行下部直腸癌に対する術後補助化学療法の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

友松宗史, 木村文彦, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹, 上紺屋憲彦
T2/3、T3 下部直腸癌に対する術前短期 25Gy5 日間 10 分割照射の短期成績と有害事象の検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

小野朋二郎, 隈元謙介, 石田秀行, 竹之下誠一
大腸癌肝転移症例における FOLFOX 療法に対する治療効果予測因子としての TS, ERCC1 の有用性についての検討
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

飯田 洋也, 相原 司, 生田 真一, 吉江秀範, 木村文彦, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 柳 秀憲, 山中 若樹
転移性肝癌に対する術前化学療法の功罪
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

前田 晃宏, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田 真, 岸本昌浩, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中 若樹
副腎腫瘍と鑑別が困難であった後腹膜 Ganglioneuroma の一例
第 67 回日本消化器外科学会総会, 2012 年 7 月, 富山

生田真一, 相原 司, 飯田洋也, 吉江秀範, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
切除不能進行・再発胆道癌に対するゲムシタピン+シスプラチン療法の検討
第 48 回日本胆道学会学術集会, 2012 年 9 月, 東京

別府直仁
進行下部直腸癌, 転移陽性間膜内リンパ節に対する術前短期放射線療法の効果
第 17 回日本外科病理学会学術集会, 2012 年 10 月, 仙台

別府直仁, 前田晃宏, 友松宗史, 岡本 亮, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
術前短期化学放射線療法を施行した T3, NO-2, MO 下部直腸癌手術の短期成績－開腹手術と腹腔鏡手術の比較－
第 10 回日本消化器外科学会大会, 2012 年 10 月, 神戸

吉江秀範, 木村文彦, 堀尾勇規, 友松宗史, 小野朋二郎, 別府直仁, 相原 司, 柳 秀憲
術前放射線化学療法を行った進行下部直腸癌に対する腹腔鏡下 ISR 手術の問題点と工夫
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

堀尾勇規, 別府直仁, 友松宗史, 小野朋二郎, 吉江秀範, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲
3D-CTA を使用した左結腸静脈分枝の形態の理解と手術への有用性
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

木村文彦, 吉江秀範, 別府直仁, 友松宗史, 小野朋二郎, 堀尾勇規, 柳 秀憲
下部直腸癌困難症例に対する Endo-Retract II を用いた腹腔鏡下直腸手術の工夫
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

別府直仁, 友松宗史, 岡本 亮, 吉江秀範, 木村文彦, 柳 秀憲
根治切除境界(T3, N2/T4, NX)下部直腸癌に対する neoadjuvant chemotherapy+radiotherapy の有用性
第 67 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2012 年 11 月, 福岡

生田真一, 相原 司, 飯田洋也, 吉江 秀範, 小野朋二郎, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹, 西 真由美, 奥田久美子
肝切除後 SSI の危険因子に関する検討
第 25 回日本外科感染症学会総会, 2012 年 11 月, 千葉

木村文彦, 柳 秀憲, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野朋二郎, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 相原 司, 山中若樹
人工肛門造設後の腹腔鏡下直腸切除術に対する工夫
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

吉江秀範, 木村文彦, 柳 秀憲, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野 朋二郎, 飯田洋也, 生田真一, 岸本昌浩, 相原司, 山中若樹
腹腔鏡下低位直腸癌手術における術者と助手の役割分担
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

別府直仁, 前田晃宏, 友松宗史, 小野朋二郎, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 岸本昌浩, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
進行下部直腸癌, 術前短期放射線療法後の予防的側方郭清は必要か?-病理学的観点より-
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

後野 礼, 小野朋二郎, 木村文彦, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 相原 司, 柳 秀憲, 山中 若樹
後腹膜腫瘍として再発した卵巣奇形腫の一例
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

竹中雄也, 飯田洋也, 後野 礼, 堀尾勇規, 前田晃宏, 小野朋二郎, 友松宗史, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
巨大肝嚢胞に対して腹腔鏡下肝右葉切除術を施行した 1 例
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

友松宗史, 相原 司, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 小野朋二郎, 別府直仁, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
大腸癌肝転移に対する経皮的ラジオ波焼灼療法の意義
第 74 回日本臨床外科学会総会, 2012 年 11 月, 東京

小野朋二郎, 飯田洋也, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
嚢胞腺癌の外見を呈した稀な大腸癌肝転移の1例
第74回日本臨床外科学会総会, 2012年11月, 東京

木村文彦, 柳 秀憲, 竹中雄也, 後野 礼, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野朋二郎, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 松塚文夫, 相原 司, 山中若樹
腹腔鏡下低位前方切除術の切離吻合の工夫
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

小野朋二郎, 木村文彦, 友松宗史, 柳 秀憲, 山中若樹
腹腔鏡補助下に一次的に切除し得たS状結腸癌と左腎癌の1例
第25回日本内視鏡外科学会総会, 2012年12月, 横浜

後野 礼, 飯田洋也, 生田真一, 相原 司, 山中若樹, 覚野綾子, 興津茂行
膵神経内分泌腫瘍術後肝転移に対する集学的治療により良好な経過をたどった1例
第8回NET Work Japan, 2013年2月, 大阪

別府直仁, 前田晃宏, 小野朋二郎, 友松宗史, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
術前化学放射線療法を施行した下部直腸癌、間膜内リンパ節の臨床病理学的検討
第99回日本消化器病学会総会, 2013年3月, 鹿児島

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 別府直仁, 小野朋二郎, 友松宗史, 前田晃宏, 堀尾勇規, 竹中雄也, 後野 礼, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
脾臓摘出術後、門脈血栓症の発生リスクに関する検討
第99回日本消化器病学会総会, 2013年3月, 鹿児島

岡本 亮, 野口 耕右, 相原 司, 飯田 洋也, 吉江 秀範, 生田 真一, 山中 若樹
悪性腫瘍合併難治性腹水例に対する腹腔静脈シャント(PVshunt)の及ぼす影響についての検討
第99回日本消化器病学会総会, 2013年3月, 鹿児島

岡本 亮, 野口 耕右, 相原 司, 飯田 洋也, 吉江 秀範, 生田 真一, 山中 若樹
悪性腫瘍合併難治性腹水例に対する腹腔静脈シャント(PVshunt)の及ぼす影響についての検討
第99回日本消化器病学会総会, 2013年3月, 鹿児島

<地方会・研究会 一般発表>

友松宗史
手術不能例に対する化学療法後の手術例
消化器がんカンファレンス, 2012年4月, 西宮

岸本昌浩
転移・再発乳癌におけるアブラキサンの使用経験
阪神乳腺カンファレンス, 2012年4月, 尼崎

別府直仁
当院での下部直腸癌に対する術前放射線療法
第18回兵庫大腸癌治療研究会, 2012年5月, 神戸

竹中雄也, 飯田洋也, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 岡本 亮, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村 文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子, 興津茂行
アルコール多飲者に発生した肝細胞癌と鑑別が困難であった肝過形成結節の一例
第191回近畿外科学会, 2012年5月, 大阪

後野 礼, 飯田洋也, 岡本 亮, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村 文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 光信正夫, 山中若樹, 覚野綾子
腹膜播種を伴った肝原発神経内分泌腫瘍の1例
第191回近畿外科学会, 2012年5月, 大阪

後野 礼
胆嚢炎・胆管炎に続発したDICに対するrTM療法
第10回鳴尾消化器疾患検討会, 2012年6月, 西宮

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 竹中雄也, 後野 礼, 岸本 昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
肝細胞癌に対するラジオ波後局所再発例の病理学的検討
第34回日本癌局所療法研究会, 2012年6月, 福島

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 別府直仁, 小野朋二郎, 友松宗史, 前田晃宏, 堀尾勇規, 竹中雄也, 後野 礼, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
脾臓摘出術後、門脈血栓症の発生リスクに関する検討
第12回関西肝血流動態イメージ研究会, 2012年6月, 大阪

友松宗史
肝静脈処理について
第4回肝臓外科医育成の会, 2012年6月, 大阪

別府直仁, 前田晃宏, 友松宗史, 岡本 亮, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 相原 司, 光信 正夫, 柳 秀憲, 山中若樹
根治切除境界(T3, N2/T4, NX)下部直腸癌に対するneoadjuvant及びconversion chemotherapy+radiotherapyの有用性
第77回大腸癌研究会, 2012年7月, 東京

相原 司, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 柳 秀憲, 山中若樹, 大掛馨太, 岸 清彦, 早川勇二, 春日井博志
肝癌に対する経皮と腹腔鏡下の複合ルートを組み合わせた焼灼法の検討
第48回日本肝癌研究会, 2012年7月, 石川

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 竹中雄也, 後野 礼, 岸本 昌浩, 木村 文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
肝予備能と分肝機能評価におけるGd-EOB-DTPA造影MRIの有用性
第48回日本肝癌研究会, 2012年7月, 石川

後野 礼, 飯田洋也, 岡本 亮, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村 文彦, 相原司, 柳 秀憲, 光信正夫, 覚野綾子, 原田憲一, 中沼安二, 實藤隼人
腹膜播種を伴った肝原発神経内分泌腫瘍の1例
第48回日本肝癌研究会, 2012年7月, 石川

竹中雄也, 飯田洋也, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 岡本 亮, 吉江秀範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村 文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子, 興津茂行
肝細胞癌と鑑別が困難であったアルコール多飲者に発生した肝過形成結節の一例
第48回日本肝癌研究会, 2012年7月, 石川

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 小野朋二郎, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 竹中雄也, 後野 礼, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
肝癌多発例に対する切除を軸とした集学的治療戦略
第47回近畿肝癌談話会, 2012年8月, 大阪

生田真一, 相原 司, 吉江秀範, 飯田洋也, 別府直仁, 友松宗史, 前田晃宏, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹

尾側膵切除後膵液瘻発生に関する背景因子と術式の工夫について
第 39 回日本膵切研究会, 2012 年 8 月, 東京

岸本昌浩

転移・再発乳癌に対するアバスタチン+パクリタキセルの使用経験及び KBCOG12 試験について
Chugai Breast Cancer Seminar in KOBE, 2012 年 9 月, 神戸

堀尾勇規

同時性肝転移に対して conversion therapy を行った 1 例
第 3 回進行消化器癌問題解決フォーラム, 2012 年 9 月, 西宮

吉江秀範, 木村文彦, 柳 秀憲, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野 朋二
郎, 飯田洋也, 生田真一, 岸本昌浩, 相原 司, 山中若樹

腹腔鏡下低位前方切除術の定型化をめざして
第 25 回近畿内視鏡外科研究会, 2012 年 9 月, 京都

後野 礼, 生田真一, 相原 司, 吉江秀範, 飯田洋也, 小野朋二郎, 友松宗史, 別府直仁, 前田晃宏, 堀尾勇
規, 竹中雄也, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子

IPMN に対する膵中央切除後頭側残膵再発の 1 切除例
第 61 回近畿膵疾患談話会, 2012 年 9 月, 大阪

飯田洋也, 相原 司, 友松宗史, 前田晃宏, 別府直仁, 小野朋二郎, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 岸本昌
浩, 柳 秀憲, 山中若樹

胆道癌に対し胆管を最後に切離する膵頭十二指腸切除の経験
第 15 回阪神肝胆膵疾患研究会, 2012 年 10 月, 西宮

友松宗史, 岸本昌浩, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏

アロマターゼ阻害剤が著効した高度黄疸を伴うびまん性乳癌肝転移の 1 例
第 10 回日本乳癌学会近畿地方会, 2012 年 11 月, 豊中

後野 礼, 岸本昌浩, 友松宗史, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 別府直仁, 小野朋二郎, 吉江秀範, 生田真
一, 飯田洋也, 木村文彦, 相原司, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子, 黒川一郎

異なるサイトケラチンの発現を示した乳房 Paget 病の 2 例
第 10 回日本乳癌学会近畿地方会, 2012 年 11 月, 豊中

後野 礼, 相原 司, 飯田洋也, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野朋二郎, 吉江秀
範, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹

経皮的ラジオ波焼灼術後に胆道出血をきたした 3 例の検討
第 31 回 Microwave Surgery 研究会, 2012 年 11 月, 大阪

竹中雄也, 後野 礼, 生田真一, 相原 司, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野朋二郎, 飯田洋
也, 吉江秀範, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹, 覚野綾子

膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)残膵再発の 1 切除例
第 192 回近畿外科学会, 2012 年 11 月, 大阪

竹中雄也

術前化学療法が奏効した隣接臓器浸潤直腸癌の 1 例
第 11 回鳴尾消化器疾患検討会, 2012 年 11 月, 西宮

前田晃宏

在宅経腸栄養管理を行いつつ化学療法で down staging 後根治術を施行した進行胃体上部癌の 1 例
第 11 回鳴尾消化器疾患検討会, 2012 年 11 月, 西宮

後野 礼, 相原 司, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 友松宗史, 別府直仁, 小野朋二郎, 吉江秀範, 飯田洋也, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 柳 秀憲, 山中若樹
経皮的ラジオ波焼灼術で局所再発を繰り返し切除した直腸癌肝転移の1例
第55回大阪肝穿刺生検治療研究会, 2012年12月, 大阪

別府直仁, 後野 礼, 堀尾勇規, 前田晃宏, 小野朋二郎, 友松宗史, 飯田洋也, 吉江秀範, 生田真一, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
術前化学放射線療法による転移陽性間膜内リンパ節の治療効果判定予測
第78回大腸癌研究会, 2013年1月, 東京

岸本昌浩
nab-PTX low-dose weekly 投与が奏功した肺・肝・骨・胸膜・鎖骨上・腋窩リンパ節転移を伴う Luminal type 乳癌の1例
第17回神戸進行再発乳癌治療研究会, 2013年1月, 神戸

隈部 力, 早濑尚文, 中島 収, 野村頼子, 田中弘教, 飯島尋子, 生田真一, 山中若樹, 覚野綾子, 播磨 陽平, 沖田 極, 中牟田 誠, 国府庸之, 高見裕子, 才津秀樹, 桃崎征也, 田口健一, 伊東正博, 江口 晋, 林 徳眞吉, 奥平定之
肝細胞腺腫切除9例の検討ー病理とCT・MRIの対比を中心にー
第19回肝血流動態イメージ研究会, 2013年1月, 東京

岸本昌浩
nab-PTX low-dose weekly 投与が奏功した肺・肝・骨・胸膜・鎖骨上・腋窩リンパ節転移を伴う Luminal type 乳癌の1例
第17回神戸進行再発乳癌治療研究会, 2013年1月, 神戸

飯田洋也, 相原 司, 生田真一, 吉江秀範, 別府直仁, 小野朋二郎, 友松宗史, 前田晃宏, 堀尾勇規, 竹中雄也, 後野 礼, 木村文彦, 岸本昌浩, 柳 秀憲, 山中若樹
前後区域境界部に位置する肝腫瘍に対する右肝静脈ドレナージ領域切除術の検討
第41回近畿肝臓外科研究会, 2013年2月, 大阪

竹中雄也, 飯田洋也, 山中若樹, 興津茂行, 覚野綾子
アルコール多飲者に発生した肝細胞癌との鑑別が困難であった Focal nodular hyperplasia-like nodule の1例
第24回阪神腹部画像診断治療研究会, 2013年2月, 西宮

別府直仁
パニツムマブ投与後及び術前治療におけるセツキシマブの使用経験
兵庫東部地区大腸がん治療カンファランス, 2013年2月, 芦屋

友松宗史, 相原 司, 竹中雄也, 後野 礼, 堀尾勇規, 前田晃宏, 小野朋二郎, 別府直仁, 吉江秀範, 飯田洋也, 生田真一, 木村文彦, 岸本昌浩, 柳 秀憲, 山中若樹
大腸癌肝転移に対する経皮的ラジオ波焼灼療法の適応に関する検討
第15回関西肝癌局所療法研究会, 2013年3月, 大阪

木村文彦
当院における腹腔鏡下直腸切除術の工夫
The 14th KOBE Endoscopic High Technology Conference, 2013年3月, 神戸

吉江秀範, 後野 礼, 竹中雄也, 堀尾勇規, 前田晃宏, 小野朋二郎, 別府直仁, 友松宗史, 北濱誠一, 飯田洋也, 生田真一, 岸本昌浩, 木村文彦, 相原 司, 柳 秀憲, 山中若樹
低位直腸癌に対する治療方針と手術術式
第16回兵庫腹腔鏡外科勉強会, 2013年3月, 神戸

【対外活動】

<講演>

岸本昌浩

乳がんは治る～早期発見の大切さ～

学文公民館講座，2012年4月，西宮

柳 秀憲

外科手術の最新の話

科研製薬(株)社内外講師勉強会，2012年7月，神戸

岸本昌浩

その他の所見1

科研製薬(株)社内外講師勉強会，2012年7月，神戸

岸本昌浩

以前の検討会 経過症例報告『巨大腋窩リンパ節転移により上腕浮腫を生じた StageⅢC 乳癌の1例』

第16回神戸進行再発乳癌治療検討会，2012年7月，神戸

木村文彦

大腸がん～早期発見を目指して～

鳴尾公民館講座，2012年7月，西宮

岸本昌浩

マンモグラフィ読影トレーニング

第33回西宮マンモグラフィ研究会，2012年9月，西宮

木村文彦

胃・大腸がんについて

第12回西宮市医師会市民フォーラム，2012年9月，西宮

山中若樹

長寿願望と医療の進歩

平成24年度大庄市民大学講座，2012年10月，尼崎

木村文彦

最新の大腸癌化学療法

西宮市医師会学術講演会・外科医会，2012年10月，西宮

岸本昌浩

乳がん早期発見・早期治療の大切さ～マンモグラフィ併用検診を受診しましょう～

鳴尾東公民館講座，2012年10月，西宮

相原 司

講演

大塚製薬(株)肝疾患勉強会，2012年10月，神戸

岸本昌浩

乳がん・早期発見・早期治療の大切さ～マンモグラフィ併用検診を受診しましょう～

第1回地域医療講座，2012年11月，西宮

山中若樹

〔特別講演1〕肝胆膵外科診療の最近の進歩

第27回東神戸消化器疾患セミナー，2012年11月，神戸

柳 秀憲

集学的治療におけるアバスチンの役割と留意点－大腸癌治療における実際－
ACCEL in Tokorozawa, 2012年12月, 所沢

柳 秀憲

大腸がんの治療と予防
第2回地域医療健康講座, 2013年1月, 西宮

相原 司

肝癌の外科治療
ブリストル・マイヤーズ(株)社内研修会, 2013年2月, 神戸

相原 司

肝がんの外科治療
鳥居薬品(株)社内研修会, 2013年3月, 神戸

四谷メディカルキューブ

【学会発表】

<全国学会 一般発表>

山口 剛, 関 洋介, 笠間和典, 中里哲也, 吉川絵梨, 園田和子
腹腔鏡下袖状胃切除術後の胃管通過障害に対する治療経験
第30回日本肥満症治療学会学術集会, 2012年6月, 東京

<全国大会 ワークショップ>

山口 剛, 関 洋介, 笠間和典, 中里哲也, 吉川絵梨, 園田和子
肥満症手術合併症とその対策
第30回日本肥満症治療学会学術集会, 2012年6月, 東京

洛和会音羽病院 呼吸器外科

【学会発表】

<全国学会>

五十嵐知之, 長坂行雄, 日置辰一郎
シェーグレン症候群に合併した結核性胸膜炎の一例
第88回日本結核病学会総会学会発表, 2013年3月28日 千葉

【学会発表】

<地方会>

南卓馬, 土谷美知子, 五十嵐知之, 榎堀徹, 安井寛, 長坂行雄
びまん性肺胞出血を呈し, 胸腔鏡下肺生検で診断した ANCA 陰性の限局型 Wegener 肉芽腫症の一例第80
回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年12月15日、神戸

【学会発表】

<地方会>

土谷美知子, 南卓馬, 五十嵐知之, 榎堀徹, 安井寛, 長坂行雄
びまん性汎細気管支炎と関節リウマチの治療中にホジキンリンパ腫を合併した一例
第80回日本呼吸器学会近畿地方会, 2012年12月15日、神戸

定 款

- 役 員
- 定 款
- 賛助会員

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. この法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことが出来る。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他この法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の3種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることが出来る。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、および希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することが出来る。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(抛出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。

2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

(補欠代議員の予選)

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
- (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
- (3) 同一の代議員（2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあっては、当該2人以上の代議員）につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位

3. 第1項の補欠代議員の予選に係る決議が効力を有する期間は、当該決議後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

第4章 社員総会

(招集等)

第20条 社員総会は、第3章の代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人法上の社員総会とする。
3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会とし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。
4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。
5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。
6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。
7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

(権限)

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について決議する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員責任の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

(議決権)

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

(定足数及び決議の方法)

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 役員等の責任の一部免除
 - (4) 定款の変更
 - (5) 解散
 - (6) その他法令で定められた事項

(書面表決等)

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。
3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(社員総会議事録)

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

第5章 役員等

(役員の設定等)

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を代表理事とする。
3. 代表理事を理事長とし、理事のうち1名を副理事長、2名以内を常任理事、1名を事務局長とすることができる。

(事務局及び職員)

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。
3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

(選任等)

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長、常任理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務権限)

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、常任理事は、当法人の業務を分担執行する。
3. 事務局長は当法人の事務を執行する。
4. 理事長、常任理事及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。
3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引
- (2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引
- (3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 当法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招 集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議 長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定めた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決 議)

第40条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年1月1日から12月31日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第45条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認(理事会の承認)を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 この法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(残余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、この法人の残余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

2011年11月30日現在

医療法人社団 浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院

医療法人医仁会 武田総合病院

近江八幡市立総合医療センター

医療法人恭昭会 彦根中央病院

医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院

医療法人社団美松会 生田病院

一般財団法人真和会 京都大橋総合病院

医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院

医療法人社団 昂会

医療法人社団昂会 湖東記念病院

医療法人社団昂会 日野記念病院

社会医療法人生長会 ベルランド総合病院

社会医療法人天神会 新古賀病院

社会医療法人天神会 古賀病院 21

医療法人総心会 長岡京病院

三菱京都病院

公益財団法人 豊郷病院

医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院

社会医療法人信愛会 新生病院

社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院

長浜赤十字病院

公立甲賀病院

市立奈良病院

医療法人仁生会 甲南病院

医療法人社団御上会野洲病院

守山市民病院

社会医療法人 畿内会 岡波総合病院

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院

独立行政法人国立病院機構南京都病院

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

医療法人社団よつば会

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。

会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

理事長 小玉 正智
副理事長 加藤 弘文
理事 谷 徹 浅井 徹
監事 中根 佳宏 山本 明

代議員 阿部 元 手塚 則明
池添 清彦 寺田 信國
井上 修平 内藤 弘之
梅田 朋子 仲 成幸
江口 豊 花澤 一芳
遠藤 善裕 平野 正満
岡 藤太郎 水黒 知行
来見 良誠 村田 聡
清水 智治 目片 英治
山本 寛

学内役員 久保田 良浩 (選挙管理委員・企画(教育・学術))
鈴木 友彰 (総務・企画(教育・学術))
手塚 則明 (選挙管理委員)
仲 成幸 (広報)
花岡 淳 (会計・企画(教育・学術)・広報)
村田 聡 (企画(教育・学術))
山本 寛 (総務)